

多摩市  
ヤングケアラーに関する  
実態調査報告書

令和5年3月  
多摩市





# 目次

第1部 調査概要	1
1 調査の目的	1
2 調査対象者	1
3 調査方法	1
4 調査期間	1
5 回収状況	2
6 分析・表示について	2
第2部 調査結果報告	3
1 小学生調査	3
I 基本情報	3
(1) 学年	3
(2) 性別	3
(3) 健康状態	4
II 家庭や家族のことについて	5
(1) お世話をしている家族の有無	5
(2) 家族構成	5
(2) - 1 兄の状況	7
(2) - 2 姉の状況	7
(2) - 3 弟の状況	8
(2) - 4 妹の状況	8
(3) お世話を必要としている家族	9
(4) お世話を必要としている家族の状況	10
(5) お世話の内容	14
(6) 一緒にお世話している人	15
(7) お世話をしている頻度	16
(8) お世話をしている時間	16
(9) お世話をしているために、やりたいけれどできていないこと	17
(10) お世話について相談した経験	17
(11) 相談相手	18
(12) お世話について相談したことがない理由	19
(13) 学校や大人にしてもらいたいこと、必要な支援	20
(14) 希望する相談の手段	21
(15) ヤングケアラーの自覚	22
(16) お世話の大変さ	22
(17) ヤングケアラーの認知度	23

(18) 支援を求める記名の有無	23
III 小学生調査 追加分析	24
(1) お世話をしている家族の有無	24
(2) 性別	24
(3) 家族構成	28
(4) お世話を必要としている家族	29
IV 自由記述について	30
(1) 相談体制の充実、相談しやすい・話しやすい環境づくり	30
(2) 子どもたちの意見を伝えられる環境づくり、意思の尊重	30
(3) 学校におけるサポートや配慮	30
(4) 周囲（大人や友達）の理解や寄り添い	30
(5) 福祉サービスやボランティア等による支援	31
(6) 経済的支援	31
(7) ヤングケアラーの普及啓発	31
(8) その他支援の充実（自分のための時間をつくってあげるなど）	31
(9) ヤングケアラーに関する感想	32
(10) お世話をしている家族がいると回答した児童の声	32
2 中学生調査	33
I 基本情報	33
(1) 学年	33
(2) 性別	33
(3) 健康状態	34
II 家庭や家族のことについて	35
(1) お世話をしている家族の有無	35
(2) 家族構成	36
(2) - 1 兄の状況	38
(2) - 2 姉の状況	38
(2) - 3 弟の状況	39
(2) - 4 妹の状況	39
(3) お世話を必要としている家族	40
(4) お世話を必要としている家族の状況	41
(5) お世話の内容	45
(6) 一緒にお世話している人	46
(7) お世話をしている頻度	47
(8) お世話をしている時間	47
(9) お世話をしているために、やりたいけれどできていないこと	48
(10) お世話について相談した経験	48
(11) 相談相手	49
(12) お世話について相談したことがない理由	50

(13)	学校や大人にしてもらいたいこと、必要な支援	51
(14)	希望する相談の手段	52
(15)	ヤングケアラーの自覚	53
(16)	お世話の大変さ	53
(17)	ヤングケアラーの認知度	54
(18)	支援を求める記名の有無	54
III	中学生調査 追加分析	55
(1)	お世話をしている家族の有無	55
(2)	性別	55
(3)	家族構成	59
(4)	お世話を必要としている家族	60
IV	自由記述について	61
(1)	相談体制の充実、相談しやすい・話しやすい環境づくり	61
(2)	子どもたちの意見を伝えられる環境づくり、意思の尊重	61
(3)	学校におけるサポートや配慮	61
(4)	周囲（大人や友達）の理解や寄り添い	62
(5)	福祉サービスやボランティア等による支援	62
(6)	経済的支援	62
(7)	ヤングケアラーの普及啓発	63
(8)	ヤングケアラーの実態を把握する取り組み	63
(9)	その他支援の充実（自分のための時間をつくってあげるなど）	63
(10)	ヤングケアラーに関する感想	64
(11)	お世話をしている家族がいると回答した生徒からの声	64
3	高校生世代調査	65
I	基本情報	65
(1)	年齢	65
(2)	性別	65
(3)	通学等の状況	66
(4)	健康状態	66
II	家庭や家族のことについて	67
(1)	お世話をしている家族の有無	67
(2)	家族構成	68
(3)	お世話を必要としている家族	70
(4)	お世話を必要としている家族の状況	71
(5)	お世話の内容	74
(6)	一緒にお世話している人	75
(7)	お世話をしている頻度	76
(8)	お世話をしている時間	76
(9)	お世話をしているために、やりたいけれどできていないこと	77

(10)	お世話について相談した経験	78
(11)	相談相手	79
(12)	お世話について相談したことがない理由	80
(13)	学校や大人にしてもらいたいこと、必要な支援	81
(14)	希望する相談の手段	82
(15)	ヤングケアラーの自覚	83
(16)	お世話の大変さ	83
(17)	ヤングケアラーの認知度	84
(18)	ヤングケアラーについて知ったきっかけ	85
(19)	支援を求める記名の有無	86
III	高校生世代調査 追加分析	87
(1)	お世話をしている家族の有無	87
(2)	性別	87
(3)	家族構成	91
(4)	お世話を必要としている家族	92
IV	自由記述について	93
(1)	相談体制の充実、相談しやすい・話しやすい環境づくり	93
(2)	子どもたちの意見を伝えられる環境づくり、意思の尊重	93
(3)	学校におけるサポートや配慮	93
(4)	周囲（大人や友達）の理解や寄り添い	94
(5)	福祉サービスやボランティア等による支援	94
(6)	経済的支援	94
(7)	ヤングケアラーの普及啓発	94
(8)	ヤングケアラー同士の情報交換の場	94
(9)	ヤングケアラーの実態を把握する取り組み	95
(10)	その他支援の充実（自分のための時間をつくってあげるなど）	95
(11)	ヤングケアラーに関する感想	95
(12)	お世話をしている家族がいると回答した方からの声	96
4	調査結果とりまとめ、考察、今後の支援の方向性	97
I	調査結果とりまとめ、考察	97
(1)	お世話をしている家族の有無	97
(2)	家族構成	98
(3)	お世話の対象、内容	99
(4)	お世話をしているために、やりたいけれどできていないこと	104
(5)	お世話について相談した経験	106
(6)	学校や大人にしてもらいたいこと、必要な支援	109
(7)	ヤングケアラーの自覚	112
(8)	支援を求める記名の有無	113
(9)	ヤングケアラーの認知度	115

Ⅱ 今後の支援の方向性	116
(1) 「ヤングケアラー」の正しい理解の促進と周知啓発	116
(2) 継続的に支援を行うための相談体制	116
(3) 関係機関の連携した支援	116
第3部 資料	117
1 小学生保護者依頼文	117
2 小学生本人依頼文	118
3 小学生調査票	119
4 中学生保護者依頼文	123
5 中学生本人依頼文	124
6 中学生調査票	125
7 高校生世代保護者依頼文	129
8 高校生世代本人依頼文	130
9 高校生世代調査票	131

# 第 1 部 調査概要



# 第1部 調査概要

## 1 調査の目的

近年、子どもを取り巻く状況の一つとして「ヤングケアラー」が注目されており、厚生労働省や文部科学省をはじめ、全国の自治体でヤングケアラーに関する実態調査や支援に関する取り組みが進んでいます。

多摩市では、ヤングケアラーと思われる子どもを早期に発見し、支援につなげる仕組みづくりの検討を行うことを目的とし、調査を実施しました。

## 2 調査対象者

多摩市立小学校5・6年生の児童	2,280名
多摩市立中学校1・2・3年生の生徒	3,190名
多摩市内在住の高校生世代（平成16年4月2日生～平成19年4月1日生）の方	3,663名

## 3 調査方法

小学生・中学生は各学校を通じて児童・生徒向け、保護者向けの調査依頼文を配布し、児童・生徒本人がタブレット、パソコン、スマートフォン等でWeb上のアンケートフォームにアクセスし回答しました。また、紙（筆記）での回答を希望する児童・生徒には、紙媒体の調査票と返信用封筒を学校から配布し、郵送による回収も実施しました。

高校生世代は高校生世代向け、保護者向けの調査依頼文を郵送し、高校生世代本人がパソコン、スマートフォン等でWeb上のアンケートフォームにアクセスし回答しました。また、紙媒体の調査票と返信用封筒を同封し、郵送による回収も実施しました。

## 4 調査期間

小学生・中学生	：令和4年11月28日～12月9日
高校生世代	：令和4年11月28日～12月16日

## 5 回収状況

対象	配布数	回収数	回収率
小学生（小学5・6年生）	2,280件	2,192件 内訳：Web回答：2,178件 郵送回答：14件	96.1%
中学生（中学1～3年生）	3,190件	2,707件 内訳：Web回答：2,707件 郵送回答：0件	84.9%
高校生世代	3,663件	700件 内訳：Web回答：362件 郵送回答：338件	19.1%
合計	9,133件	5,599件 内訳：Web回答：5,247件 郵送回答：352件	61.3%

## 6 分析・表示について

1. 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しています。このため比率が0.05未満の場合には0.0と表記しています。また、合計が100.0%とならないこともあります。
2. 複数回答の項目については、原則として、その項目に対しての有効回答者の数を基数とし、比率算出を行っています。このため、比率計が100%を超えることがあります。
3. グラフ中の（n=〇〇）という表記は、その項目の有効回答者数で、比率算出の基礎となります。
4. クロス集計については、集計の都合上、一部の回答を除いて集計している部分があるため、単純集計の結果と合致しない場合があります。

## 第 2 部 調查結果報告



## 第2部 調査結果報告

### 1 小学生調査

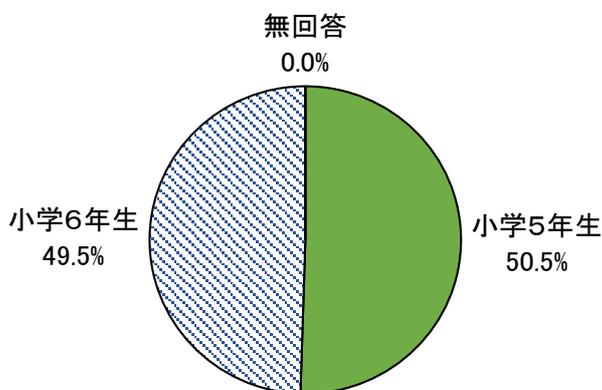
#### I 基本情報

※問1 学校、問3 クラスの回答は省略しています。

#### (1) 学年

問2 あなたの学年を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

回答者の学年は、「小学5年生」が50.5%、「小学6年生」が49.5%となっています。

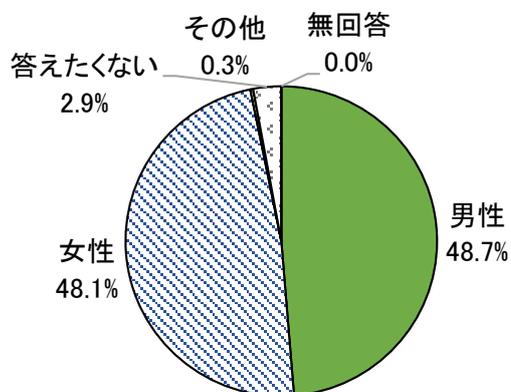


【n=2,192】

#### (2) 性別

問4 あなたの性別を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

回答者の性別は、「男性」が48.7%で最も高く、次いで「女性」が48.1%、「答えたくない」が2.9%などとなっています。

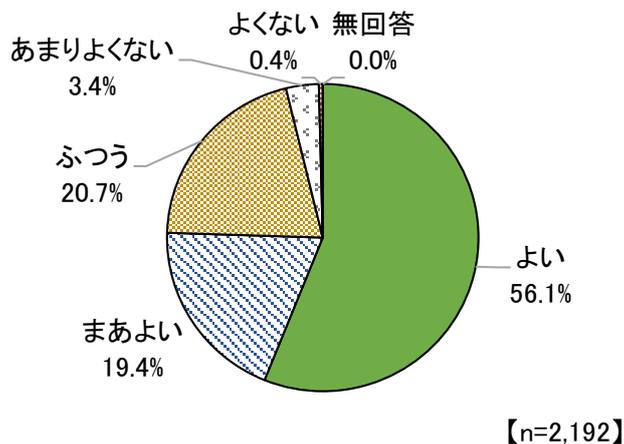


【n=2,192】

(3) 健康状態

問5 あなたの健康状態について教えてください。(あてはまる番号1つに○)

健康状態は、「よい」、「まあよい」と回答した人を合計すると75.5%となっています。一方、「よくない」、「あまりよくない」と回答した人を合計すると3.8%となっています。

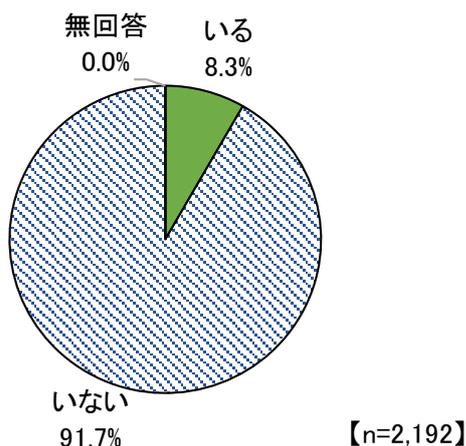


## Ⅱ 家庭や家族のことについて

### (1) お世話をしている家族の有無

問6 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。(ここでいう「お世話」とはふつう大人が行うような家事や家族のお世話を指します。)(あてはまる番号1つに○)

自身がお世話をしている家族が「いる」と回答した人の割合は、8.3% (183人) となっています。



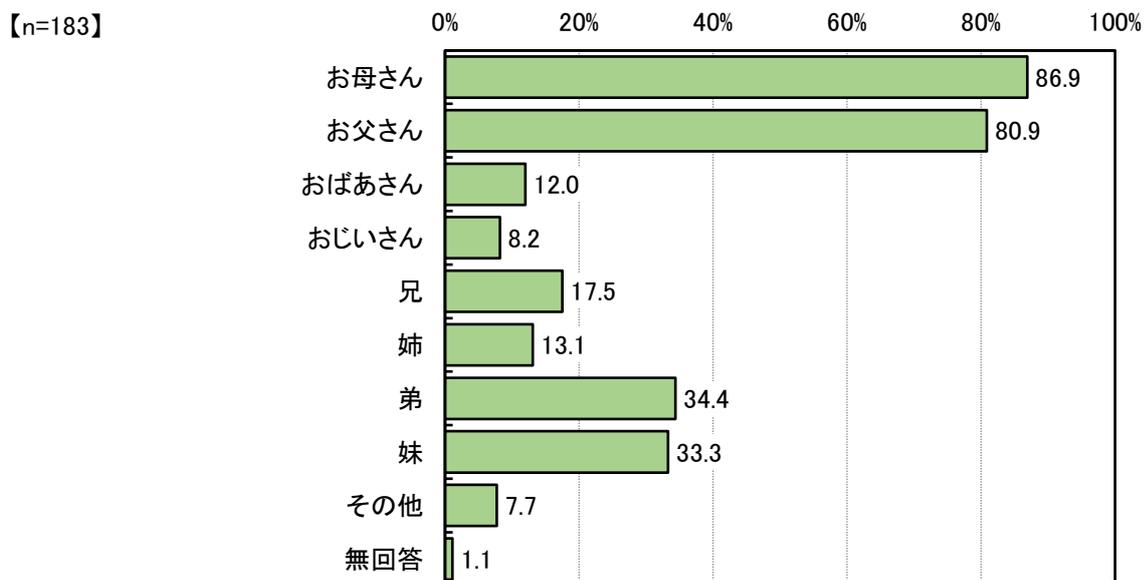
※犬や猫などのペットと回答した人は除いています。

### (2) 家族構成

問7 問6で「1. いる」と答えた人にお聞きします。

あなたが一緒に住んでいるのは誰ですか。(あてはまる番号すべてに○)

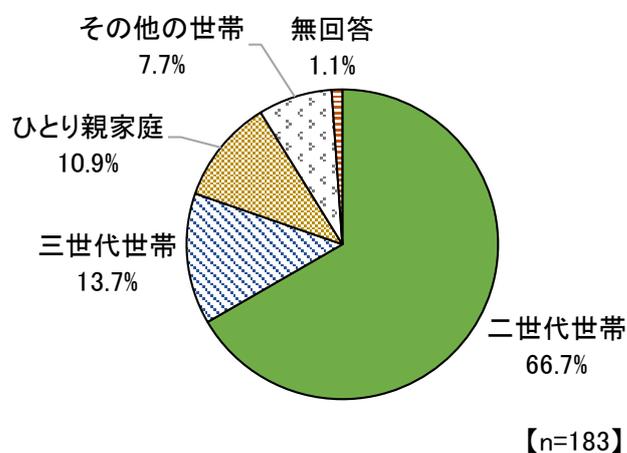
同居する家族の内訳は、「お母さん」が86.9%で最も高く、次いで「お父さん」が80.9%、「弟」が34.4%などとなっています。



「その他」には、「親戚」などの回答がありました。

## 第2部 調査結果報告

また、同居する家族の内訳を家族構成で整理した結果、「二世世代世帯」が66.7%で最も高く、次いで「三世世代世帯」が13.7%、「ひとり親家庭」が10.9%などとなっています。



世帯	同居する家族
二世世代世帯	お母さん、お父さん、兄・姉、弟・妹、その他（親戚など）
三世世代世帯	お母さん、お父さん、おばあさん、おじいさん、兄・姉、弟・妹、その他（親戚など）
ひとり親家庭	お母さん/お父さんのいずれか、兄・姉、弟・妹、その他（親戚など）
その他の世帯	おばあさん、おじいさん、その他（親戚など）

## (2) - 1 兄の状況

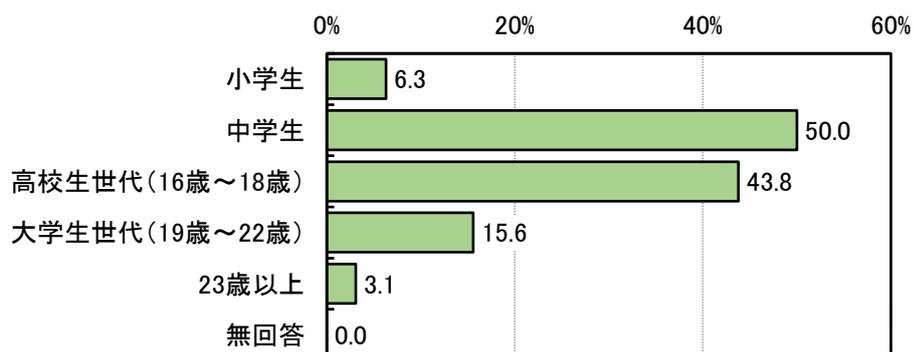
問7-① 問7で「5. 兄」と答えた人にお聞きします。

あなたの兄についてあてはまるものをすべて選んでください。

(複数の兄がいる場合、すべての方について回答してください。)

同居する家族で「兄」がいると回答した人に年齢を聞いたところ、「中学生」が50.0%で最も高く、次いで「高校生世代(16歳~18歳)」が43.8%、「大学生世代(19歳~22歳)」が15.6%などとなっています。

【n=32】



## (2) - 2 姉の状況

問7-② 問7で「6. 姉」と答えた人にお聞きします。

あなたの姉についてあてはまるものをすべて選んでください。

(複数の姉がいる場合、すべての方について回答してください。)

同居する家族で「姉」がいると回答した人に年齢を聞いたところ、「中学生」が79.2%で最も高く、次いで「高校生世代(16歳~18歳)」、「大学生世代(19歳~22歳)」が12.5%などとなっています。

【n=24】



(2) - 3 弟の状況

問7-③ 問7で「7. 弟」と答えた人にお聞きします。

あなたの弟についてあてはまるものをすべて選んでください。

(複数の弟がいる場合、すべての方について回答してください。)

同居する家族で「弟」がいると回答した人に状況を聞いたところ、「小学生」が63.5%で最も高く、次いで「保育園に通っている」が31.7%、「学童クラブを利用している」が25.4%などとなっています。

【n=63】



(2) - 4 妹の状況

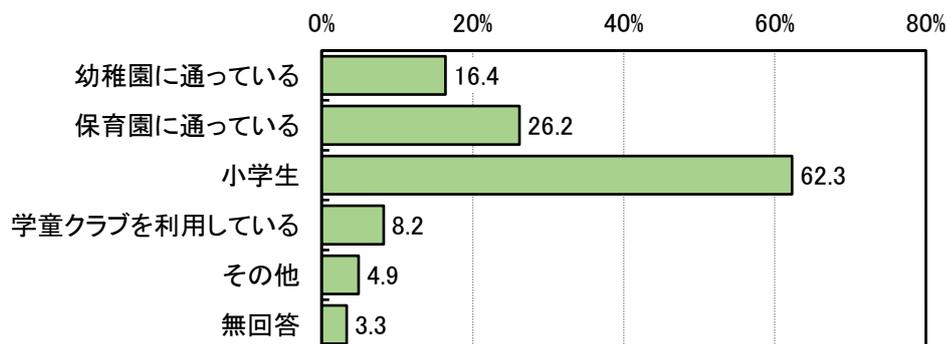
問7-④ 問7で「8. 妹」と答えた人にお聞きします。

あなたの妹についてあてはまるものをすべて選んでください。

(複数の妹がいる場合、すべての方について回答してください。)

同居する家族で「妹」がいると回答した人に状況を聞いたところ、「小学生」が62.3%で最も高く、次いで「保育園に通っている」が26.2%、「幼稚園に通っている」が16.4%などとなっています。

【n=61】

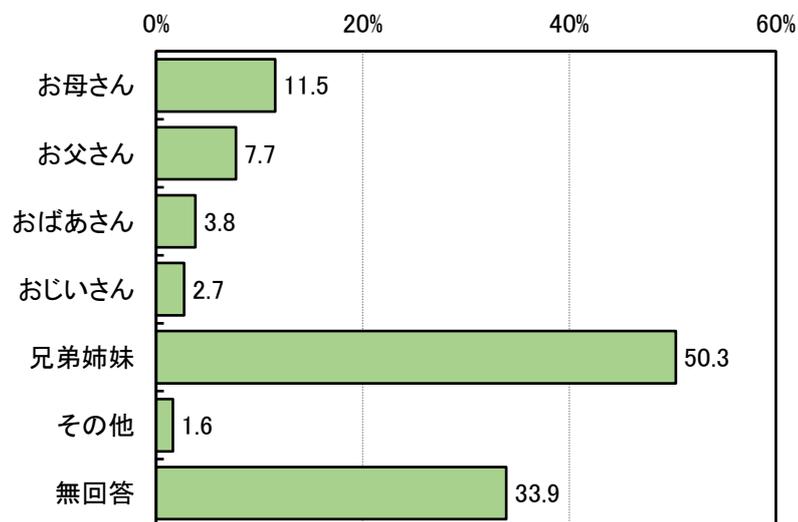


## (3) お世話を必要としている家族

問8 あなたは誰のお世話をしていますか。(あてはまる番号すべてに○)

お世話を必要としている家族については、「兄弟姉妹」が50.3%で最も高く、次いで「お母さん」が11.5%、「お父さん」が7.7%などとなっています。

【n=183】



「その他」には、「親戚」などの回答がありました。

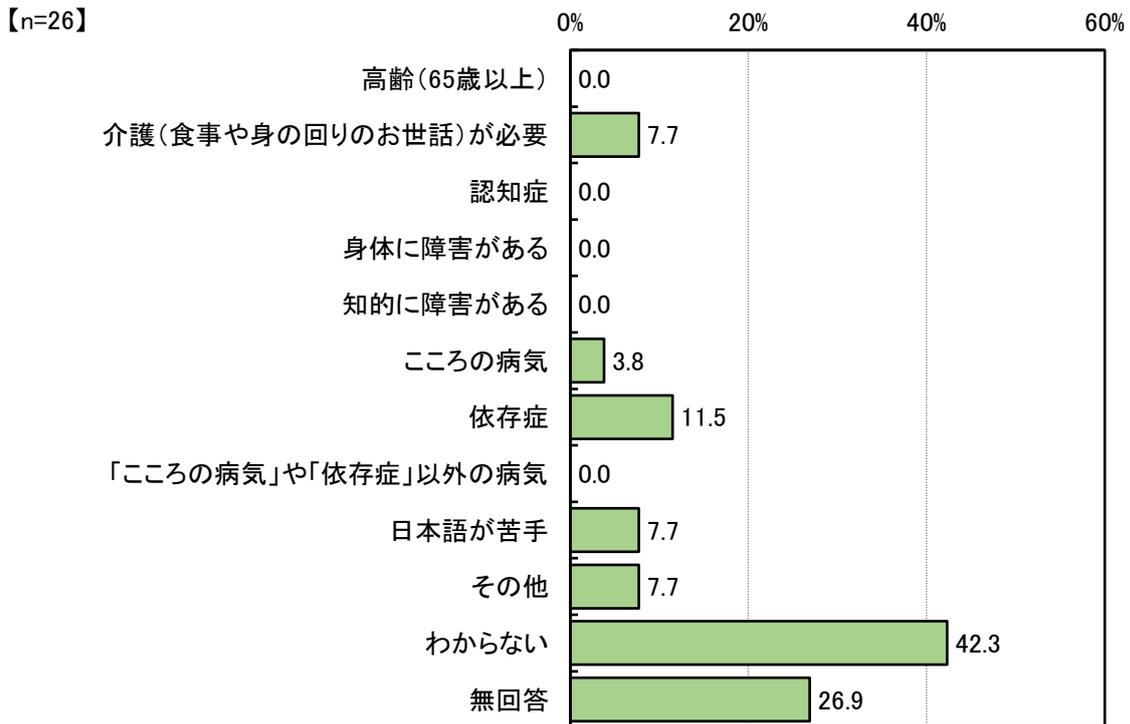
(4) お世話を必要としている家族の状況

問9 あなたがお世話をしている人の状況について教えてください。

①お母さんやお父さんのお世話をしているのはどのような理由ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

お世話を必要としている父母の状況については、「わからない」が42.3%で最も高く、次いで「依存症」が11.5%、「介護（食事や身の回りのお世話）が必要」、「日本語が苦手」が7.7%などとなっています。

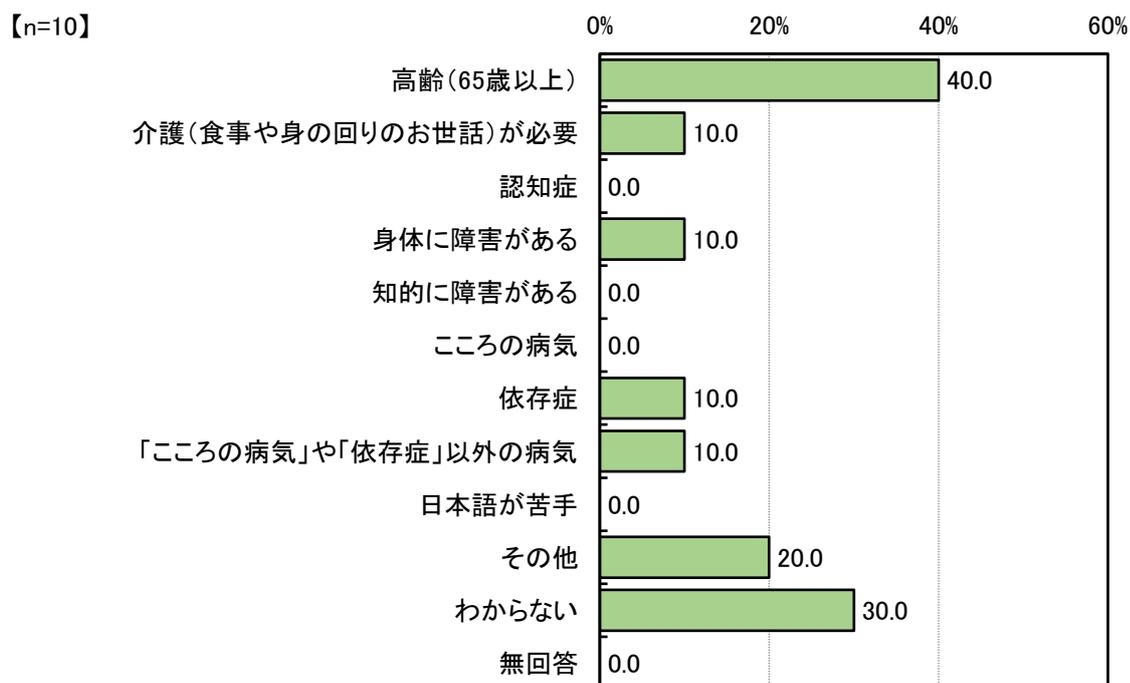


「その他」には、「仕事が忙しい」、「家事ができない」などの回答がありました。

## ②おばあさんやおじいさんのお世話をしているのはどのような理由ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

お世話を必要としている祖父母の状況については、「高齢（65歳以上）」が40.0%で最も高く、次いで「わからない」が30.0%、「介護（食事や身の回りのお世話）が必要」、「身体に障害がある」、「依存症」、「「こころの病気」や「依存症」以外の病気」が10.0%などとなっています。

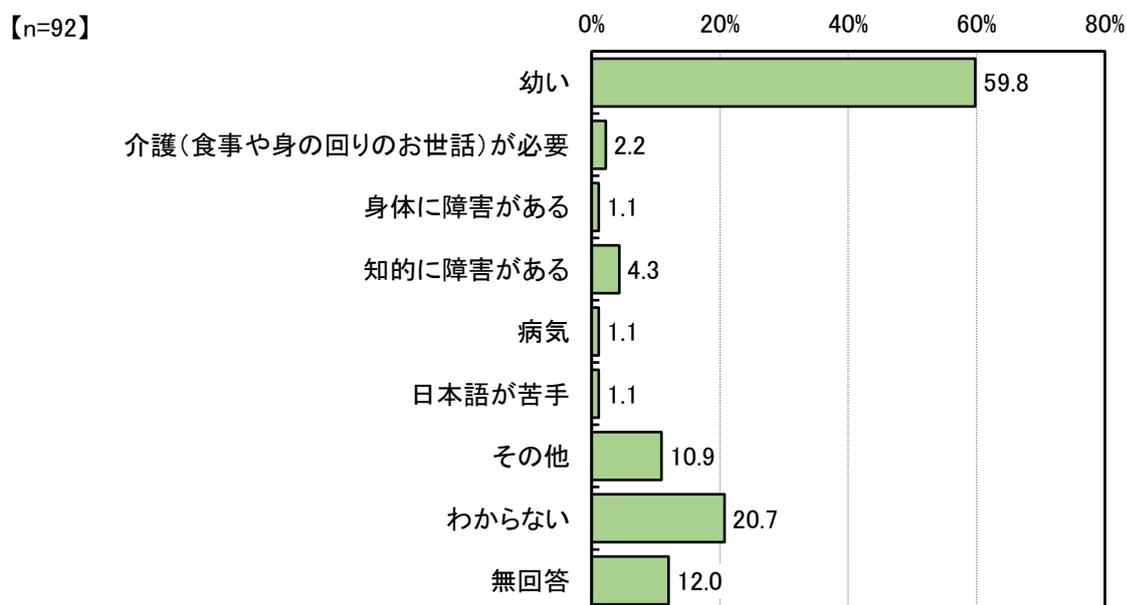


「その他」には、「荷物を持ってあげる」、「話ができない」などの回答がありました。

③兄弟姉妹のお世話をしているのはどのような理由ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

お世話を必要としている兄弟姉妹の状況については、「若い」が59.8%で最も高く、次いで「わからない」が20.7%、「知的に障害がある」が4.3%などとなっています。



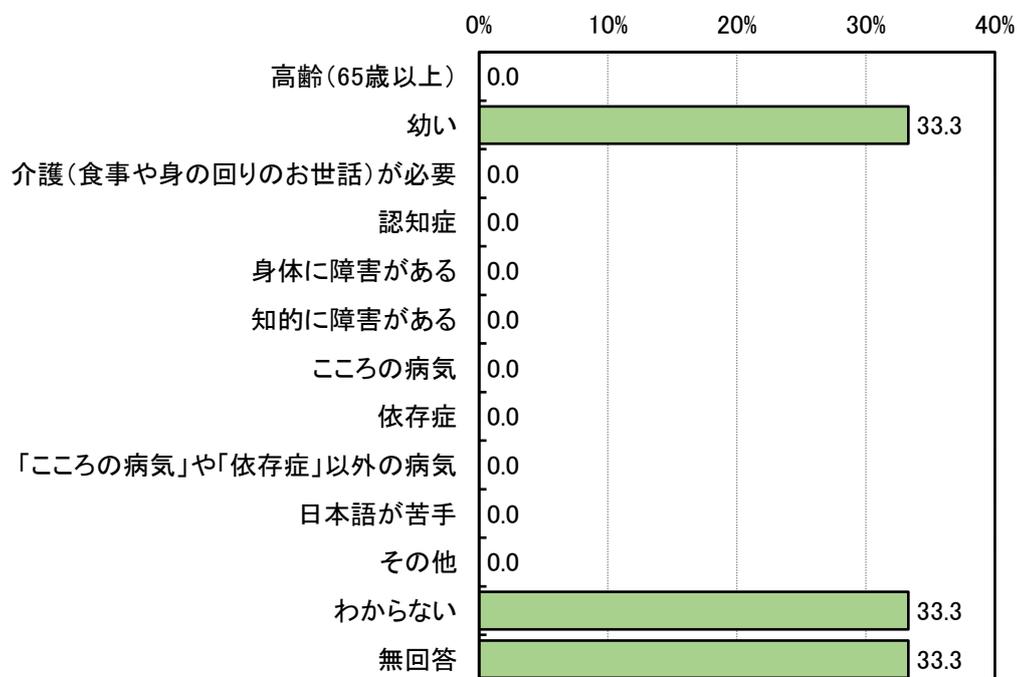
「その他」には、「やってあげたいから」、「親が入院しているから」、「親が忙しいから」、「風呂やトイレにいけないから」、「留守番ができないから」などの回答がありました。

## ④その他の人のお世話をしているのはどのような理由ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

お世話を必要としているその他の人の状況については、「若い」、「わからない」が33.3%となっています。

【n=3】

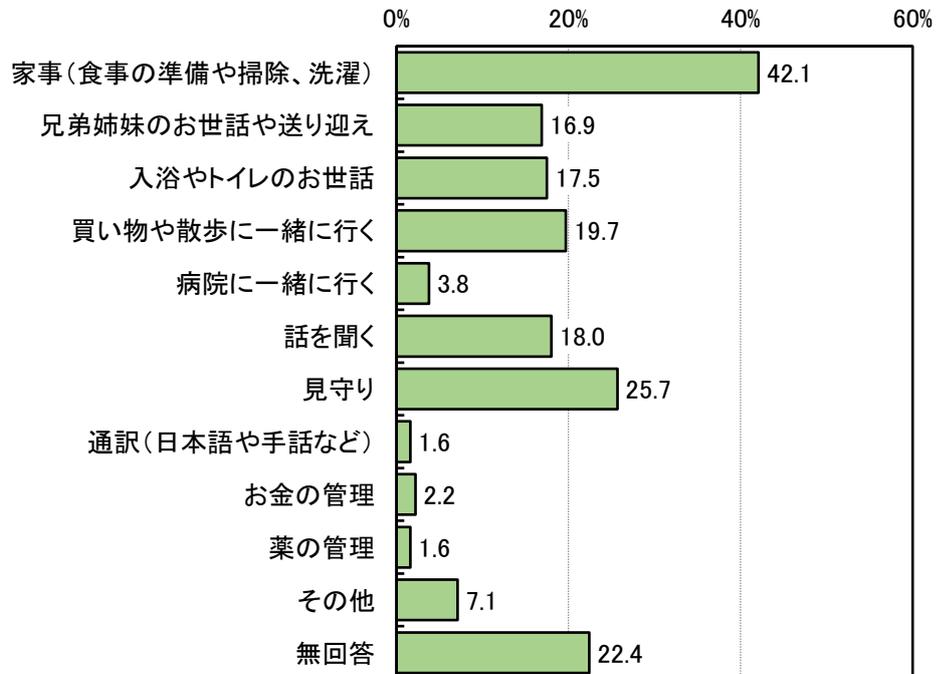


(5) お世話の内容

問10 あなたはどのようなお世話をしていますか。(あてはまる番号すべてに○)

お世話の内容については、「家事(食事の準備や掃除、洗濯)」が42.1%で最も高く、次いで「見守り」が25.7%、「買い物や散歩と一緒にいく」が19.7%などとなっています。

【n=183】



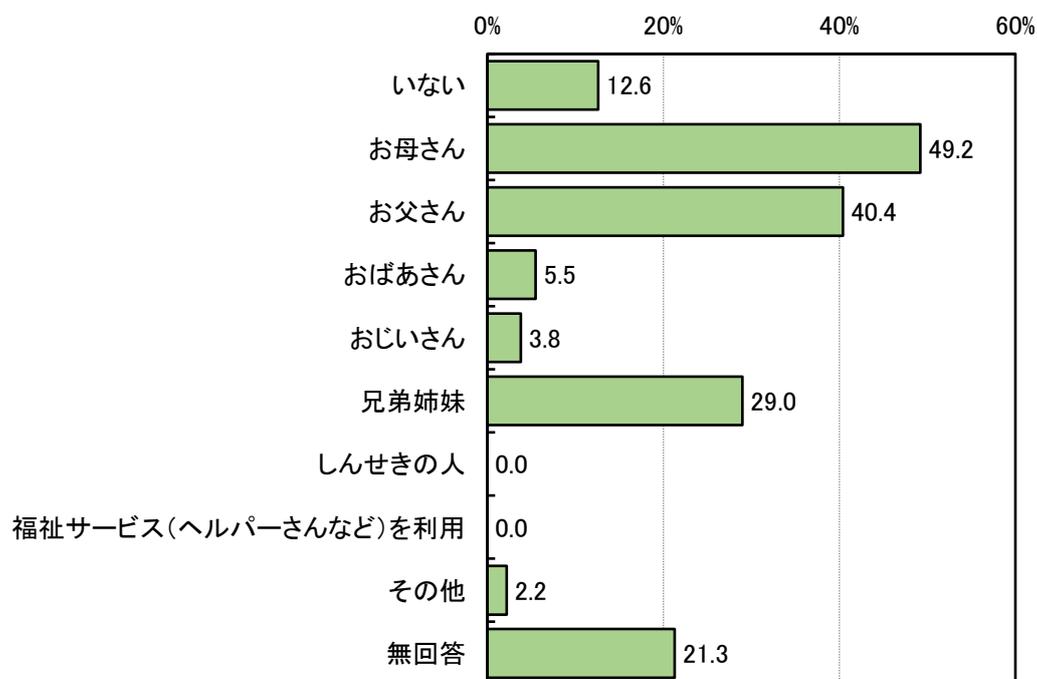
「その他」には、「本読み」、「遊ぶ」、「ミルクを作る」、「荷物をもつ」、「留守番」、「マッサージ」、「外出時に手を引く」、「お風呂洗い」などの回答がありました。

## (6) 一緒にお世話している人

問 11 あなたはお世話を誰と一緒にしていますか。(あてはまる番号すべてに○)

お世話を一緒にしている人については、「お母さん」が 49.2%で最も高く、次いで「お父さん」が 40.4%、「兄弟姉妹」が 29.0%などとなっています。一方、「いない」と回答した人が 12.6%となっています。

【n=183】

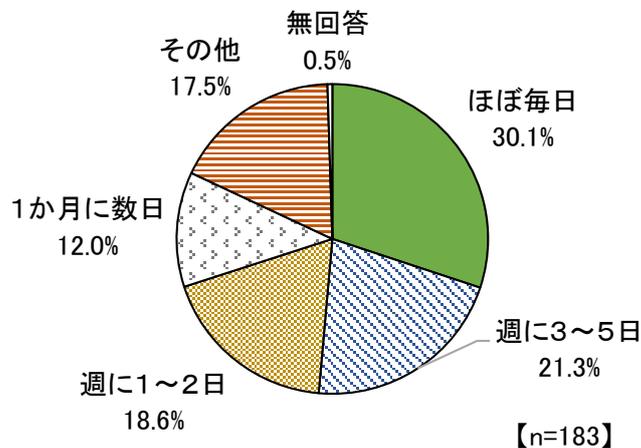


「その他」には、「親戚」などの回答がありました。

(7) お世話をしている頻度

問 12 あなたはどのくらいお世話をしていますか。(あてはまる番号1つに○)

お世話をしている頻度については、「ほぼ毎日」が30.1%で最も高く、次いで「週に3～5日」が21.3%、「週に1～2日」が18.6%などとなっています。

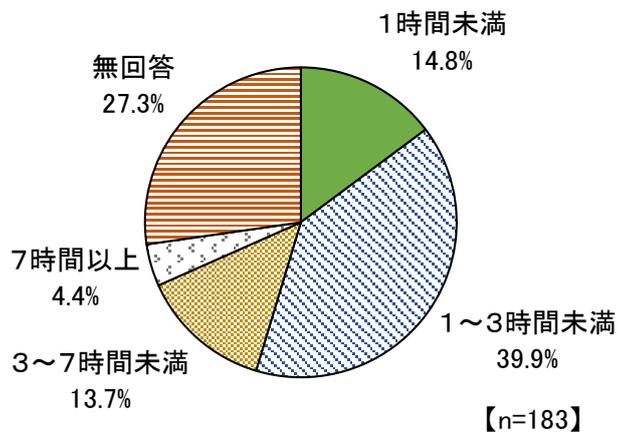


「その他」には、「あまりお世話をしてない」、「習い事の日以外」などの回答がありました。

(8) お世話をしている時間

問 13 あなたは1日何時間くらいお世話をしていますか。(日によって違う場合は、この1か月でいちばん長かった日の時間を教えてください)

1日あたりのお世話に費やす時間については、「1～3時間未満」が39.9%で最も高く、次いで「1時間未満」が14.8%、「3～7時間未満」が13.7%などとなっています。



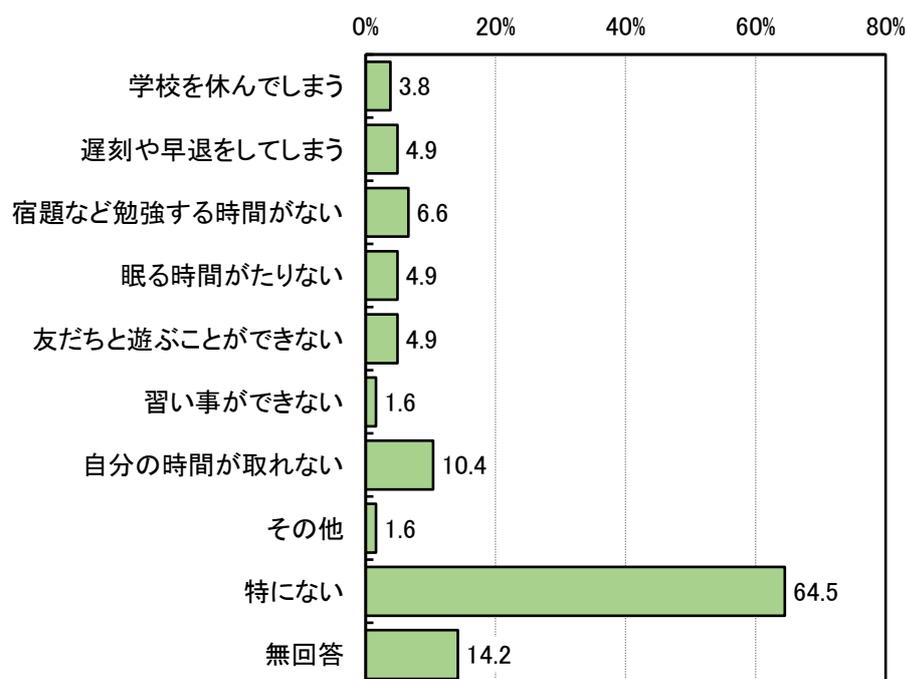
## (9) お世話をしているために、やりたいけれどできていないこと

問 14 お世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。

(あてはまる番号すべてに○)

お世話をしているために、やりたいけれどできていないことについては、「特にない」が64.5%で最も高く、次いで「自分の時間が取れない」が10.4%、「宿題など勉強する時間がない」が6.6%などとなっています。

【n=183】

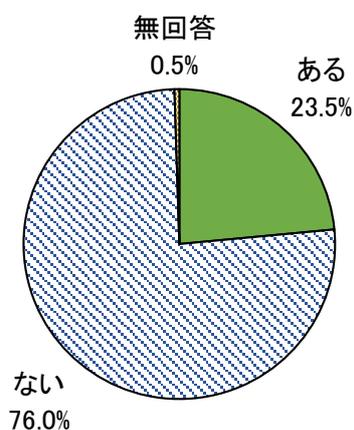


「その他」には、「1人であそびたい」、「喧嘩をしてしまう」などの回答がありました。

## (10) お世話について相談した経験

問 15 あなたはお世話をしている家族のことや、お世話の悩みを誰かに相談したことはありますか。(あてはまる番号1つに○)

お世話について相談した経験は、「ある」が23.5%、「ない」が76.0%となっています。



【n=183】

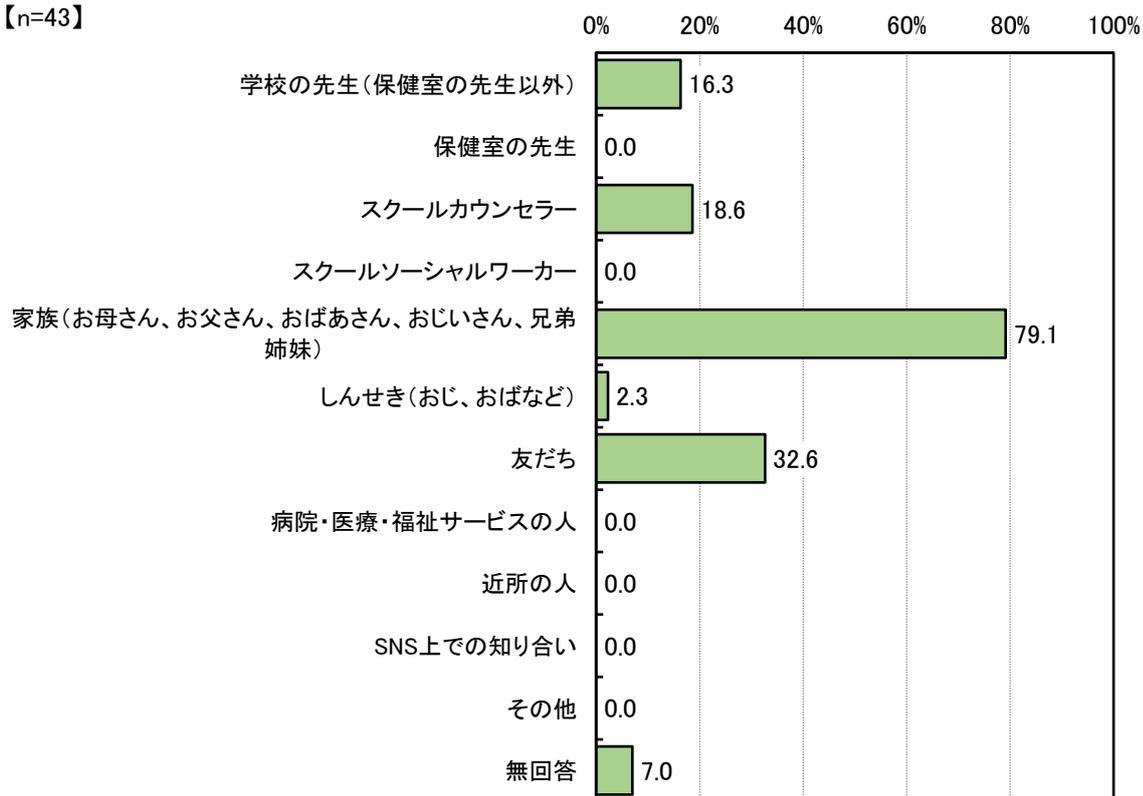
(11) 相談相手

問 15-① 問 15 で「1. ある」と答えた人にお聞きします。

相談した相手は誰ですか。(あてはまる番号すべてに○)

お世話について相談した経験が「ある」と回答した人に、お世話についての相談相手を聞いたところ、「家族(お母さん、お父さん、おばあさん、おじいさん、兄弟姉妹)」が79.1%で最も高く、次いで「友だち」が32.6%、「スクールカウンセラー」が18.6%などとなっています。

【n=43】



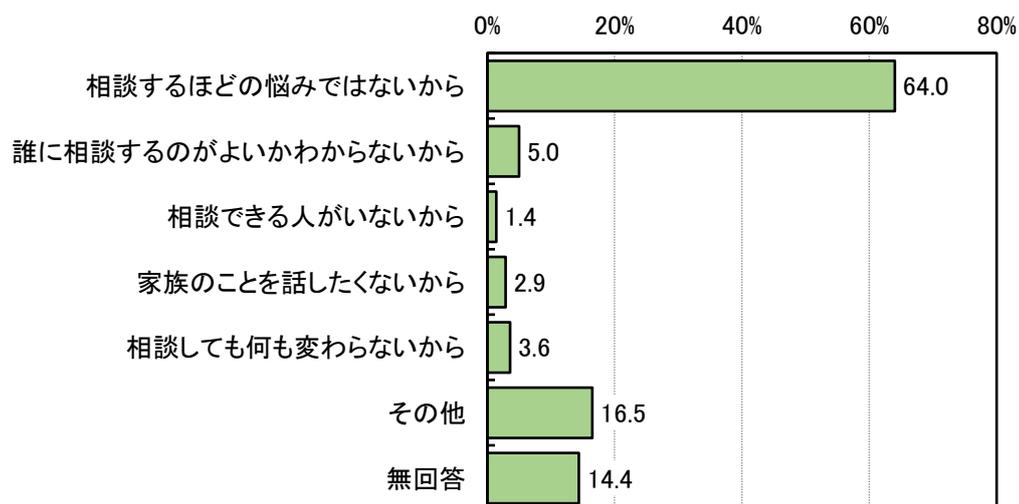
## (12) お世話について相談したことがない理由

問 15-② 問 15で「2. ない」と答えた人にお聞きします。

相談していない理由を教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

お世話について相談したことがない理由は、「相談するほどの悩みではないから」が64.0%で最も高く、次いで「誰に相談するのがよいかわからないから」が5.0%、「相談しても何も変わらないから」が3.6%などとなっています。

【n=139】



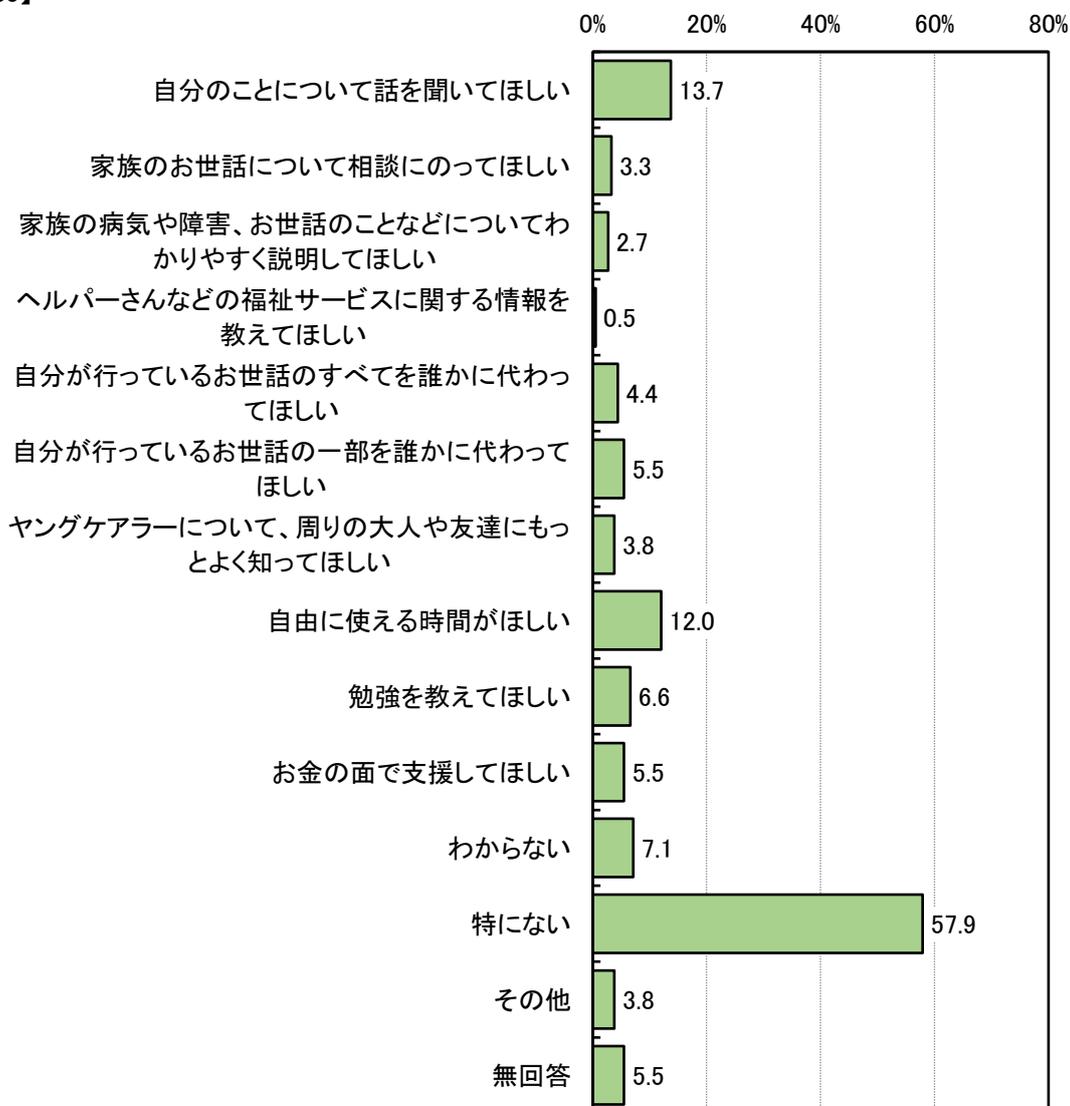
(13) 学校や大人にしてもらいたいこと、必要な支援

問 16 学校や周りの大人にしてもらいたいこと、お世話のことであつたらいいと思うサポートは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

学校や大人にしてもらいたいこと、必要な支援については、「特にない」が57.9%で最も高く、次いで「自分のことについて話を聞いてほしい」が13.7%、「自由に使える時間がほしい」が12.0%などとなっています。

また本設問では、「自分が行っているお世話の一部を誰かに代わってほしい」と回答した方に、「具体的にどんなお世話、どんな時ですか」と聞いたところ、「宿題がたくさんある時」、「帰りが遅かった時」、「友達との約束の時」などに、「家事の一部」、「家族のお世話の一部」などを代わってほしいという回答がみられました。

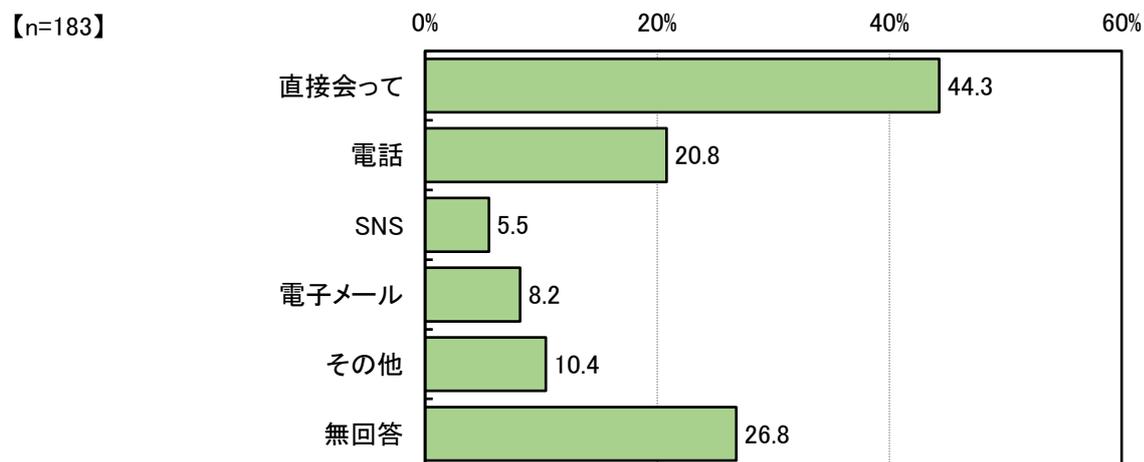
【n=183】



## (14) 希望する相談の手段

問 17 あなたはどのような方法で話を聞いたり相談に乗ってほしいですか。  
(あてはまる番号すべてに○)

希望する相談の手段を聞いたところ、「直接会って」が 44.3%で最も高く、次いで「電話」が 20.8%、「電子メール」が 8.2%などとなっています。



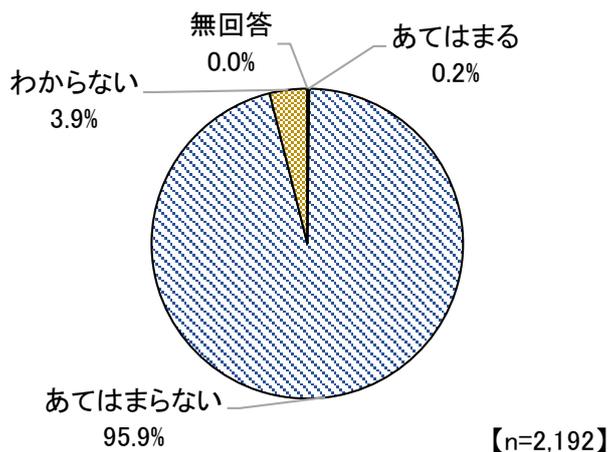
「その他」には、「手紙」などの回答がありました。

(15) ヤングケアラーの自覚

問 18 あなた自身は「ヤングケアラー」にあてはまると思えますか。  
 (あてはまる番号1つに○)

自身がヤングケアラーにあてはまると思うかについて聞いたところ、0.2% (5人)が「あてはまる」と回答しています。

(「あてはまらない」には、お世話をしている家族の有無(問6)で、「いない」と回答した人を含みます。)

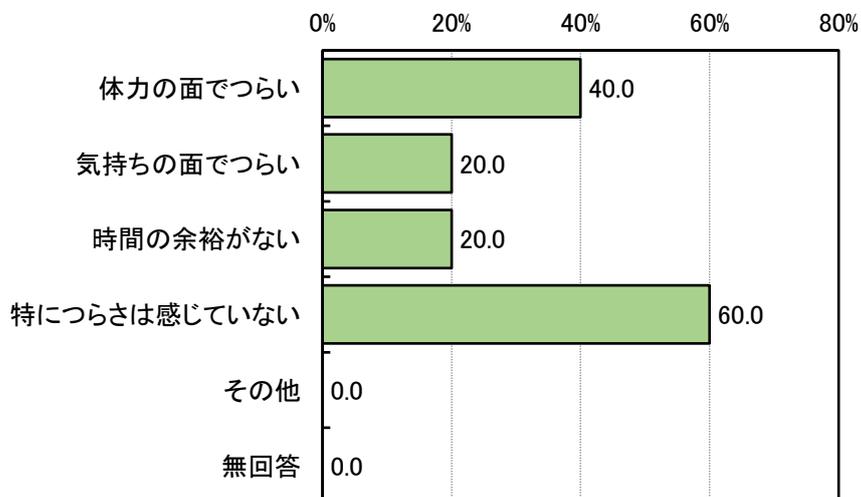


(16) お世話の大変さ

問 18-① 問 18 で「1. あてはまる」と答えた人にお聞きします。  
 あなたは家族のお世話をすることにつらさを感じていますか。  
 (あてはまる番号すべてに○)

お世話をすることを感じている大変さについては、「特につらさは感じていない」が60.0%で最も高く、次いで「体力の面でつらい」が40.0%、「気持ちの面でつらい」、「時間の余裕がない」が20.0%となっています。

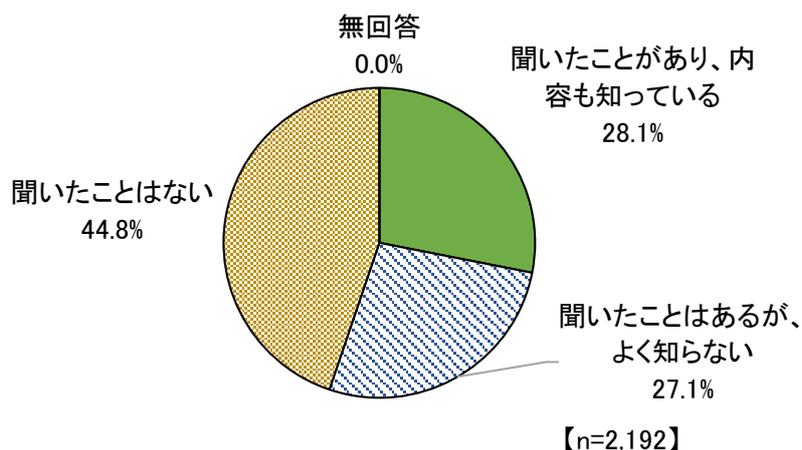
【n=5】



## (17) ヤングケアラーの認知度

問 19 「ヤングケアラー」という言葉をこのアンケートをする前に聞いたことがありましたか。(あてはまる番号1つに○)

ヤングケアラーの認知度については、「聞いたことはない」が44.8%で最も高く、次いで「聞いたことがあり、内容も知っている」が28.1%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が27.1%となっています。



## (18) 支援を求める記名の有無

最後に、ヤングケアラーについて悩んでいて、今すぐ「相談したい」、「何かしてほしい」人のみ、こちらにお名前を書いてください。

最後に、ヤングケアラーについて悩み、支援を求める子どもが任意で記名できる設問を設けたところ、121件の記名がありました。そのうち、問6でお世話をしている家族が「いる」と回答した件数は28件で、問18で自身がヤングケアラーに「あてはまる」と回答した件数は1件でした。

支援を求める 記名の有無	記名あり 121 件	記名なし 2,071 件
お世話をしている 家族の有無(問6)	いる 28 件	いない 93 件
ヤングケアラーの 自覚(問18)	あてはまる 1 件	あてはまらない 10 件 わからない 17 件

## Ⅲ 小学生調査 追加分析

## (1) お世話をしている家族の有無

## ① お世話をしている家族の有無×健康状態

健康状態については、お世話をしている家族がいる場合、いない場合と比べて、健康状態が「よい」、「まあよい」と回答した人を合計した割合が低くなっています。

	回答者数 (人)	よい	まあよい	ふつう	あまり よくない	よくない	無回答
全体	2,192	56.1	19.4	20.7	3.4	0.4	0.0
いる	183	57.9	15.8	21.9	3.8	0.5	0.0
いない	2,009	55.9	19.8	20.6	3.4	0.4	0.0

## (2) 性別

※性別について、「その他」、「答えない」という回答は、サンプル数が少ないためクロス集計では除外しています。

## ① 性別×お世話をしている家族の有無

家族のお世話の有無については、お世話をしている人が男性の場合、女性と比べて「いる」と回答した割合が高くなっています。

	回答者数 (人)	いる	いない	無回答
全体	2,192	8.3	91.7	-
男性	1,068	9.0	91.0	0.0
女性	1,054	7.6	92.4	0.0

## ② 性別×お世話の内容

お世話の内容については、お世話をしている人が男性の場合、女性と比べて「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」、「薬の管理」などの割合が高くなっています。

また、お世話をしている人が女性の場合、男性に比べて「話を聞く」、「病院に一緒に行く」などの割合が高くなっています。

	回答者数 (人)	や掃除、洗濯	家事（食事の準備）	や送り迎えのお世話	兄弟姉妹のお世話	入浴やトイレのお	一緒に歩く散歩に	買い物や散歩に	病院に一緒に行く	話を聞く	見守り	話など（日本語や手	通訳	お金の管理	薬の管理	その他	無回答
全体	183	42.1	16.9	17.5	19.7	3.8	18.0	25.7	1.6	2.2	1.6	7.1	22.4				
男性	96	45.8	16.7	17.7	20.8	3.1	13.5	26.0	2.1	3.1	3.1	8.3	20.8				
女性	80	37.5	17.5	17.5	20.0	5.0	22.5	23.8	1.3	1.3	0.0	3.8	25.0				

## ③ 性別×お世話をしている頻度

お世話をしている頻度については、お世話をしている人が男性の場合、女性と比べて「1か月に数日」などの割合が高くなっています。また、お世話をしている人が女性の場合、男性と比べて「ほぼ毎日」、「週に3～5日」、「週に1～2日」の割合が高くなっています。

	回答者数 (人)	ほぼ毎日	週に3～5日	週に1～2日	1か月に数日	その他	無回答
全体	183	30.1	21.3	18.6	12.0	17.5	0.5
男性	96	27.1	20.8	17.7	15.6	17.7	1.0
女性	80	32.5	22.5	20.0	7.5	17.5	0.0

④ 性別×お世話をしている時間

1日あたりのお世話を費やす時間については、お世話をしている人が男性の場合、女性と比べて「1時間未満」の割合が高くなっています。また、お世話をしている人が女性の場合、男性と比べて「1～3時間未満」、「3～7時間未満」、「7時間以上」の割合が高くなっています。

	回答者数 (人)	1時間 未満	1～3 時間未満	3～7 時間未満	7時間 以上	無回答
全体	183	14.8	39.9	13.7	4.4	27.3
男性	96	15.6	37.5	10.4	3.1	33.3
女性	80	15.0	45.0	16.3	5.0	18.8

⑤ 性別×お世話をしているために、やりたいけれどできていないこと

お世話をするることによる生活への影響については、「特にない」が男性女性ともに割合が最も高いものの、「習い事ができない」、「その他」を除くいずれにおいても女性の方が男性よりも割合が高くなっています。

	回答者数 (人)	学校を休んでしまう	遅刻や早退をしてしまう	ない宿題など勉強する時間が	眠る時間がたりない	ない友達と遊ぶことができ	習い事ができない	自分の時間が取れない	その他	特にない	無回答
全体	183	3.8	4.9	6.6	4.9	4.9	1.6	10.4	1.6	64.5	14.2
男性	96	3.1	4.2	5.2	2.1	3.1	3.1	6.3	2.1	63.5	18.8
女性	80	3.8	5.0	6.3	6.3	7.5	0.0	13.8	1.3	67.5	10.0

⑥ 性別×お世話について相談した経験

お世話を悩むことについての相談の有無は、お世話をしている人が女性の場合、男性と比べて「ある」の割合が高くなっています。

	回答者数 (人)	ある	ない	無回答
全体	183	23.5	76.0	0.5
男性	96	18.8	80.2	1.0
女性	80	31.3	68.8	0.0

## ⑦ 性別×学校や大人にしてもらいたいこと、必要な支援

学校や大人にしてもらいたいこと、必要な支援については、お世話をしている人が男性の場合、女性と比べて「自分のことについて話を聞いてほしい」、「ヤングケアラーについて、周りの大人や友達にもっとよく知ってほしい」などの割合が高くなっています。また、お世話をしている人が女性の場合、男性と比べて「自由に使える時間がほしい」、「家族のお世話について相談にのってほしい」などの割合が高くなっています。

回答者数（人）	自分のことについて話を聞いてほしい	家族のお世話について相談にのってほしい	家族の病気や障害、お世話のことなど	家族の情報や教えなどの福祉サービスに関する	ヘルパーさんなどの福祉サービスに関する	自分が行っているお世話を誰かに代わってほしい	自分が行っているお世話を誰かに代わってほしい	ヤングケアラーにもっとよく知ってほしい	自由に使える時間がほしい	勉強を教えてほしい	お金の面で支援してほしい	わからない	特にない	その他	無回答
全体	183	13.7	3.3	2.7	0.5	4.4	5.5	3.8	12.0	6.6	5.5	7.1	57.9	3.8	5.5
男性	96	15.6	1.0	4.2	1.0	3.1	6.3	5.2	9.4	6.3	6.3	8.3	54.2	5.2	7.3
女性	80	11.3	5.0	1.3	0.0	5.0	3.8	1.3	13.8	6.3	5.0	6.3	63.7	1.3	2.5

(3) 家族構成

※家族構成について、「その他の世帯」という回答は、サンプル数が少ないためクロス集計では除外しています。

① 家族構成×お世話を必要としている家族

お世話を必要としている家族については、いずれにおいても「兄弟姉妹」の割合が最も高くなっています。また、三世代世帯の場合、他と比べて「お父さん」、「おばあさん」、「おじいさん」の割合が高く、ひとり親家庭の場合、他と比べて「お母さん」の割合が高くなっています。

	回答者数 (人)	お母さん	お父さん	おばあ さん	おじい さん	兄弟姉妹	その他	無回答
全体	183	11.5	7.7	3.8	2.7	50.3	1.6	33.9
二世帯世帯	122	9.8	4.1	1.6	1.6	52.5	0.8	37.7
三世代世帯	25	12.0	20.0	20.0	12.0	36.0	0.0	32.0
ひとり親家庭	20	25.0	15.0	0.0	0.0	45.0	0.0	25.0

② 家族構成×お世話の内容

お世話の内容については、二世帯世帯の場合、他と比べて「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」、「見守り」などの割合が高くなっています。また、三世代世帯の場合、他と比べて「話を聞く」、「買い物や散歩に一緒に行く」などの割合が高く、ひとり親家庭の場合、他と比べて「お金の管理」、「通訳（日本語や手話など）」などの割合が高くなっています。

	回答者数 (人)	や 家 掃 事 除 (食 、 事 洗 準 濯 備)	や 兄 送 弟 り 姉 迎 妹 え の お 世 話	お 入 世 浴 話 や ト イ レ の	一 買 緒 い に 物 行 や く 散 歩 に	病 院 に 一 緒 に 行 く	話 を 聞 く	見 守 り	手 話 な ど (日 本 語 や	通 訳 (日 本 語 や	お 金 の 管 理	薬 の 管 理	そ の 他	無 回 答
全体	183	42.1	16.9	17.5	19.7	3.8	18.0	25.7	1.6	2.2	1.6	7.1	22.4	
二世帯世帯	122	45.1	18.0	18.9	18.9	3.3	14.8	26.2	0.8	2.5	2.5	6.6	23.0	
三世代世帯	25	32.0	16.0	24.0	36.0	12.0	36.0	20.0	4.0	0.0	0.0	4.0	24.0	
ひとり親家庭	20	35.0	10.0	5.0	10.0	0.0	10.0	20.0	5.0	5.0	0.0	15.0	25.0	

## (4) お世話を必要としている家族

※お世話を必要としている家族について、「その他」という回答は、サンプル数が少ないためクロス集計では除外しています。

## ① お世話を必要としている家族×お世話の内容

お世話を必要としている家族ごとに、お世話の内容について聞いたところ、「お母さん」、「お父さん」では「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」、「買い物や散歩と一緒に歩く」などの割合が高くなっています。

「おばあさん」では「病院と一緒に歩く」、「入浴やトイレのお世話」、「買い物や散歩と一緒に歩く」などの割合が高くなっています。

「おじいさん」では「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」、「買い物や散歩と一緒に歩く」などの割合が高くなっています。

「兄弟姉妹」では「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」、「見守り」などの割合が高くなっています。

	回答者数（人）	や掃除、洗濯の準備	や送り迎えのお世話	兄弟姉妹のお世話	入浴やトイレのお世話	一緒に歩くや散歩	病院と一緒に歩く	話を聞く	見守り	通訳（日本語や手話など）	お金の管理	薬の管理	その他	無回答
全体	183	42.1	16.9	17.5	19.7	3.8	18.0	25.7	1.6	2.2	1.6	7.1	22.4	
お母さん	21	71.4	4.8	14.3	23.8	14.3	9.5	14.3	4.8	9.5	0.0	4.8	9.5	
お父さん	14	64.3	14.3	21.4	35.7	14.3	14.3	7.1	7.1	14.3	0.0	7.1	0.0	
おばあさん	7	14.3	0.0	28.6	28.6	42.9	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	
おじいさん	5	60.0	20.0	0.0	40.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	
兄弟姉妹	92	44.6	31.5	28.3	23.9	2.2	23.9	42.4	1.1	3.3	2.2	6.5	8.7	

#### IV 自由記述について

問 20 ヤングケアラーのことで意見や感想、その他困っていることなどがあれば自由に書いてください。

以下に記載する意見は、原文のままではありませんが、なるべく回答者の表現を用いる形で記載しています。

##### (1) 相談体制の充実、相談しやすい・話しやすい環境づくり

- ・対応する機関や相談所のプリントを配布してもいいのではないのでしょうか。
- ・最近、CMでもやっているから、自分でも身近に感じている。周りに困っている人がいたら、専用のサイトなどで気軽に相談してほしいと思った。
- ・例えばその子に、友達や親族に気軽に相談出来るような環境を作ってあげる事が一番大切だと思います。
- ・もしこれからの生活で、ヤングケアラーに当てはまることがあれば、すぐ相談しようと思った。
- ・ヤングケアラーの人が辛い時に、話を聞いてくれる人がいる時はいいけれど、誰にも相談できずに抱えこんでしまう人の為に相談できる人がいた方がいいのかなって思いました。

##### (2) 子どもたちの意見を伝えられる環境づくり、意思の尊重

- ・ヤングケアラーであっても、その事を隠す人が居るかもしれないから、意外と自分にとって身近なことだと気が付きにくいと思う。
- ・ヤングケアラーの人は大人がやるべきことを任されていて、その子が本当にやりたいことができなくて、自分が思っていることを発言できない子になってしまうと思った。

##### (3) 学校におけるサポートや配慮

- ・ヤングケアラーを見つけたらどのような対応をしないといけないのか知りたい。
- ・気づいてあげるために、4ヶ月に一回ぐらいのペースで全員の生徒の家まで、訪問してあげれば気づいてあげることができると思います。

##### (4) 周囲（大人や友達）の理解や寄り添い

- ・もしこのクラスに「ヤングケアラー」がいるのなら、相談を受けてあげたいです。
- ・もし、身近にヤングケアラーの友達がいたら、相談に乗ってあげたり、最大限手伝えることがあれば手伝ってあげたいです。
- ・自分にできることは少ない。だけど、異変を感じたら聞くのではなく気づいてあげられるよう、自分にできることは尽くす。
- ・ヤングケアラーという言葉を知ったから、障害のある家族がいたら助けたい。
- ・家族のお世話で大変な子どもがいることを初めて知って、そういう子がいたら寄り添って相談などに乗りたと思った。

**(5) 福祉サービスやボランティア等による支援**

- ・ヤングケアラーで困っている子どもたちに寄付をしたい。
- ・ヤングケアラーはとてもえらいと思うので、あまり不自由がないように支援してほしい。

**(6) 経済的支援**

- ・ヤングケアラーを持つ家庭全てに政府が支援金や代理で家事を行うなどの政策を実施した方が良くと思う。
- ・ヤングケアラーの子どもには、寄付金をあげるべきだと思う。

**(7) ヤングケアラーの普及啓発**

- ・このアンケートをとる前はヤングケアラーという言葉は聞いたこともなかったけれど、動画を見て自由な時間などが取れずに困っている人がいるということを知って、他の子達にもヤングケアラーを教えようと思いました。
- ・とても深刻な問題だと思います。少子高齢化が進む今の日本社会にあるまじきことだと思います。
- ・やりたくて、できないという子どもがいるということは知っていたけれど、この動画を見て、私に何か出来ることはないのだろうかと考えようと思います。
- ・ヤングケアラーという言葉あまり聞いたことはなかったので、動画を見てこういう家庭の人もいるのだなと思いました。こうやってアンケートを通して知ることとはとても大切だと思いました。
- ・家庭の経済状況によって、家族のお世話をしている子どもが十分に勉強をしたり遊んだりする、自分の時間をとれないという貧困の連鎖が起きているという現状は、今すぐ解決すべき問題だと感じました。2023年4月1日に設置される子ども家庭庁の取り組みによって、この問題がさらに解決できればいいなと思いました。

**(8) その他支援の充実（自分のための時間をつくってあげるなど）**

- ・政府がちゃんとヤングケアラーのことについて議論し、ヤングケアラー問題を解決させ、子どもが子どもらしく生きられる日本にしてほしいです。ヤングケアラーで悩んでいる子どもがたくさんいるのになぜもっとヤングケアラー問題を解決する運動がないのでしょうか？
- ・子どもなのに本来大人がやらなければならないことをやっている子どもがいるので、その子どもがやりたいことをやれて、自由を確保できるようにするために、多摩市が最低限の支援をしてほしいと思う。
- ・もっと他の人も協力した方がいいと思いました。また、ユニセフのような支援をすれば少しは楽になると思います。
- ・ヤングケアラーで悩んでいる子どもがいることは仕方ないことだと思うので、無理をせず、市や県から支援をしてあげるのが良いと思います。
- ・このようなことで悩むことがなくなるような制度がもっと充実するとういと思っています。

す。

- ・日本政府はヤングケアラーの人々に対し「相談支援」や「家事育児支援」などをしていますが、この対策をすることによって何か変わるのでしょうか。

#### (9) ヤングケアラーに関する感想

- ・ヤングケアラーって、何かわからなかったけれど、アンケートの前にヤングケアラーのことを知ると、こんなに困っている人がいてびっくりした。
- ・ヤングケアラーは、本来子どもが自由になれるはずなのになれないことが分かった。ヤングケアラーがどれほど大変なのか知りたい。
- ・ヤングケアラーは外から見るだけではちゃんと把握することができないから、こういうアンケートは大事だと思った。
- ・今はヤングケアラーでは無いけれど、将来的にあることだと思うので少しずつどうすればいいのか学んでいきたい。
- ・多摩市にもヤングケアラーに悩んでいる子どもがいることを初めて知った。
- ・聞いたことはあるがよく知らなかったから動画があったことでわかりやすかった。

#### (10) お世話をしている家族がいると回答した児童の声

- ・ヤングケアラーのことを知って、もしかしたら自分のことかもと、家事を少しでも代われるなら代わってみたいかもと思った。ヤングケアラーに、当てはまるかわからないからなかなか本格的な相談などができなくてちょっと不安です。
- ・お世話をする人を増やしていった方がいいと思う。
- ・ママやパパの家事の負担を減らしたい。
- ・ヤングケアラーの人達だけが困るのではなく、みんなに気軽に相談してほしい。
- ・ヤングケラーは人のためでもあるし相手が嬉しくなることもある。
- ・自分が学校に居る時、親に通訳する事が出来ない。
- ・自分のやりたいことが出来なくなるのは少し苦痛だなと思った。
- ・正直めんどうくさい。

## 2 中学生調査

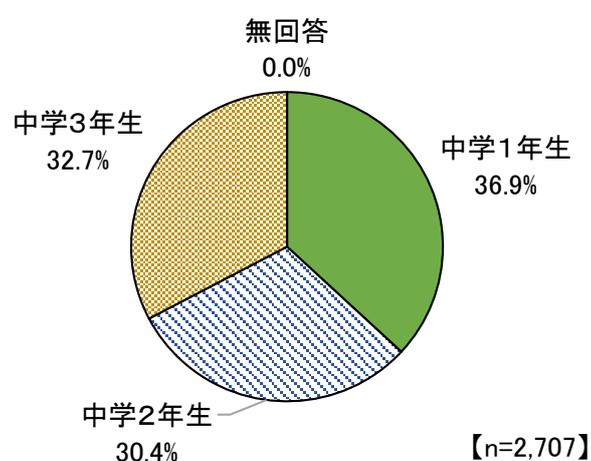
### I 基本情報

※問1 学校、問3 クラスの回答は省略しています。

#### (1) 学年

問2 あなたの学年を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

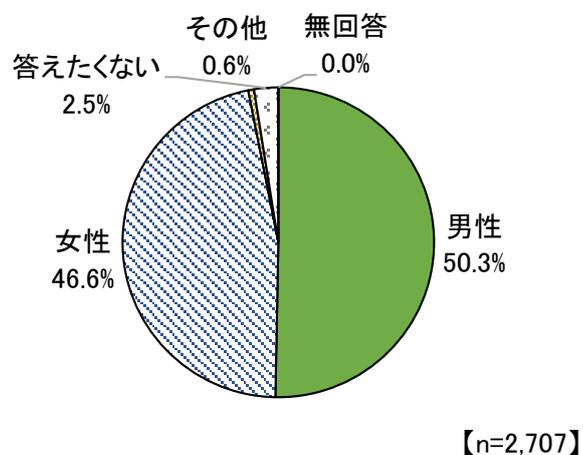
回答者の学年は、「中学1年生」が36.9%、「中学2年生」が30.4%、「中学3年生」が32.7%となっています。



#### (2) 性別

問4 あなたの性別を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

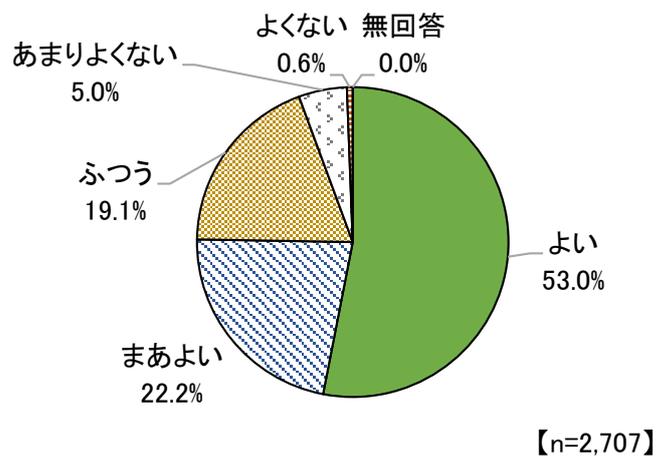
回答者の性別は、「男性」が50.3%で最も高く、次いで「女性」が46.6%、「答えたくない」が2.5%などとなっています。



(3) 健康状態

問5 あなたの健康状態について教えてください。(あてはまる番号1つに○)

健康状態は、「よい」、「まあよい」と回答した人を合計すると 75.2%となっています。一方、「よくない」、「あまりよくない」と回答した人を合計すると 5.6%となっています。

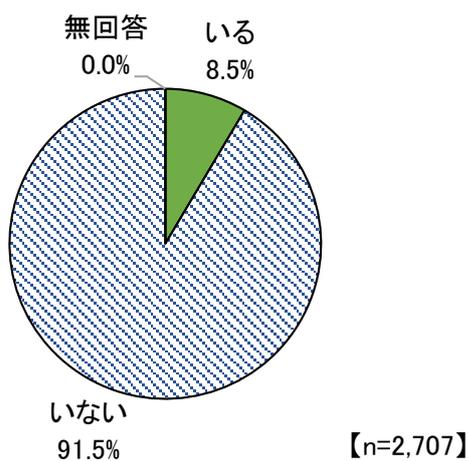


## Ⅱ 家庭や家族のことについて

## (1) お世話をしている家族の有無

問6 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。(ここでいう「お世話」とはふつう大人が行うような家事や家族のお世話を指します。)(あてはまる番号1つに○)

自身がお世話をしている家族が「いる」と回答した人の割合は、8.5% (230人) となっています。



※犬や猫などのペットと回答した人は除いています。

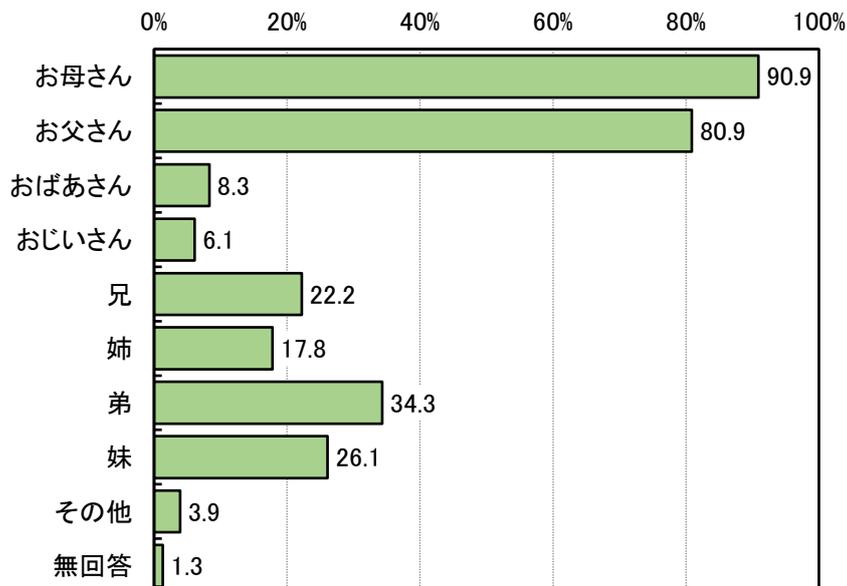
(2) 家族構成

問7 問6で「1. いる」と答えた人にお聞きします。

あなたが一緒に住んでいるのは誰ですか。(あてはまる番号すべてに○)

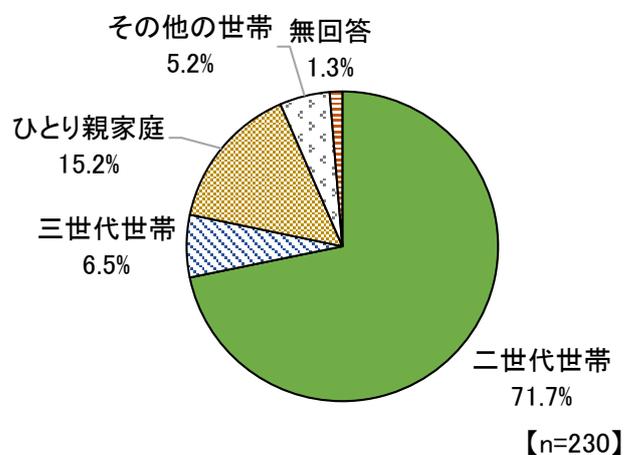
同居する家族の内訳は、「お母さん」が 90.9%で最も高く、次いで「お父さん」が 80.9%、「弟」が 34.3%などとなっています。

【n=230】



「その他」には、「親戚」などの回答がありました。

また、同居する家族の内訳を家族構成で整理した結果、「二世代会帯」が71.7%で最も高く、次いで「ひとり親家庭」が15.2%、「三世代会帯」が6.5%などとなっています。



世帯	同居する家族
二世代会帯	お母さん、お父さん、兄・姉、弟・妹、その他（親戚など）
三世代会帯	お母さん、お父さん、おばあさん、おじいさん、兄・姉、弟・妹、その他（親戚など）
ひとり親家庭	お母さん/お父さんのいずれか、兄・姉、弟・妹、その他（親戚など）
その他の世帯	おばあさん、おじいさん、その他（親戚など）

(2) - 1 兄の状況

問7-① 問7で「5. 兄」と答えた人にお聞きします。

あなたの兄についてあてはまるものをすべて選んでください。

(複数の兄がいる場合、すべての方について回答してください。)

同居する家族で「兄」がいると回答した人に年齢を聞いたところ、「高校生世代 (16歳～18歳)」が62.7%で最も高く、次いで「大学生世代 (19歳～22歳)」が25.5%、「中学生」が15.7%などとなっています。

【n=51】



(2) - 2 姉の状況

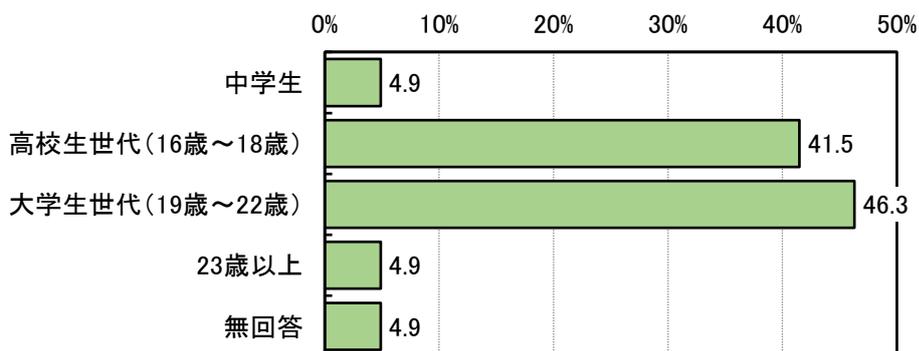
問7-② 問7で「6. 姉」と答えた人にお聞きします。

あなたの姉についてあてはまるものをすべて選んでください。

(複数の姉がいる場合、すべての方について回答してください。)

同居する家族で「姉」がいると回答した人に年齢を聞いたところ、「大学生世代 (19歳～22歳)」が46.3%で最も高く、次いで「高校生世代 (16歳～18歳)」が41.5%、「中学生」、「23歳以上」が4.9%などとなっています。

【n=41】



## (2) - 3 弟の状況

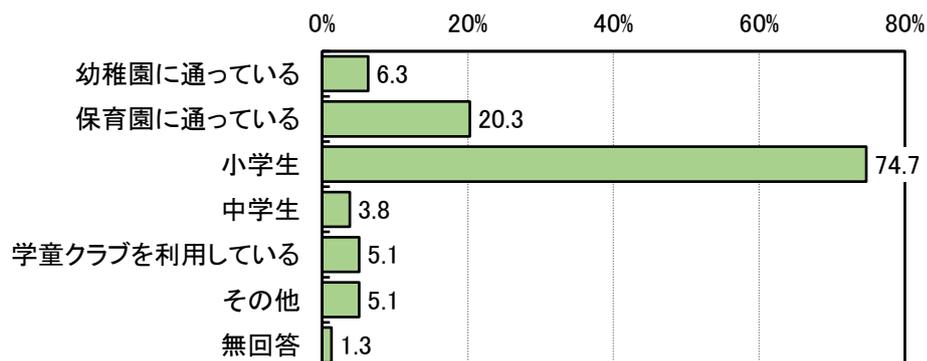
問7-③ 問7で「7. 弟」と答えた人にお聞きします。

あなたの弟についてあてはまるものをすべて選んでください。

(複数の弟がいる場合、すべての方について回答してください。)

同居する家族で「弟」がいると回答した人に状況を聞いたところ、「小学生」が74.7%で最も高く、次いで「保育園に通っている」が20.3%、「幼稚園に通っている」が6.3%などとなっています。

【n=79】



## (2) - 4 妹の状況

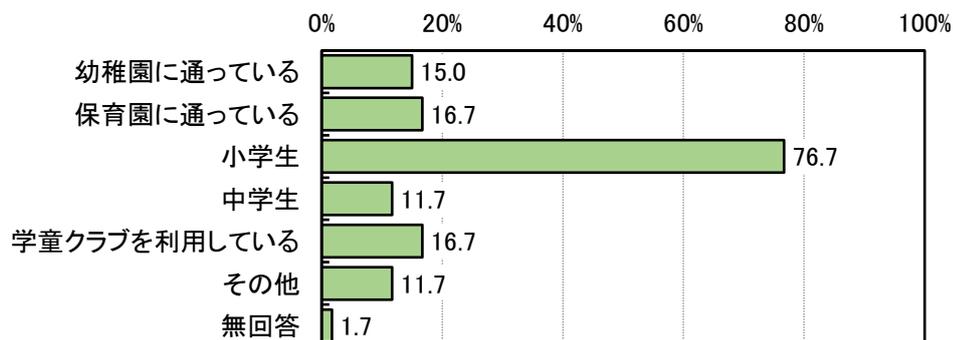
問7-④ 問7で「8. 妹」と答えた人にお聞きします。

あなたの妹についてあてはまるものをすべて選んでください。

(複数の妹がいる場合、すべての方について回答してください。)

同居する家族で「妹」がいると回答した人に状況を聞いたところ、「小学生」が76.7%で最も高く、次いで「保育園に通っている」、「学童クラブを利用している」が16.7%などとなっています。

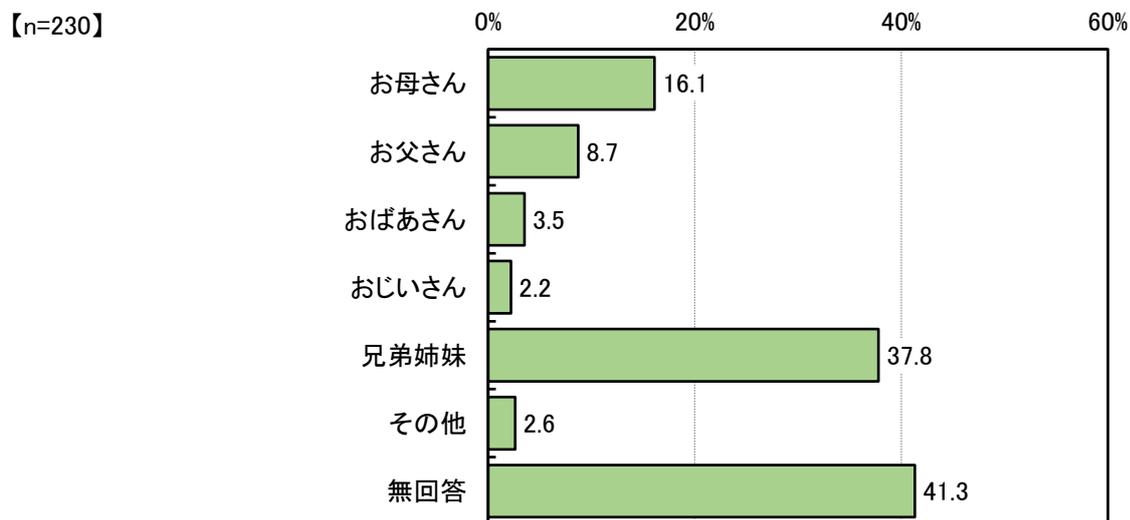
【n=60】



(3) お世話を必要としている家族

問8 あなたは誰のお世話をしていますか。(あてはまる番号すべてに○)

お世話を必要としている家族については、「兄弟姉妹」が37.8%で最も高く、次いで「お母さん」が16.1%、「お父さん」が8.7%などとなっています。



「その他」には、「親戚」などの回答がありました。

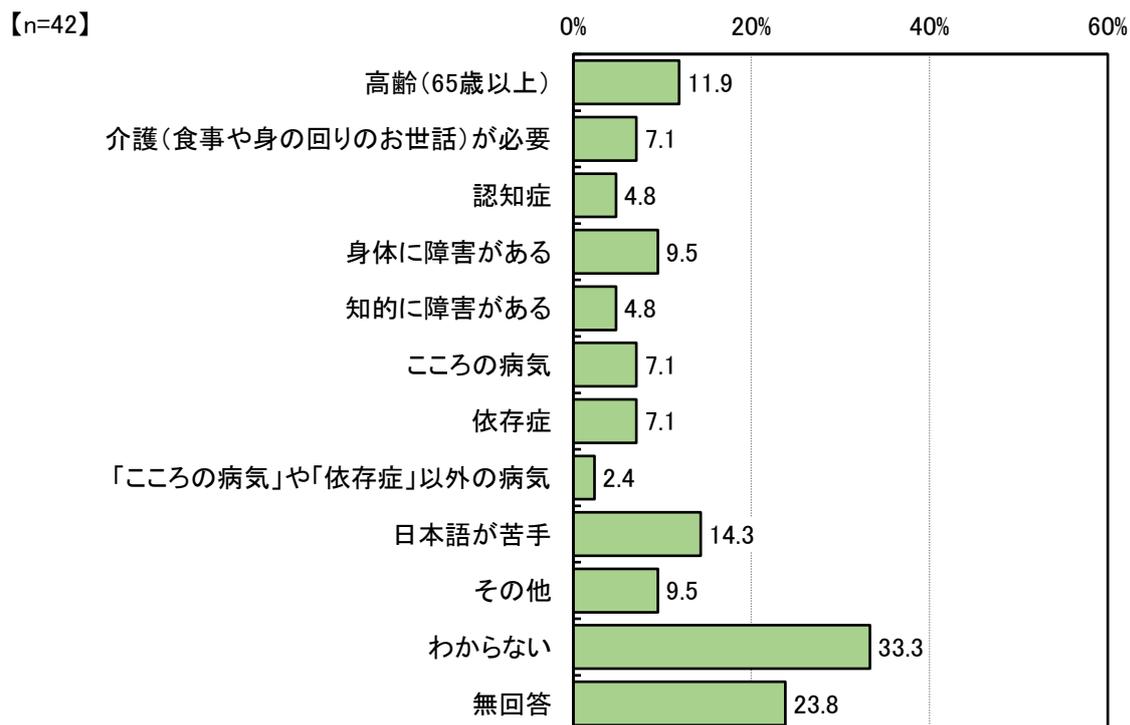
## (4) お世話を必要としている家族の状況

問9 あなたがお世話をしている人の状況について教えてください。

①お母さんやお父さんのお世話をしているのはどのような理由ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

お世話を必要としている父母の状況については、「わからない」が33.3%で最も高く、次いで「日本語が苦手」が14.3%、「高齢(65歳以上)」が11.9%などとなっています。

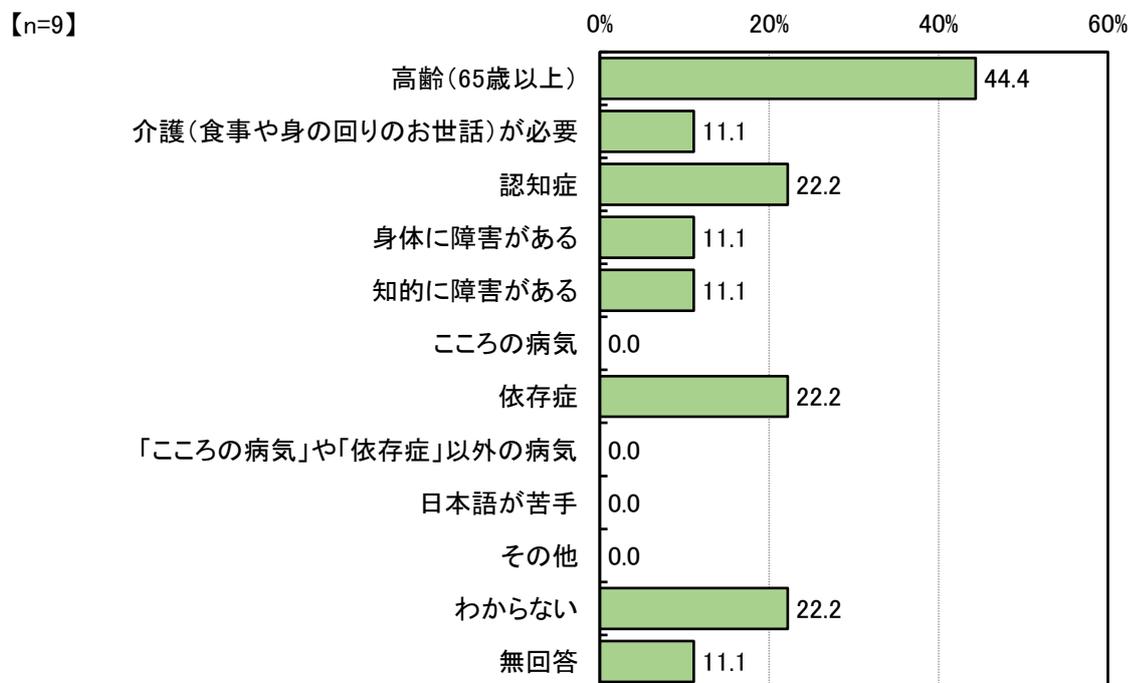


「その他」には、「仕事で忙しくて手伝いが必要だから」、「体調が悪いとき手伝う」などの回答がありました。

②おばあさんやおじいさんのお世話をしているのはどのような理由ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

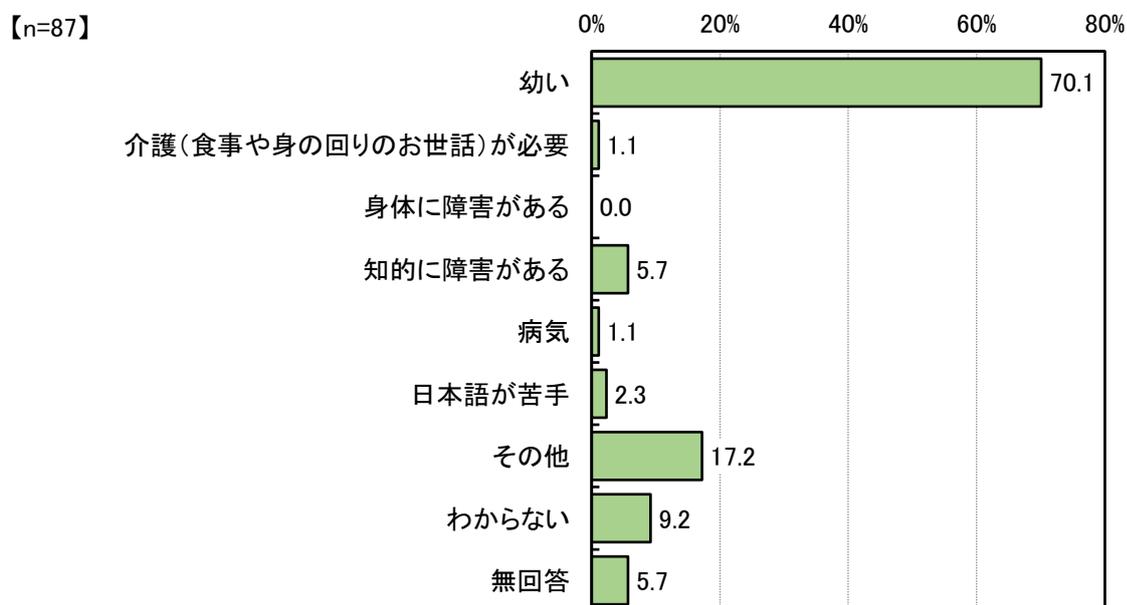
お世話を必要としている祖父母の状況については、「高齢（65歳以上）」が44.4%で最も高く、次いで「認知症」、「依存症」、「わからない」が22.2%などとなっています。



## ③兄弟姉妹のお世話をしているのはどのような理由ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

お世話を必要としている兄弟姉妹の状況については「若い」が70.1%で最も高く、次いで「わからない」が9.2%、「知的に障害がある」が5.7%などとなっています。

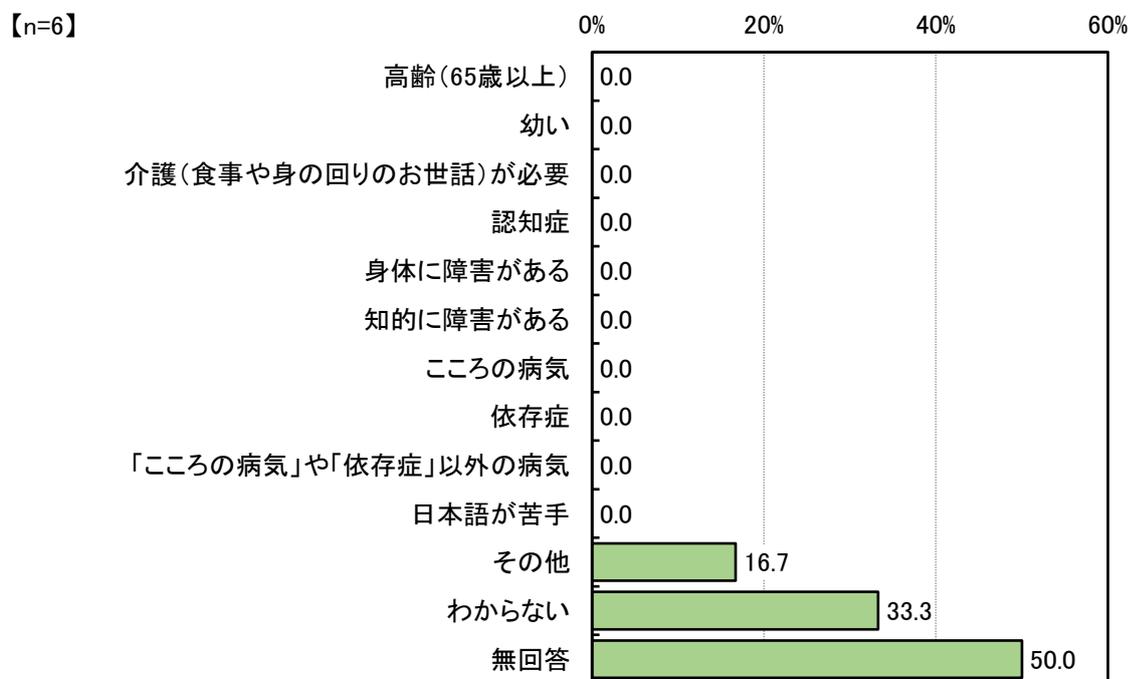


「その他」には、「一緒に遊ぶ」、「留守番」などの回答がありました。

④その他の人のお世話をしているのはどのような理由ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

お世話を必要としているその他の人の状況については、「わからない」が33.3%で最も高く、次いで「その他」が16.7%となっています。



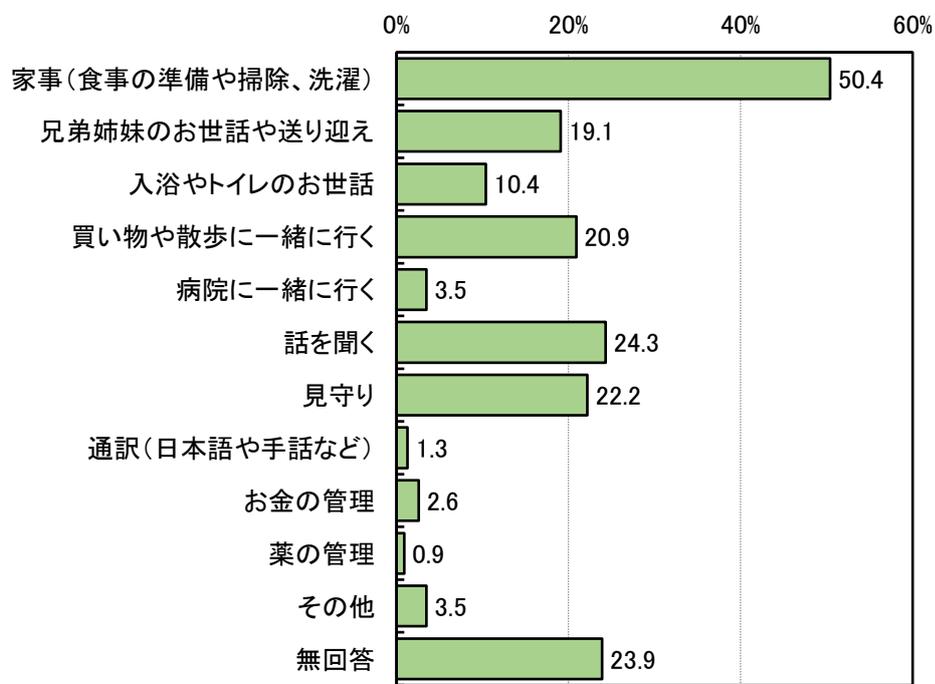
「その他」には、「忙しいから」などの回答がありました。

## (5) お世話の内容

問10 あなたはどのようなお世話をしていますか。(あてはまる番号すべてに○)

お世話の内容については、「家事(食事の準備や掃除、洗濯)」が50.4%で最も高く、次いで「話を聞く」が24.3%、「見守り」が22.2%などとなっています。

【n=230】



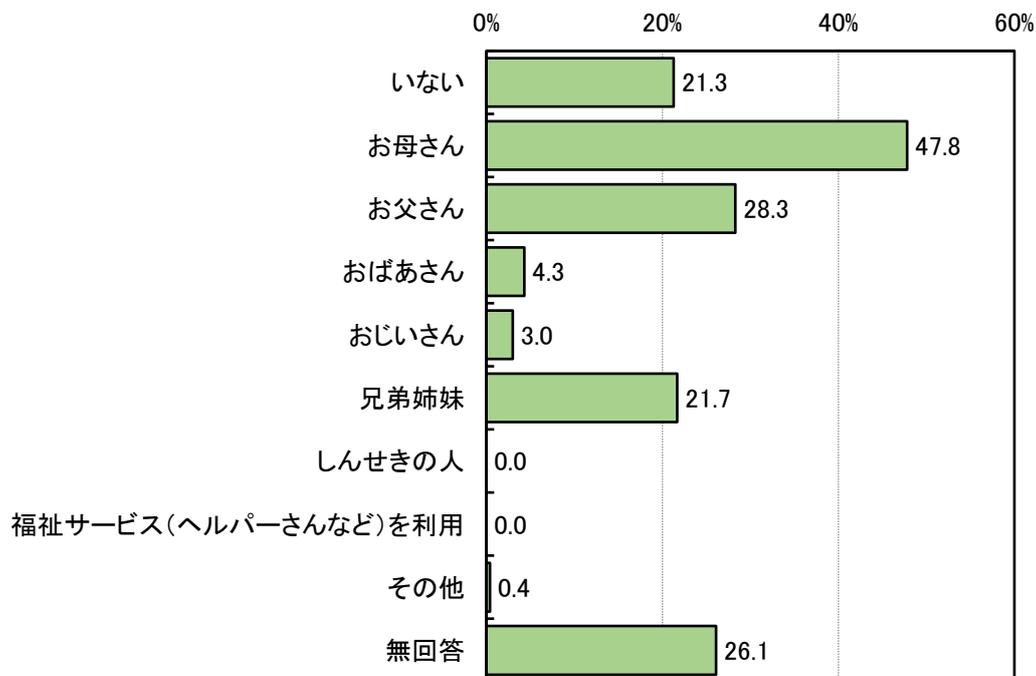
「その他」には、「一緒に遊ぶ」、「一緒に習い事に行く」、「畑の草刈りや農業の手伝い」などの回答がありました。

(6) 一緒にお世話している人

問 11 あなたはお世話を誰と一緒にしていますか。(あてはまる番号すべてに○)

お世話を一緒にしている人については、「お母さん」が 47.8%で最も高く、次いで「お父さん」が 28.3%、「兄弟姉妹」が 21.7%などとなっています。一方、「いない」と回答した人が 21.3%となっています。

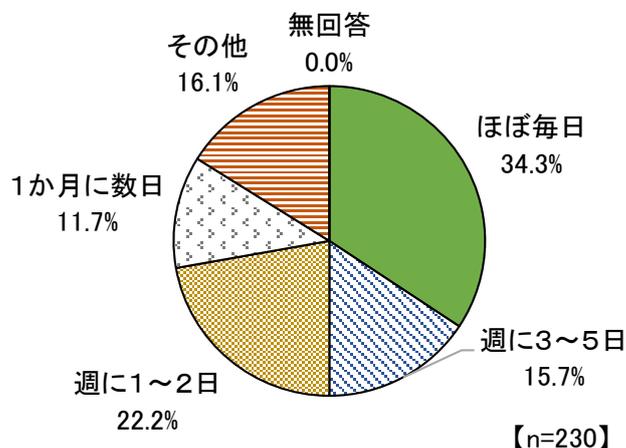
【n=230】



## (7) お世話をしている頻度

問 12 あなたはどのくらいお世話をしていますか。(あてはまる番号1つに○)

お世話をしている頻度については、「ほぼ毎日」が34.3%で最も高く、次いで「週に1～2日」が22.2%、「週に3～5日」が15.7%などとなっています。

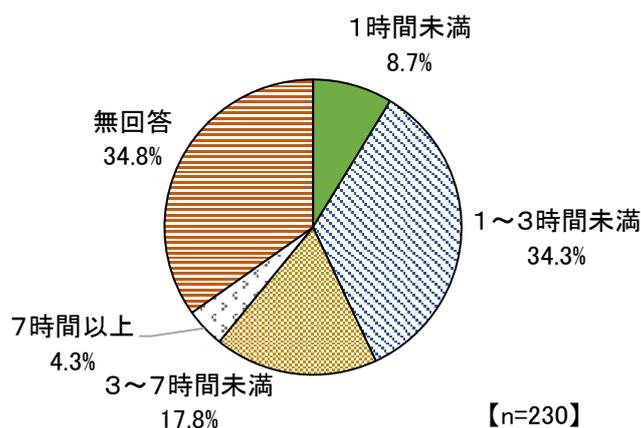


「その他」には、「頼まれたとき」、「困っているとき」などの回答がありました。

## (8) お世話をしている時間

問 13 あなたは1日何時間くらいお世話をしていますか。(日によって違う場合は、この1か月でいちばん長かった日の時間を教えてください)

1日あたりのお世話に費やす時間については、「1～3時間未満」が34.3%で最も高く、次いで「3～7時間未満」が17.8%、「1時間未満」が8.7%などとなっています。



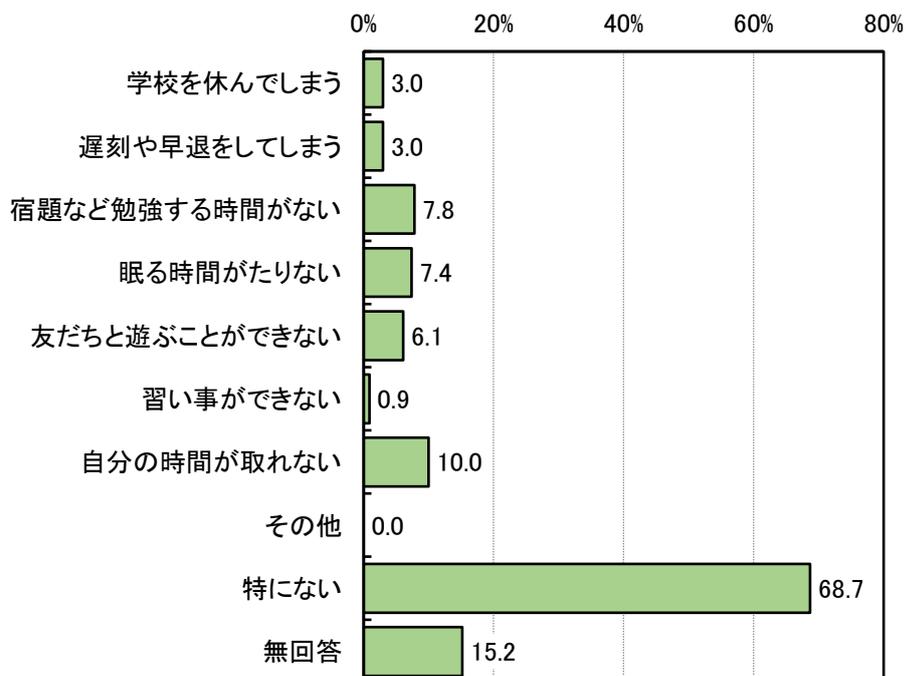
(9) お世話をしているために、やりたいけれどできていないこと

問 14 お世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。

(あてはまる番号すべてに○)

お世話をしているために、やりたいけれどできていないことについては、「特にない」が68.7%で最も高く、次いで「自分の時間が取れない」が10.0%、「宿題など勉強する時間がない」が7.8%などとなっています。

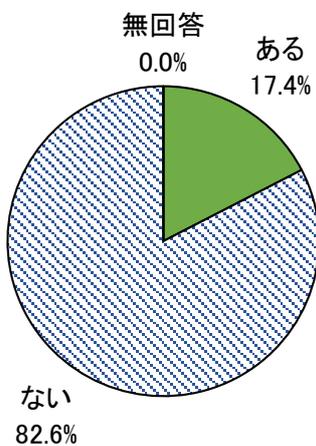
【n=230】



(10) お世話について相談した経験

問 15 あなたはお世話をしている家族のことや、お世達の悩みを誰かに相談したことはありますか。(あてはまる番号1つに○)

お世話について相談した経験は、「ある」が17.4%、「ない」が82.6%となっています。



【n=230】

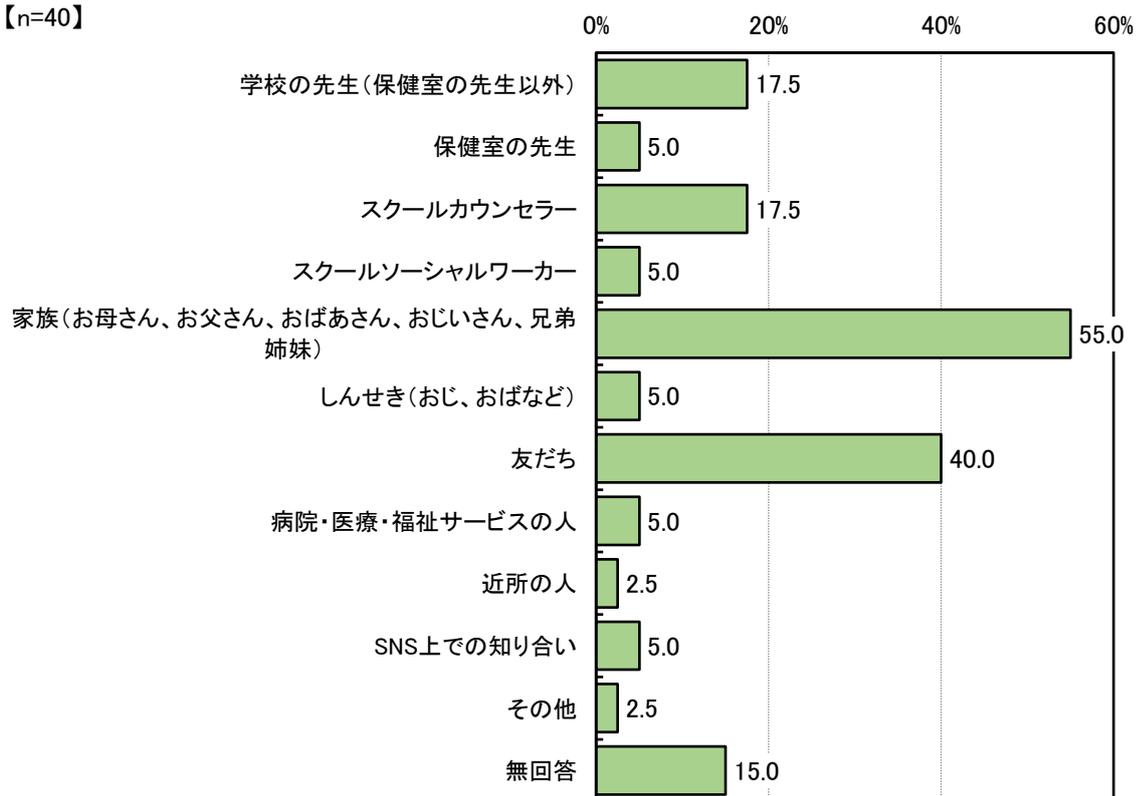
## (11) 相談相手

問 15-① 問 15で「1. ある」と答えた人にお聞きします。

相談した相手は誰ですか。(あてはまる番号すべてに○)

お世話について相談した経験が「ある」と回答した人に、お世話についての相談相手を聞いたところ、「家族(お母さん、お父さん、おばあさん、おじいさん、兄弟姉妹)」が55.0%で最も高く、次いで「友だち」が40.0%、「学校の先生(保健室の先生以外)」、「スクールカウンセラー」が17.5%などとなっています。

【n=40】



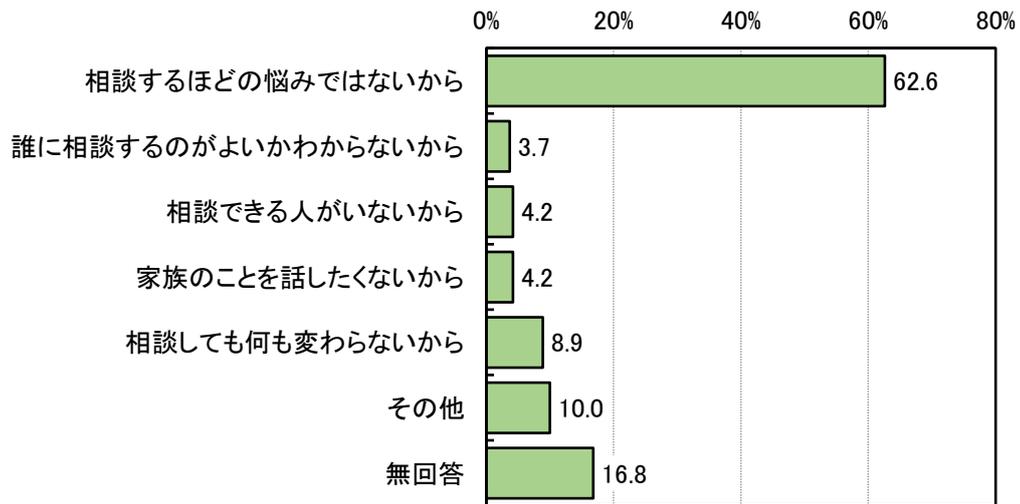
(12) お世話について相談したことがない理由

問 15-② 問 15 で「2. ない」と答えた人にお聞きします。

相談していない理由を教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

お世話について相談したことがない理由は、「相談するほどの悩みではないから」が 62.6%で最も高く、次いで「相談しても何も変わらないから」が 8.9%、「相談できる人がいないから」、「家族のことを話したくないから」が 4.2%などとなっています。

【n=190】



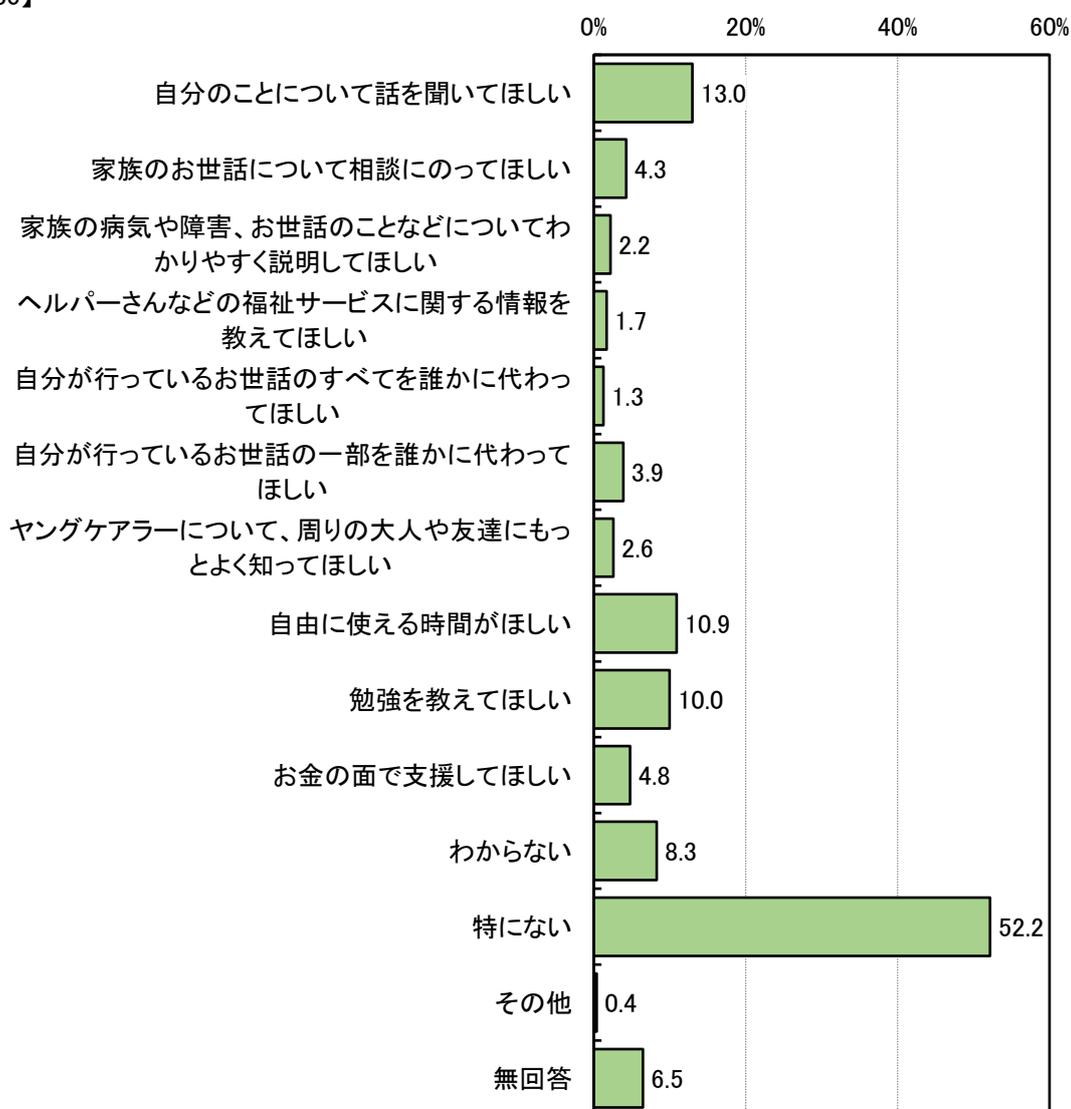
## (13) 学校や大人にしてもらいたいこと、必要な支援

問 16 学校や周りの大人にしてもらいたいこと、お世話のことであつたらいいなと思うサポートは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

学校や大人にしてもらいたいこと、必要な支援については、「特にない」が52.2%で最も高く、次いで「自分のことについて話を聞いてほしい」が13.0%、「自由に使える時間がほしい」が10.9%などとなっています。

また本設問では、「自分が行っているお世話の一部を誰かに代わってほしい」と回答した方に、「具体的にどんなお世話、どんな時ですか」と聞いたところ、「宿題がある時」、「習い事の時」、「友達との約束の時」などに、「家族のお世話の一部」などを代わってほしいという回答がみられました。

【n=230】

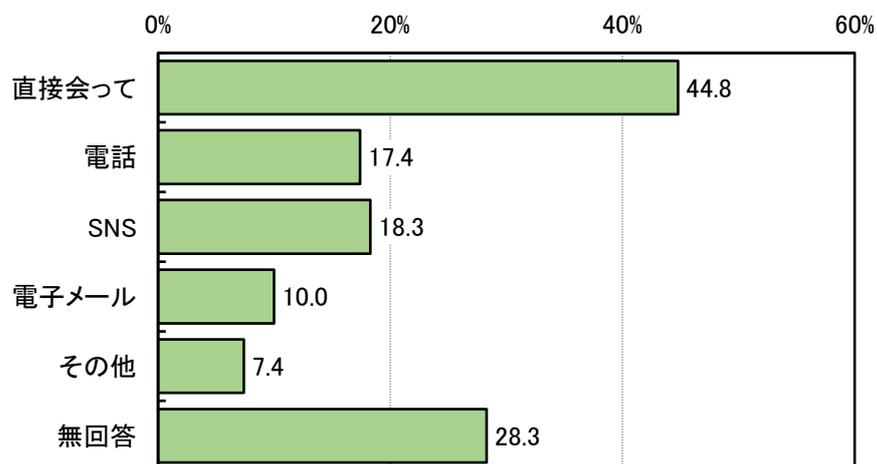


(14) 希望する相談の手段

問 17 あなたはどのような方法で話を聞いたり相談に乗ってほしいですか。  
(あてはまる番号すべてに○)

希望する相談の手段を聞いたところ、「直接会って」が 44.8%で最も高く、次いで「SNS」が 18.3%、「電話」が 17.4%などとなっています。

【n=230】



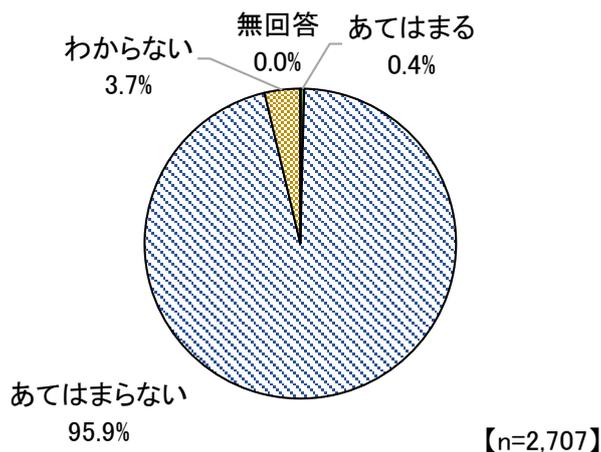
## (15) ヤングケアラーの自覚

問 18 あなた自身は「ヤングケアラー」にあてはまると感じますか。

(あてはまる番号1つに○)

自身がヤングケアラーにあてはまると感じるかについて聞いたところ、0.4% (11人) が「あてはまる」と回答しています。

(「あてはまらない」には、お世話をしている家族の有無(問6)で、「いない」と回答した人を含みます。)



## (16) お世話の大変さ

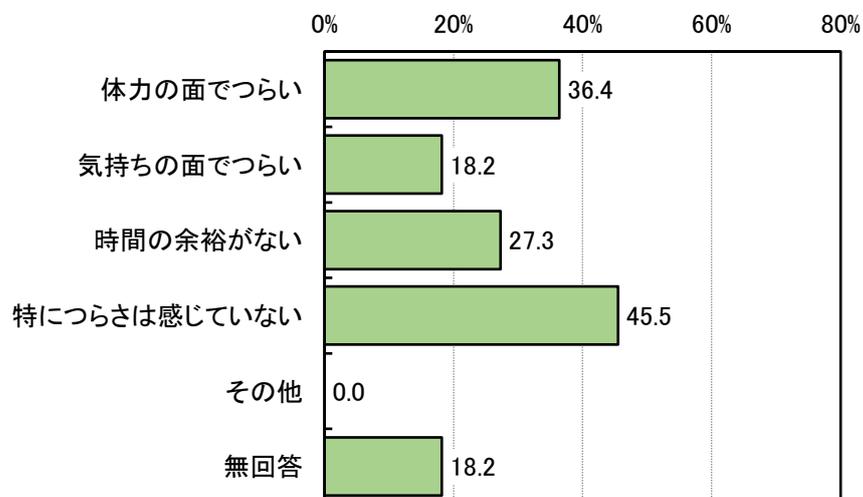
問 18-① 問 18 で「1. あてはまる」と答えた人にお聞きします。

あなたは家族のお世話をすることにつらさを感じていますか。

(あてはまる番号すべてに○)

お世話をするに感じている大変さについては、「特につらさは感じていない」が 45.5%で最も高く、次いで「体力の面でつらい」が 36.4%、「時間の余裕がない」が 27.3%などとなっています。

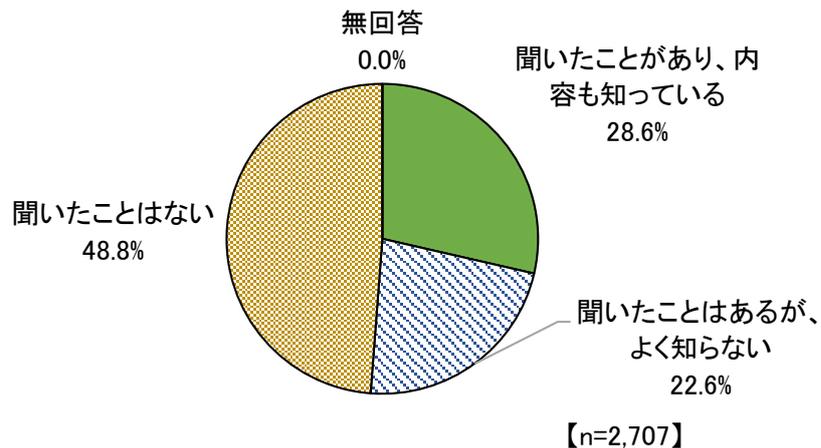
【n=11】



(17) ヤングケアラーの認知度

問 19 「ヤングケアラー」という言葉をこのアンケートをする前に聞いたことがありましたか。(あてはまる番号1つに○)

ヤングケアラーの認知度については、「聞いたことはない」が48.8%で最も高く、次いで「聞いたことがあり、内容も知っている」が28.6%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が22.6%となっています。



(18) 支援を求める記名の有無

最後に、ヤングケアラーについて悩んでいて、今すぐ「相談したい」、「何かしてほしい」人のみ、こちらにお名前を書ってください。

最後に、ヤングケアラーについて悩み、支援を求める子どもが任意で記名できる設問を設けたところ、112件の記名がありました。そのうち、問6でお世話をしている家族が「いる」と回答した件数は23件で、問18で自身がヤングケアラーに「あてはまる」と回答した件数は2件でした。

支援を求める 記名の有無	記名あり 112 件	記名なし 2,595 件	
お世話をしている 家族の有無(問6)	いる 23 件	いない 89 件	
ヤングケアラーの 自覚(問 18)	あてはまる 2 件	あてはまらない 6 件	わからない 15 件

### Ⅲ 中学生調査 追加分析

#### (1) お世話をしている家族の有無

##### ①お世話をしている家族の有無×健康状態

健康状態については、お世話をしている家族がいる場合、いない場合と比べて、健康状態が「よい」、「まあよい」と回答した人を合計した割合が低くなっています。

	回答者数 (人)	よい	まあよい	ふつう	あまり よくない	よくない	無回答
全体	2,707	53.0	22.2	19.1	5.0	0.6	0.0
いる	230	48.3	21.7	22.2	7.4	0.4	0.0
いない	2,477	53.5	22.3	18.9	4.8	0.6	0.0

#### (2) 性別

※性別について、「その他」、「答えない」という回答は、サンプル数が少ないためクロス集計では除外しています。

##### ① 性別×お世話をしている家族の有無

家族のお世話の有無については、お世話をしている人が男性の場合、女性と比べて「いる」と回答した割合が高くなっています。

	回答者数 (人)	いる	いない	無回答
全体	2,707	8.5	91.5	0.0
男性	1,362	9.1	90.9	0.0
女性	1,261	8.0	92.0	0.0

② 性別×お世話の内容

お世話の内容については、お世話をしている人が女性の場合、男性に比べて、いずれにおいても割合が高くなっています。

	回答者数 (人)	や掃除、洗濯	家事(食事の準備)	や送り迎えのお世話	兄弟姉妹のお世話	入浴やトイレのお	一緒に歩くお	買い物や散歩に	病院に一緒に行く	話を聞く	見守り	話など(日本語や手	通訳)	お金の管理	薬の管理	その他	無回答
全体	230	50.4	19.1	10.4	20.9	3.5	24.3	22.2	1.3	2.6	0.9	3.5	23.9				
男性	124	49.2	13.7	10.5	16.1	2.4	12.1	9.7	0.8	2.4	0.8	2.4	31.5				
女性	101	53.5	24.8	10.9	25.7	5.0	38.6	37.6	2.0	3.0	1.0	5.0	14.9				

③ 性別×お世話をしている頻度

お世話をしている頻度については、お世話をしている人が男性の場合、女性と比べて「週に3～5日」、「週に1～2日」の割合が高くなっています。また、お世話をしている人が女性の場合、男性と比べて「ほぼ毎日」、「1か月に数日」の割合が高くなっています。

	回答者数 (人)	ほぼ毎日	週に3～5日	週に1～2日	1か月に数日	その他	無回答
全体	230	34.3	15.7	22.2	11.7	16.1	0.0
男性	124	25.8	17.7	24.2	11.3	21.0	0.0
女性	101	45.5	11.9	20.8	11.9	9.9	0.0

④ 性別×お世話をしている時間

1日あたりのお世화에費やす時間については、お世話をしている人が男性の場合、女性と比べて「1時間未満」の割合が高くなっています。また、お世話をしている人が女性の場合、男性と比べて「1～3時間未満」、「3～7時間未満」、「7時間以上」の割合が高くなっています。

	回答者数 (人)	1時間未満	1～3時間未満	3～7時間未満	7時間以上	無回答
全体	230	8.7	34.3	17.8	4.3	34.8
男性	124	12.1	33.1	15.3	0.8	38.7
女性	101	5.0	35.6	20.8	8.9	29.7

## ⑤ 性別×お世話をしているために、やりたいけれどできていないこと

お世話をするることによる生活への影響については、「特にない」が男性女性ともに割合が最も高いものの、「その他」を除くいずれにおいても女性の方が男性よりも割合が高くなっています。

	回答者数 (人)	学校を休んでしまう	遅刻や早退をしてしまう	ない宿題など勉強する時間が	眠る時間がたりない	ない友だちと遊ぶことができ	習い事ができない	自分の時間が取れない	その他	特にない	無回答
全体	230	3.0	3.0	7.8	7.4	6.1	0.9	10.0	0.0	68.7	15.2
男性	124	2.4	2.4	6.5	5.6	4.0	0.0	5.6	0.0	66.1	21.0
女性	101	4.0	4.0	7.9	9.9	7.9	2.0	14.9	0.0	73.3	7.9

## ⑥ 性別×お世話について相談した経験

お世話の悩みについての相談の有無は、お世話をしている人が女性の場合、男性と比べて「ある」の割合が高くなっています。

	回答者数 (人)	ある	ない	無回答
全体	230	17.4	82.6	0.0
男性	124	15.3	84.7	0.0
女性	101	20.8	79.2	0.0

⑦ 性別×学校や大人にしてもらいたいこと、必要な支援

学校や大人にしてもらいたいこと、必要な支援については、お世話をしている人が男性の場合、女性と比べて「お金の面で支援してほしい」、「勉強を教えてほしい」などの割合が高くなっています。また、お世話をしている人が女性の場合、男性と比べて「ヘルパーさんなどの福祉サービスに関する情報を教えてほしい」、「家族のお世話について相談にのってほしい」などの割合が高くなっています。

回答者数（人）	自分のことについて話を聞いてほしい	家族のお世話について相談にのってほしい	家族の病気や障害、お世話のことなど	ヘルパーさんなどの福祉サービスに関する情報を教えてほしい	かたがわ行ってほしいお世話を誰かに代わってほしい	自分が行ってほしいお世話を誰かに代わってほしい	自分が行ってほしいお世話を誰かに代わってほしい	やんぐけアライにくいて、周りの大人や友達にもとよく知ってほしい	自由に使える時間がほしい	勉強を教えてほしい	お金の面で支援してほしい	わからない	特にない	その他	無回答
全体	230	13.0	4.3	2.2	1.7	1.3	3.9	2.6	10.9	10.0	4.8	8.3	52.2	0.4	6.5
男性	124	12.1	2.4	1.6	0.0	0.0	3.2	2.4	10.5	10.5	5.6	8.9	50.0	0.8	8.1
女性	101	13.9	5.9	3.0	4.0	3.0	5.0	3.0	11.9	9.9	4.0	7.9	54.5	0.0	4.0

## (3) 家族構成

※家族構成について、「その他の世帯」という回答は、サンプル数が少ないためクロス集計では除外しています。

## ① 家族構成×お世話を必要としている家族

お世話を必要としている家族については、いずれにおいても「兄弟姉妹」の割合が最も高くなっています。また、三世代世帯の場合、他と比べて「お父さん」、「おばあさん」、「おじいさん」の割合が高く、ひとり親家庭の場合、他と比べて「お母さん」の割合が高くなっています。

	回答者数 (人)	お母さん	お父さん	おばあ さん	おじい さん	兄弟姉妹	その他	無回答
全体	230	16.1	8.7	3.5	2.2	37.8	2.6	41.3
二世帯世帯	165	14.5	7.9	1.8	0.6	38.2	3.0	44.2
三世代世帯	15	6.7	13.3	13.3	13.3	40.0	0.0	40.0
ひとり親家庭	35	25.7	8.6	2.9	2.9	25.7	0.0	40.0

## ② 家族構成×お世話の内容

お世話の内容については、二世帯世帯の場合、他と比べて「話を聞く」、「兄弟姉妹のお世話や送り迎え」などの割合が高くなっています。また、三世代世帯の場合、他と比べて「入浴やトイレのお世話」、「通訳（日本語や手話など）」などの割合が高く、ひとり親家庭の場合、他と比べて「薬の管理」、「病院に一緒に行く」などの割合が高くなっています。

	回 答 者 数 ( 人 )	家 事 ( 食 事 の 準 備 )	兄 弟 姉 妹 の お 世 話	入 浴 や ト イ レ の お 世 話	買 物 や 散 歩 に 一 緒 に 行 く	病 院 に 一 緒 に 行 く	話 を 聞 く	見 守 り	通 訳 ( 日 本 語 や 手 話 な ど )	お 金 の 管 理	薬 の 管 理	そ の 他	無 回 答
全体	230	50.4	19.1	10.4	20.9	3.5	24.3	22.2	1.3	2.6	0.9	3.5	23.9
二世帯世帯	165	50.3	18.2	8.5	20.0	1.8	26.7	22.4	1.2	2.4	0.6	4.2	24.2
三世代世帯	15	53.3	13.3	26.7	20.0	6.7	20.0	20.0	6.7	6.7	0.0	0.0	40.0
ひとり親家庭	35	54.3	11.4	8.6	20.0	8.6	14.3	17.1	0.0	0.0	2.9	2.9	22.9

(4) お世話を必要としている家族

※お世話を必要としている家族について、「その他」という回答は、サンプル数が少ないためクロス集計では除外しています。

① お世話を必要としている家族×お世話の内容

お世話を必要としている家族ごとに、お世話の内容について聞いたところ、「お母さん」、「お父さん」では「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」、「兄弟姉妹のお世話や送り迎え」、「買い物や散歩に一緒に行く」などの割合が高くなっています。

「おばあさん」、「おじいさん」では「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」、「兄弟姉妹のお世話や送り迎え」、「話を聞く」、「見守り」などの割合が高くなっています。

「兄弟姉妹」では「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」、「見守り」などの割合が高くなっています。

	回答者数（人）	や掃除、食事の準備	や送り迎えの兄弟姉妹のお世話	世話	入浴やトイレのお	一緒に歩くや散歩に一緒に行く	病院に一緒に行く	話を聞く	見守り	話など（日本語や手	通訳（日本語や手	お金の管理	薬の管理	その他	無回答
全体	230	50.4	19.1	10.4	20.9	3.5	24.3	22.2	1.3	2.6	0.9	3.5	23.9		
お母さん	37	70.3	24.3	5.4	24.3	10.8	18.9	16.2	8.1	10.8	5.4	0.0	8.1		
お父さん	20	75.0	30.0	10.0	30.0	25.0	25.0	25.0	10.0	20.0	5.0	0.0	5.0		
おばあさん	8	50.0	50.0	12.5	37.5	25.0	37.5	50.0	12.5	25.0	0.0	0.0	0.0		
おじいさん	5	60.0	80.0	40.0	40.0	40.0	60.0	60.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0		
兄弟姉妹	87	52.9	36.8	18.4	27.6	4.6	47.1	50.6	2.3	3.4	0.0	5.7	3.4		

## IV 自由記述について

問 20 ヤングケアラーのことで意見や感想、その他困っていることなどがあれば自由に書いてください。

以下に記載する意見は、原文のままではありませんが、なるべく回答者の表現を用いる形で記載しています。

**(1) 相談体制の充実、相談しやすい・話しやすい環境づくり**

- ・「親の代わりにやっているから仕方ない」と自分に言い聞かせて耐えている人がいると思うから、LINE での匿名相談や、学校や市役所、児童相談所に相談できる場所を増やして“ヤングケアラーは相談した方が良い”という思考を持たせれば良いと思う。
- ・テレビでヤングケアラーについて特集していて、ほとんどの人が相談できていないと言っていたので、相談できる機会があつていいと思いました。
- ・ヤングケアラーの子たちは、自分の時間や、やりたいことなどが奪われてしまうし、勉強や部活、そして、進路などの不安もたくさんあると思います。また、他の友達との違いや差などで悩んでしまうこともあると思うので、気軽にすぐ相談できる場が増えたら良いなと思いました。
- ・一時的でも相談機関的なものを設立したらいいと思う。ヤングケアラー以外にも悩んでいる子どもが相談できるような仕組みを設立したら、より生活が楽になると思う。
- ・身近な人や、友達でヤングケアラーの人がいたとしても、その人を見て、すぐヤングケアラーとわかるわけではないから、悩みを相談することができる施設や、環境が身近にあることが大切だと思った。
- ・ヤングケアラーの方が自分から辛いということを出せるような環境にしてほしいです。

**(2) 子どもたちの意見を伝えられる環境づくり、意思の尊重**

- ・全数把握も実態を知るツールとして良いと思いますが、それに拘らず子ども達が会話の自然な流れで言い出せるような環境づくりも重視されるとより良いなと思います。

**(3) 学校におけるサポートや配慮**

- ・自分の家庭ではそうではなくても、私の周りには友達もそうかも知れないから、もっと周りを見て生活していきたいです。
- ・家族のお世話が大変で、自分の勉強の時間があまり取れていない様な友達がいます。でも、その友達は学校側と協力して対策をとっています。
- ・学校に通っている雰囲気や疲れているなどか、最初会った時の雰囲気よりも今の方が悪化（変わっている）しているなど、学校の人（先生、カウンセラー、友達）が出来るだけ気づいてあげる。

**(4) 周囲（大人や友達）の理解や寄り添い**

- ・ヤングケアラーの子どもたちは見た目じゃわからないし、相談する相手さえもない可能性があるから大変だと思うけれど、少しでも寄り添えるように、いつもと違う人には話しかけてあげるのが大事だと思いました。
- ・ヤングケアラーの人がもしいるとしたら、その人は何かしらの問題を抱えていると思うので、周りの人や地域の人などが協力して助けていかないといけないと思った。
- ・ヤングケアラー自体は前から知っていたけれど、「では、具体的にヤングケアラーの人にどのように支援や声かけをしてあげるのかよいか」ということに関しては分からないから、知りたいと思った。
- ・子どもなのに自由を奪われているなんてかわいそう。その大人が悪いというわけではないけれど、他の大人が助けたりしてあげれば良いのではないかと思う。
- ・私はヤングケアラーの経験や見たことが無いので想像したり出来ませんが、もし身近にそういう人がいて、相談してきてくれたら話をしっかりと聞きたいと思いました。
- ・自覚がなくてもヤングケアラーになっている可能性もあるから、周りの子の健康状態に気をつけて見ながら、何かあったら周りの人や本人も相談できる環境を作ることが大切だと思う。
- ・身近でやっている人がいて少し心配。でも、体調を崩したりしていないのでよかった、安心している。部活に來れていないけれど、來たら「おかえり」と言ってあげたい。
- ・お金がない人はヘルパーなどを雇うこともできないので、どうすれば助けられるのか気になりました。

**(5) 福祉サービスやボランティア等による支援**

- ・ヘルパーとして大人が代わりに家事などをやれば良いと思う。
- ・みんなが見ていないところで頑張っている人のために何かしら募金をして、今よりも楽にしてあげたいと思った。助け合いが今の多摩市には必要なことがわかった。
- ・もっとお金を支給して、介護などをしてくれる人を雇えるようにした方が良いと思う。
- ・介護者などが問題になっているから、家計を圧迫しないヘルパーの会社があれば良いと思った。
- ・相談するとしても時間がなかったり、その後が心配だったりするから、寄付など行なって、お金を少しでも分けてあげたいと思った。

**(6) 経済的支援**

- ・ヤングケアラーの人への政府からの特別な支援金などがあると良いと思う。すでにあるならもっと増やす。
- ・ヤングケアラーに該当する人に、支援物資や、給付金をあげれば良いと思う。
- ・ヤングケアラーに対してどのように支援していくのかわかりませんが、個人的にヤングケアラーはお金がない家庭が多いと思うので資金支援をしたら良いと思う。
- ・ヤングケアラーの子たちへ教育支援制度や金銭的支援をもっと充実するべきだと思う。

### (7) ヤングケアラーの普及啓発

- ・そういう子もいるのだと浅くは認識していたので、実際にアンケートが行われたことは良いことだと思う。
- ・ヤングケアラーをしている人にどのような対応をしていくのか知りたい。
- ・ドラマとかでヤングケアラーのような状態の家族を見た事がありますが、対応をする場面が無かったので、今ヤングケアラーという名前があって、国が対応しているのだなと思いました。
- ・このような実態があるということをどんどん色々な人たちが理解していく必要があると思いました。
- ・今までヤングケアラーのことについてよく知らなかったので、今回知れたことを生かし、そのように困っている人がいるということを理解していきたいです。
- ・ヤングケアラーについて普通の人よりかは知っていると思いますが、ヤングケアラーの人に出会ったりした時や、自分がヤングケアラーになったらどうすれば良いかがよくわかっていません。これからも社会問題について積極的に学んでいきたいです。withyouというヤングケアラーの本を読みました。読みやすかったので他の人にも読んで知ってほしいと思いました。

### (8) ヤングケアラーの実態を把握する取り組み

- ・濱野京子さんの「ウィズ・ユー」を読んで、ヤングケアラーについて知っていました。このように本などを通して知る機会が増えるといいなと思います。
- ・「ヤングケアラー」という言葉は知らなかったけれど、そういう人達がいることは知っていたからこの実態調査はいいなと思った。でもどう支援するのか気になった。
- ・このアンケートで初めて知りましたが、障害をもつ人を介護している方は苦しんでいない、苦しんでいるのは障害をもつ人だと少し考えていました。こうしたアンケートは、陰で苦しんでいる方を救うことができる良いアンケートだと思います。
- ・ヤングケアラーは家庭のことなので周りの人が気づきにくいところがあると思います。なので、このようにアンケートをとることは大切だと思います。
- ・子どもではなく、保護者にアンケートを取って反応を見るのが大事。

### (9) その他支援の充実（自分のための時間をつくってあげるなど）

- ・テレビで、ヤングケアラーの人の密着を観たが、実際本当に大変そうで、国にこのような人たちを支援できるようなことはないのかと思った。
- ・ヤングケアラーの子が子どもらしく生きられるように支援を手厚くしてほしいと思いました。
- ・自ら望んでいない場合は、なるべく安く支援するサービスを作してほしい。ヤングケアラーにもやりたいことが周りと同じくらいできるようにしてほしい。
- ・子どもでありながら、やりたいことができないという現在の社会に驚いた。これからの社会は給付や保護などで子どもの代わりに支えてくれる人や、お金を渡すなどの取り組みをすべきだと思う。

- ・自分も力になれることがあったらもちろんやりたいが、家族の中の問題なのでどこまで踏み込んでいいかが分からない。身体的にも金銭的にも精神的にも辛いことが多いと思う。そういうための補償などももっと多くなるといい。
- ・大変で自分のやりたい事も出来ていないだろうから、市からの支援がとても必要だと思う。
- ・中学生・高校生は人生で二度とない貴重な時間で、ここで十分な教育が受けられなかった場合、その後の人生にも大きく関わって来るため、ヤングケアラーは周囲の人や自治体が率先して厚い支援を行うべきだと思う。

### (10) ヤングケアラーに関する感想

- ・それをしなければならぬ理由があるからこそやっているとしても、同じ年かそれよりも幼い子がこの状態でどうしようもない状況にあるのは可哀想だと思います。
- ・やはり、私たち中学生などは、まだ将来へ向けて勉強を一番に考える時期なので、ヤングケアラーになることを周りの大人が防げるような環境を作るべきだと思う。だからと言って私たちもそれに頼ることなく、自分達にも関係のあることなのだという認識を持つべきだと思う。
- ・ヤングケアラーがなんなのか分かりませんでした。2分間の動画でどういうものなのかが分かりました。もし、自分がヤングケアラーの立場であったら、とても辛いと思いました。支援ができるなら早く支援をしてあげてほしいです。また自分でもできることを考えたいです。
- ・ヤングケアラーで困っている人が多くいるこの日本の現状は、必ず変えてヤングケアラーで困っている人達を少しでも少なくする必要があると思う。
- ・ヤングケアラーは良くないことだけれど、大好きな家族を助けたいという子どもの気持ちもわかるから、難しい問題だと思う。
- ・一概に大人が子どもに擦りつけるとは言えないと思う。子どもが自ら親の家事などを手伝うケースもある。子どもも親のためや自立のために家事は積極的にやるべき。
- ・今回この言葉を知って、家族の一員であると改めて思った。中学生だから、などは関係なく互いにできることをし、助け合う必要があると思う。

### (11) お世話をしている家族がいると回答した生徒からの声

- ・このアンケートがあるだけで苦しい人々が助けられていると思いました。
- ・このアンケートを通して、ヤングケアラーについてよく知れた。これからも家族のためになるように頑張りたいと思った。
- ・もう少し遊ぶ時間が欲しい。
- ・家事の時間で自由時間がない子ども達のためにいい活動だと思った。
- ・よく話を聞くので多くの方が救われると良いなと思います。
- ・弟のお世話をしているから、日常生活にも不安が出てきた。

### 3 高校生世代調査

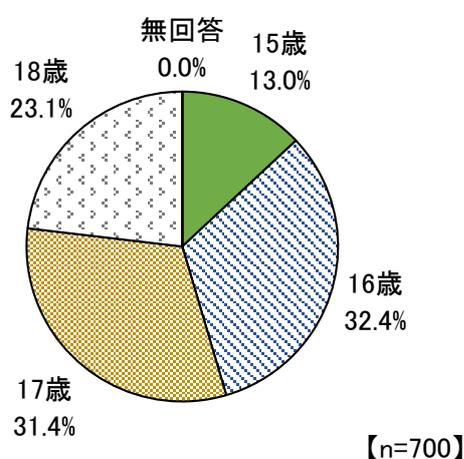
#### I 基本情報

※問1 住んでいる地区の回答は省略しています。

#### (1) 年齢

問2 あなたの年齢を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

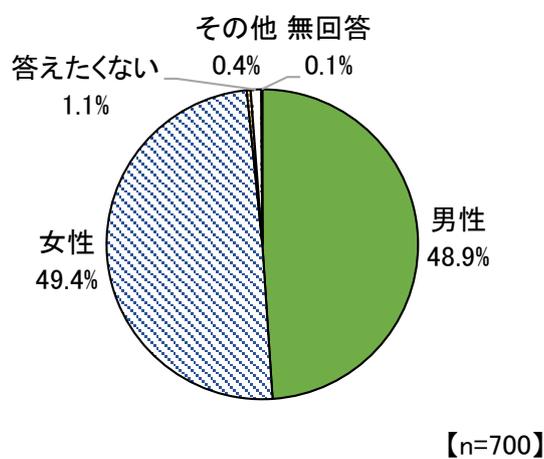
回答者の年齢は、「16歳」が32.4%で最も高く、次いで「17歳」が31.4%、「18歳」が23.1%などとなっています。



#### (2) 性別

問3 あなたの性別を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

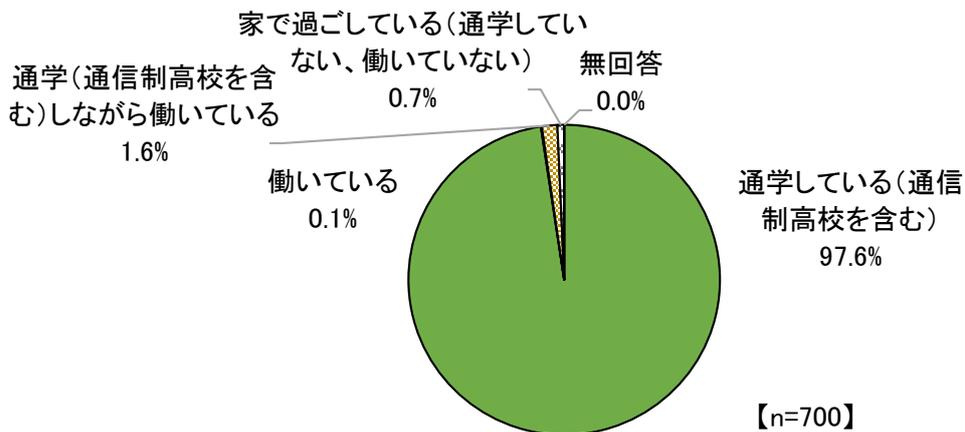
回答者の性別は、「女性」が49.4%で最も高く、次いで「男性」が48.9%、「答えたくない」が1.1%などとなっています。



(3) 通学等の状況

問4 あなたの状況について教えてください。(あてはまる番号1つに○)

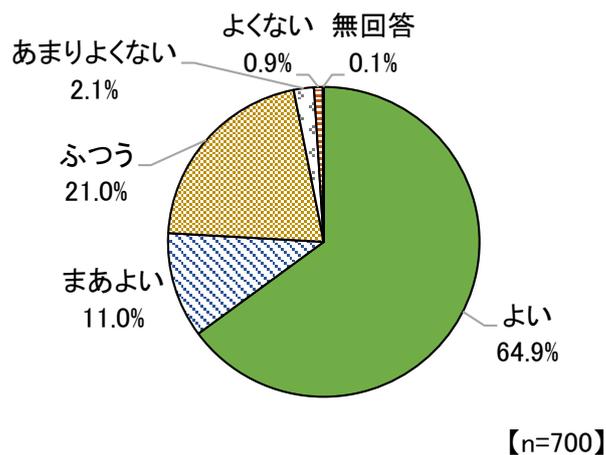
通学等の状況は、「通学している(通信制高校を含む)」が97.6%で最も高く、次いで「通学(通信制高校を含む)しながら働いている」が1.6%、「家で過ごしている(通学していない、働いていない)」が0.7%などとなっています。



(4) 健康状態

問5 あなたの健康状態について教えてください。(あてはまる番号1つに○)

健康状態は、「よい」、「まあよい」と回答した人を合計すると75.9%となっています。一方、「よくない」、「あまりよくない」と回答した人を合計すると3.0%となっています。



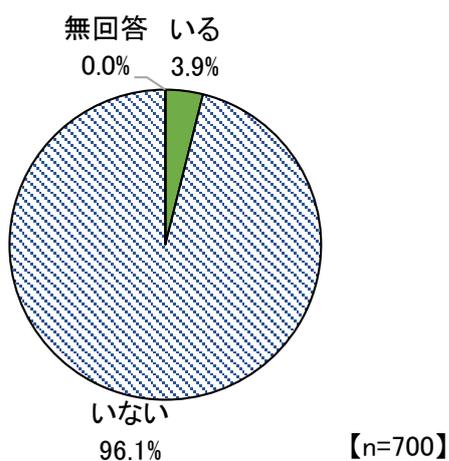
## Ⅱ 家庭や家族のことについて

## (1) お世話をしている家族の有無

問6 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。(この質問での「お世話」とは本来大人が行うと思われている家事や家族のお世話などをすることです。)

(あてはまる番号1つに○)

自身がお世話をしている家族が「いる」と回答した人の割合は、3.9% (27人) となっています。



※犬や猫などのペットと回答した人は除いています。

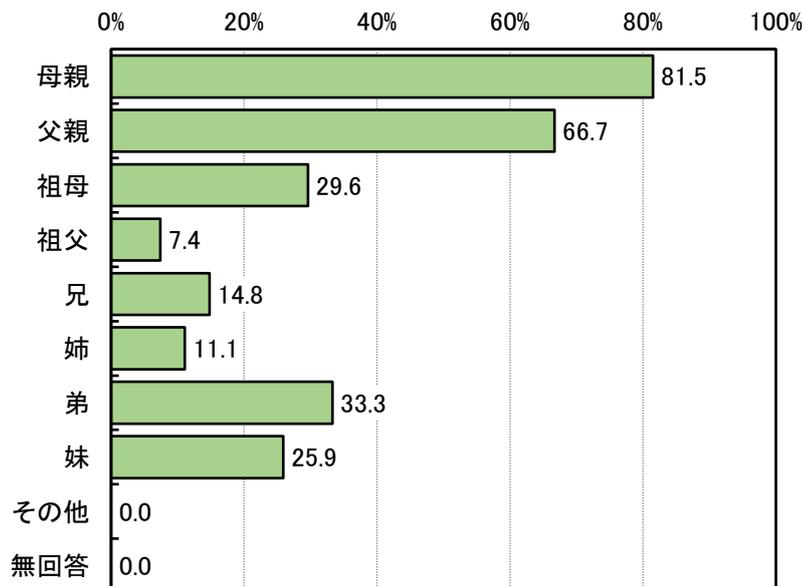
(2) 家族構成

問7 問6で「1. いる」と答えた人にお聞きします。

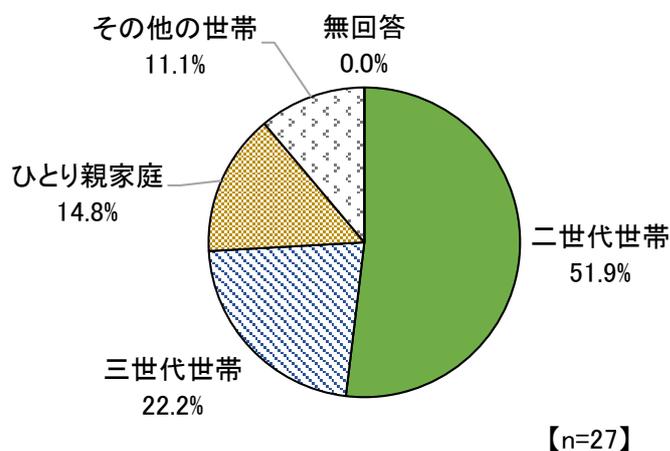
現在一緒に住んでいる家族について教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

同居する家族の内訳は、「母親」が81.5%で最も高く、次いで「父親」が66.7%、「弟」が33.3%などとなっています。

【n=27】



また、同居する家族の内訳を家族構成で整理した結果、「二世世代世帯」が51.9%で最も高く、次いで「三世世代世帯」が22.2%、「ひとり親家庭」が14.8%などとなっています。



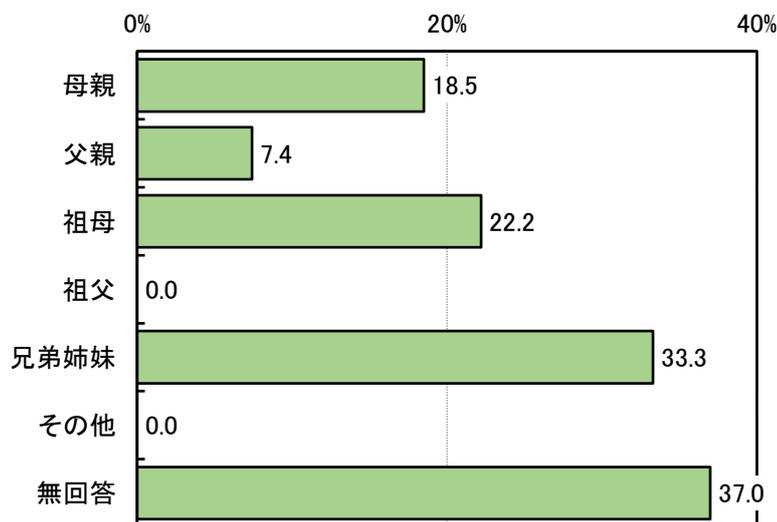
世帯	同居する家族
二世世代世帯	母親、父親、兄・姉、弟・妹、その他（親戚など）
三世世代世帯	母親、父親、祖母、祖父、兄・姉、弟・妹、その他（親戚など）
ひとり親家庭	母親/父親のいずれか、兄・姉、弟・妹、その他（親戚など）
その他の世帯	祖母、祖父、その他（親戚など）

(3) お世話を必要としている家族

問8 あなたは誰のお世話をしていますか。(あてはまる番号すべてに○)

お世話を必要としている家族については、「兄弟姉妹」が33.3%で最も高く、次いで「祖母」が22.2%、「母親」が18.5%などとなっています。

【n=27】



## (4) お世話を必要としている家族の状況

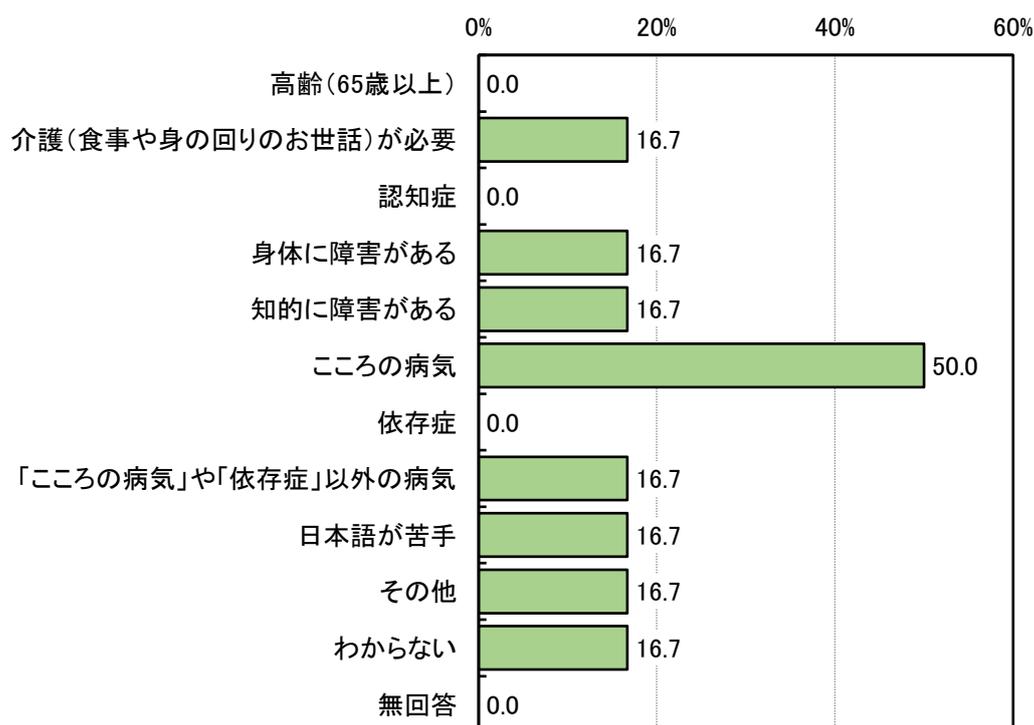
問9 あなたがお世話をしている方の状況について教えてください。

①母親や父親のお世話をしているのはどのような理由ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

お世話を必要としている父母の状況については、「こころの病気」が50.0%で最も高く、次いで「介護（食事や身の回りのお世話）が必要」、「身体に障害がある」、「知的に障害がある」、「「こころの病気」や「依存症」以外の病気」、「日本語が苦手」、「わからない」が16.7%などとなっています。

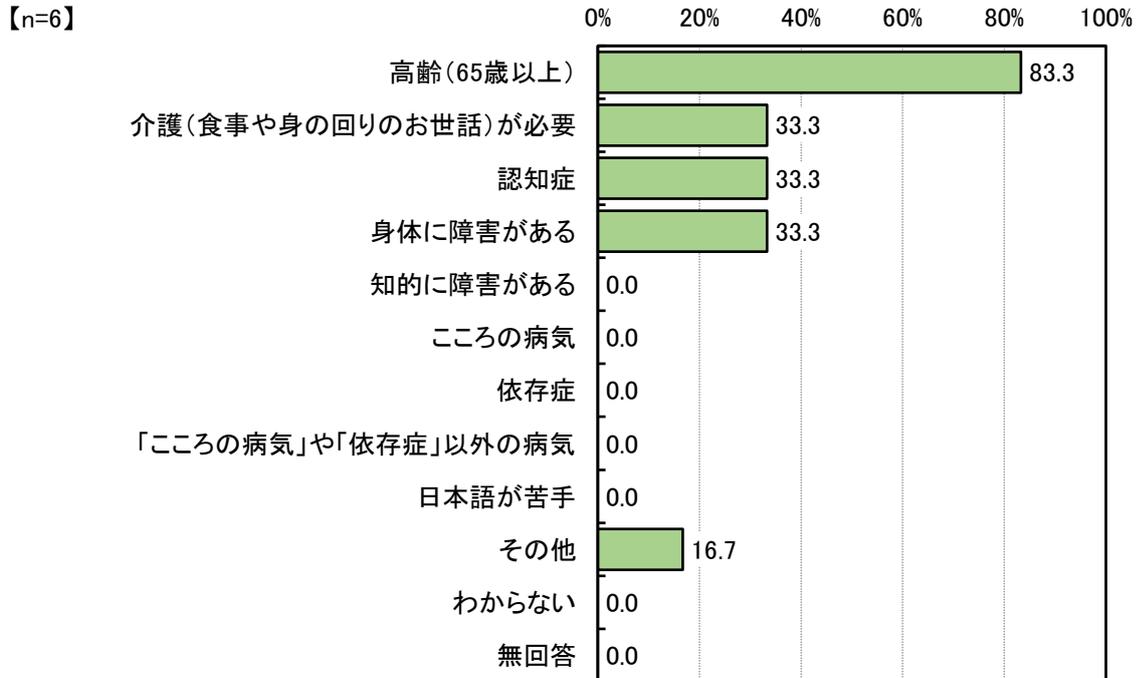
【n=6】



②祖母や祖父のお世話をしているのはどのような理由ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

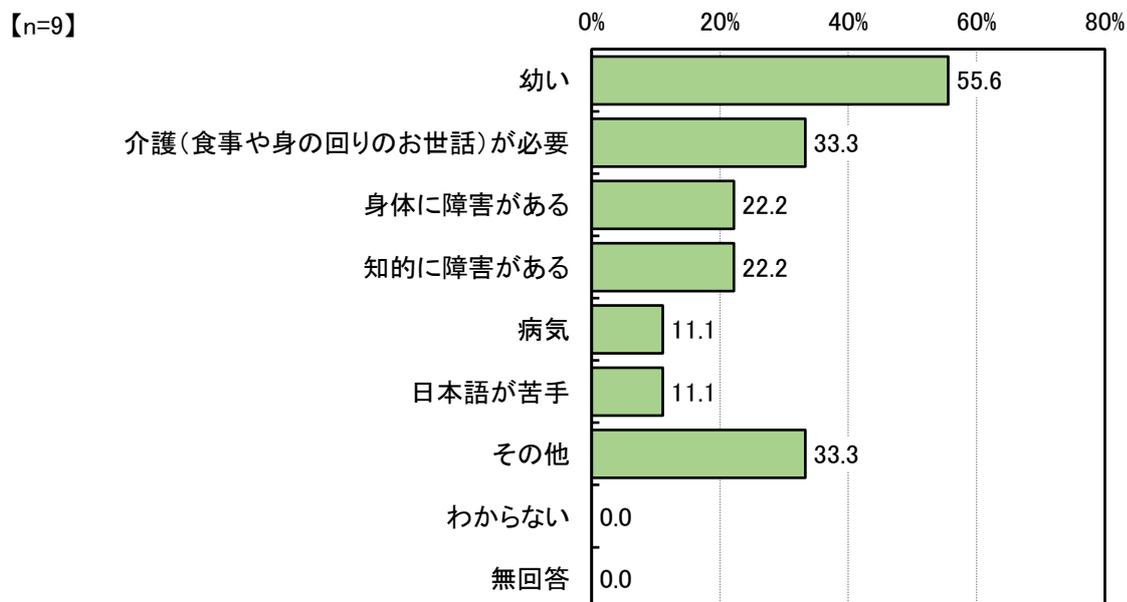
お世話を必要としている祖父母の状況については、「高齢（65歳以上）」が83.3%で最も高く、次いで「介護（食事や身の回りのお世話）が必要」、「認知症」、「身体に障害がある」が33.3%などとなっています。



## ③兄弟姉妹のお世話をしているのはどのような理由ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

お世話を必要としている兄弟姉妹の状況については「若い」が 55.6%で最も高く、次いで「介護（食事や身の回りのお世話）が必要」が 33.3%、「身体に障害がある」、「知的に障害がある」が 22.2%などとなっています。



「その他」には、「精神が不安定な時」などの回答がありました。

## ④その他の人のお世話をしているのはどのような理由ですか。

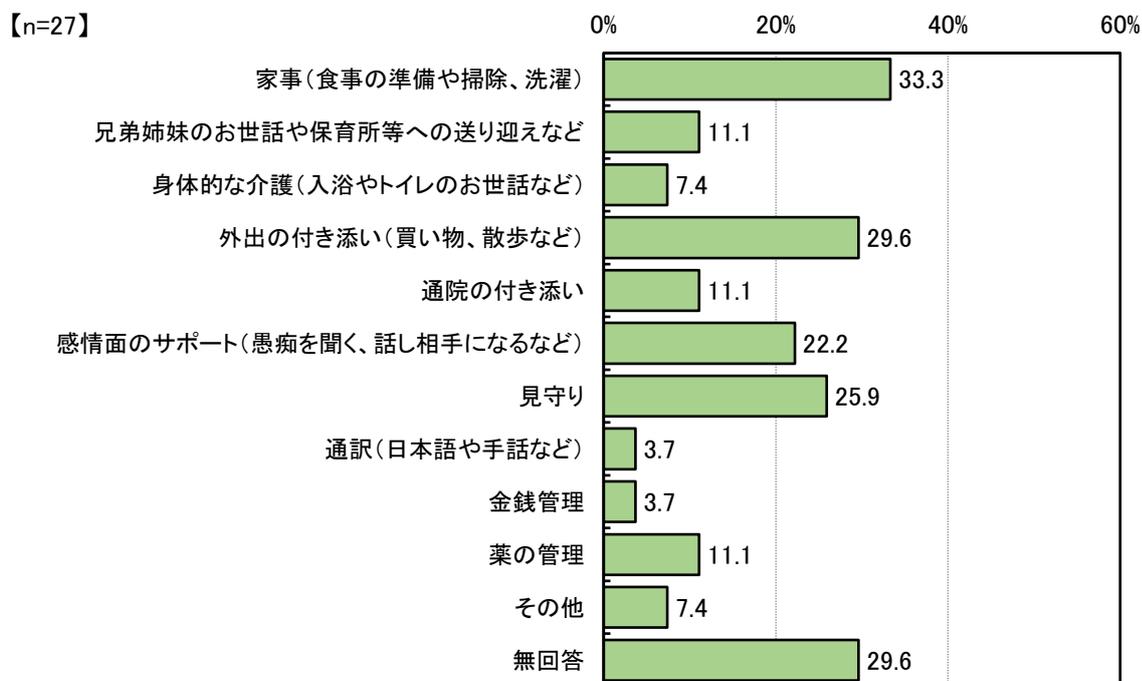
(あてはまる番号すべてに○)

本設問には回答がありませんでした。

(5) お世話の内容

問 10 あなたが行っているお世話の内容を教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

お世話の内容については、「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」が 33.3%で最も高く、次いで「外出の付き添い（買い物、散歩など）」が 29.6%、「見守り」が 25.9%などとなっています。



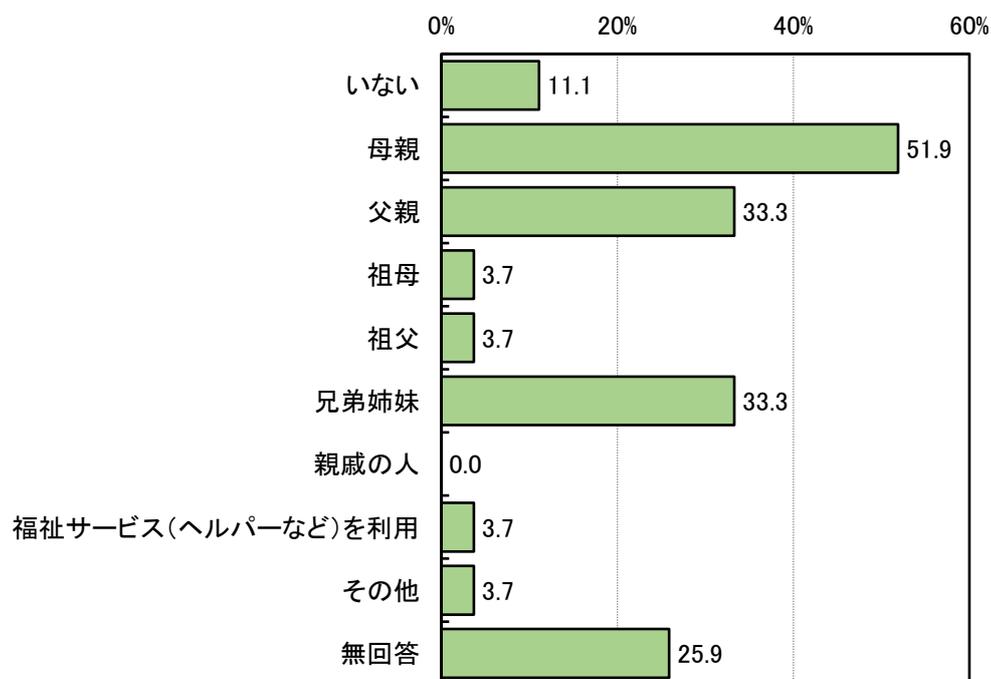
「その他」には、「一緒に遊ぶ」などの回答がありました。

## (6) 一緒にお世話している人

問 11 あなたはお世話を誰と一緒にいらっしゃいますか。(あてはまる番号すべてに○)

お世話を一緒にしている人については、「母親」が 51.9%で最も高く、次いで「父親」、「兄弟姉妹」が 33.3%などとなっています。一方、「いない」と回答した人が 11.1%となっています。

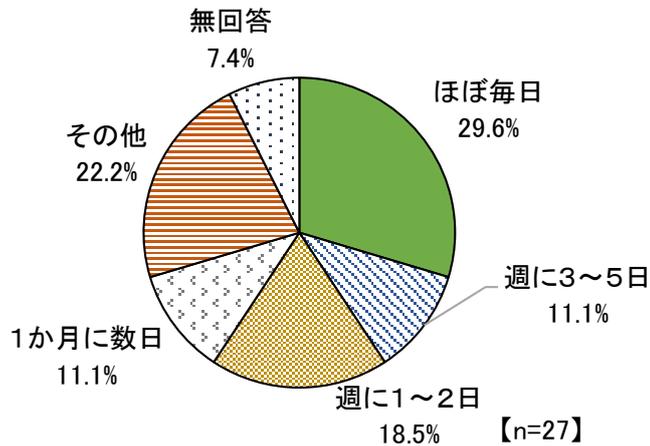
【n=27】



(7) お世話をしている頻度

問 12 お世話をしている頻度を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

お世話をしている頻度については、「ほぼ毎日」が29.6%で最も高く、次いで「週に1～2日」が18.5%、「週に3～5日」、「1か月に数日」が11.1%などとなっています。

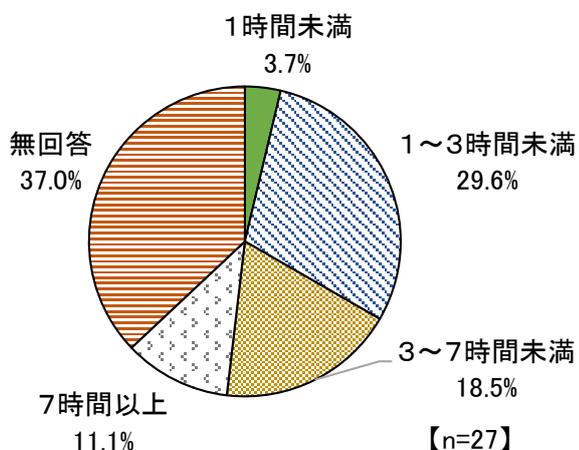


「その他」には、「年に1回」などの回答がありました。

(8) お世話をしている時間

問 13 1日にどれくらいお世話を行っていますか。時間数をお答えください。(日によって異なる場合は、この1か月で最も長かった日の時間をお答えください)

1日あたりのお世화에費やす時間については、「1～3時間未満」が29.6%で最も高く、次いで「3～7時間未満」が18.5%、「7時間以上」が11.1%などとなっています。



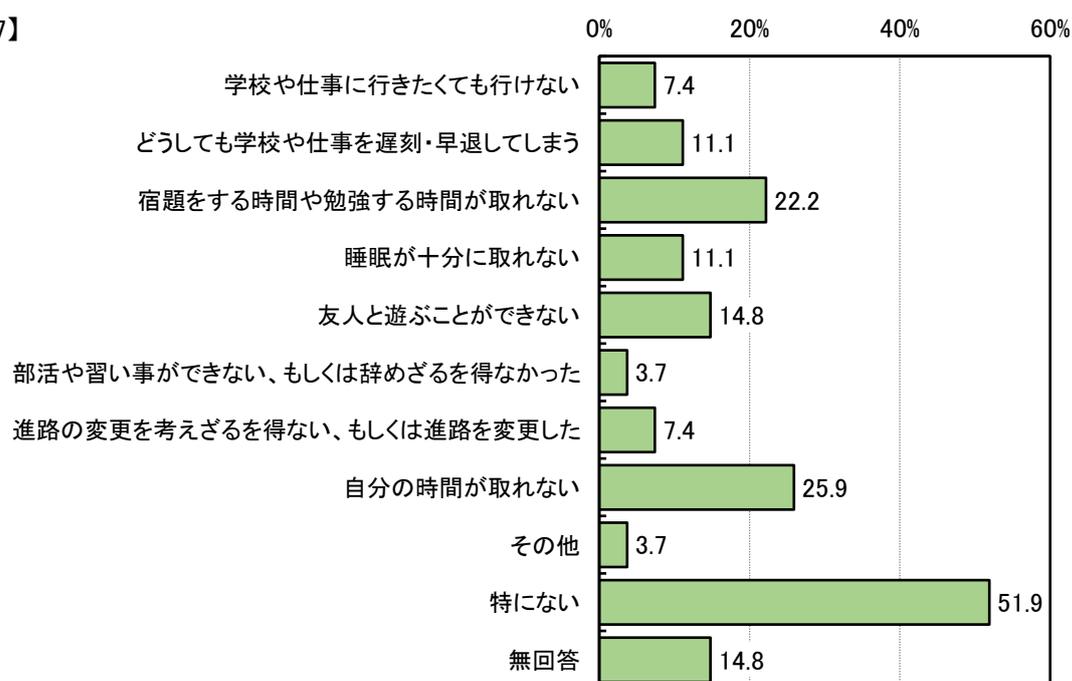
## (9) お世話をしているために、やりたいけれどできていないこと

問 14 お世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。

(あてはまる番号すべてに○)

お世話をしているために、やりたいけれどできていないことについては、「特にない」が 51.9%で最も高く、次いで「自分の時間が取れない」が 25.9%、「宿題をする時間や勉強する時間が取れない」が 22.2%などとなっています。

【n=27】

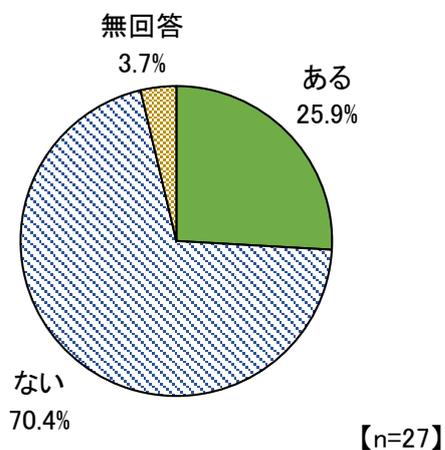


「その他」には、「ストレスがあったとしても話す相手がいない」などの回答がありました。

(10) お世話について相談した経験

問 15 お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを誰かに相談したことはありますか。(あてはまる番号1つに○)

お世話について相談した経験は、「ある」が25.9%、「ない」が70.4%となっています。



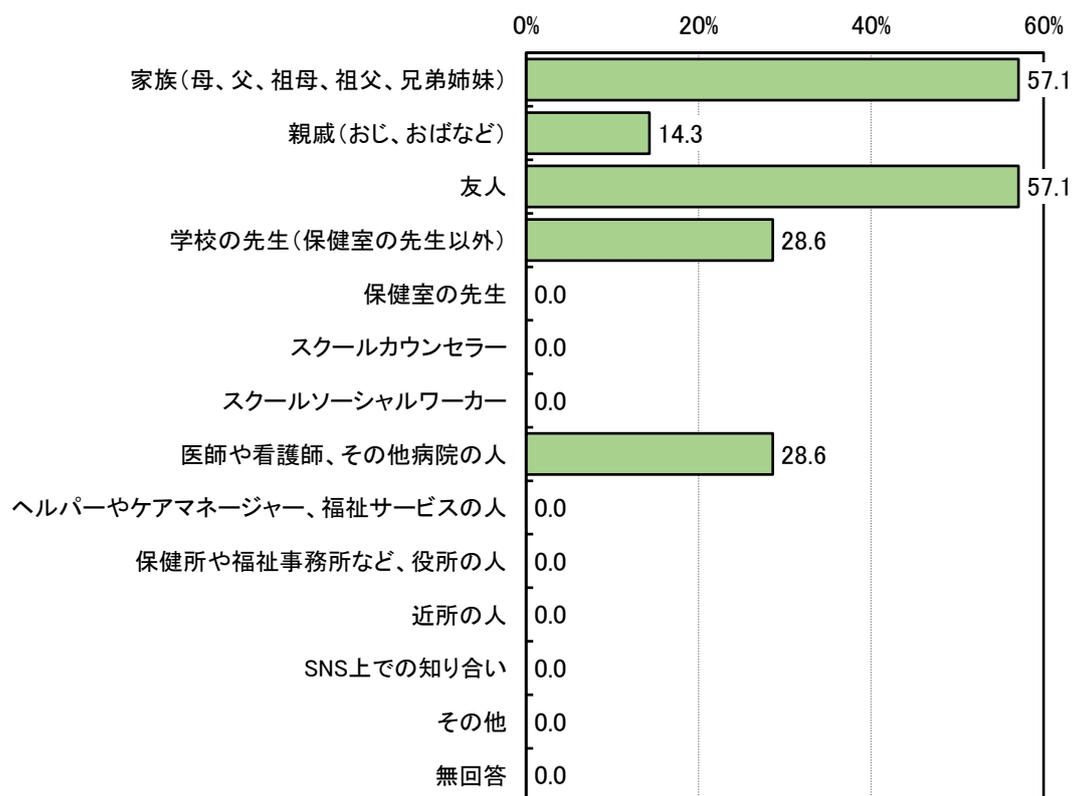
## (11) 相談相手

問 15-① 問 15 で「1. ある」と答えた人にお聞きします。

相談した相手は誰ですか。(あてはまる番号すべてに○)

お世話について相談した経験が「ある」と回答した人に、お世話についての相談相手を聞いたところ、「家族（母、父、祖母、祖父、兄弟姉妹）」、「友人」が 57.1% で最も高く、次いで「学校の先生（保健室の先生以外）」、「医師や看護師、その他病院の人」が 28.6% などとなっています。

【n=7】



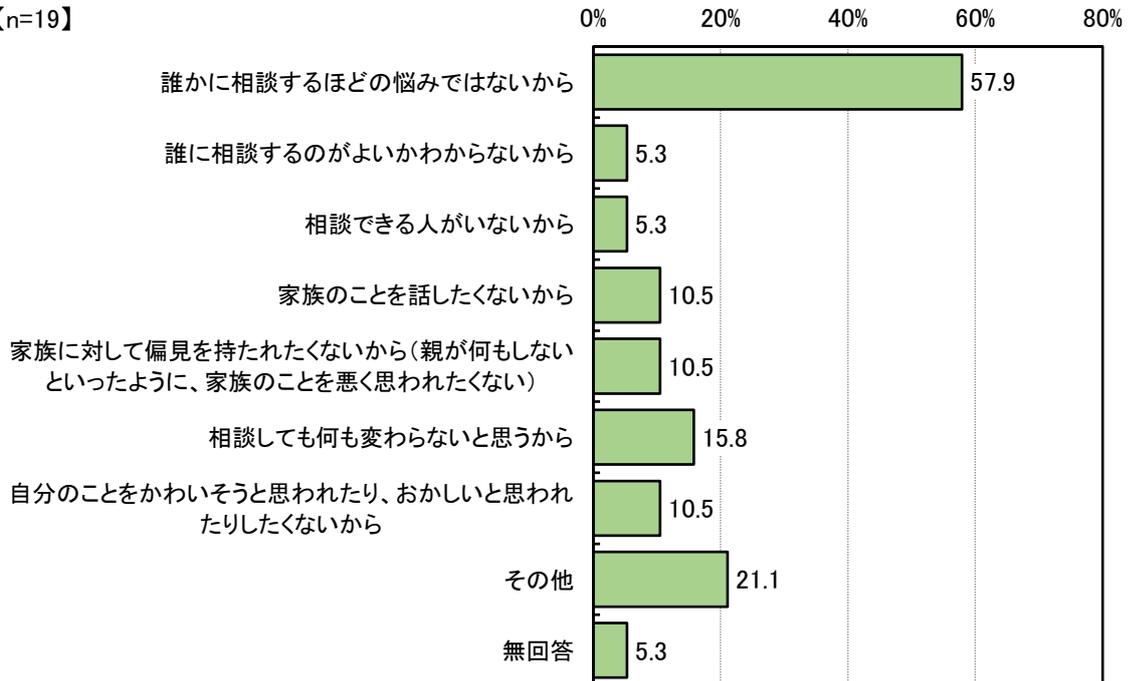
(12) お世話について相談したことがない理由

問 15-② 問 15 で「2. ない」と答えた人にお聞きします。

相談していない理由を教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

お世話について相談したことがない理由は、「誰かに相談するほどの悩みではないから」が 57.9%で最も高く、次いで「相談しても何も変わらないと思うから」が 15.8%、「家族のことを話したくないから」、「家族に対して偏見を持たれたくないから（親が何もしないといったように、家族のことを悪く思われたくない）」、「自分のことをかわいそうと思われたり、おかしいと思われたりしたくないから」が 10.5%などとなっています。

【n=19】



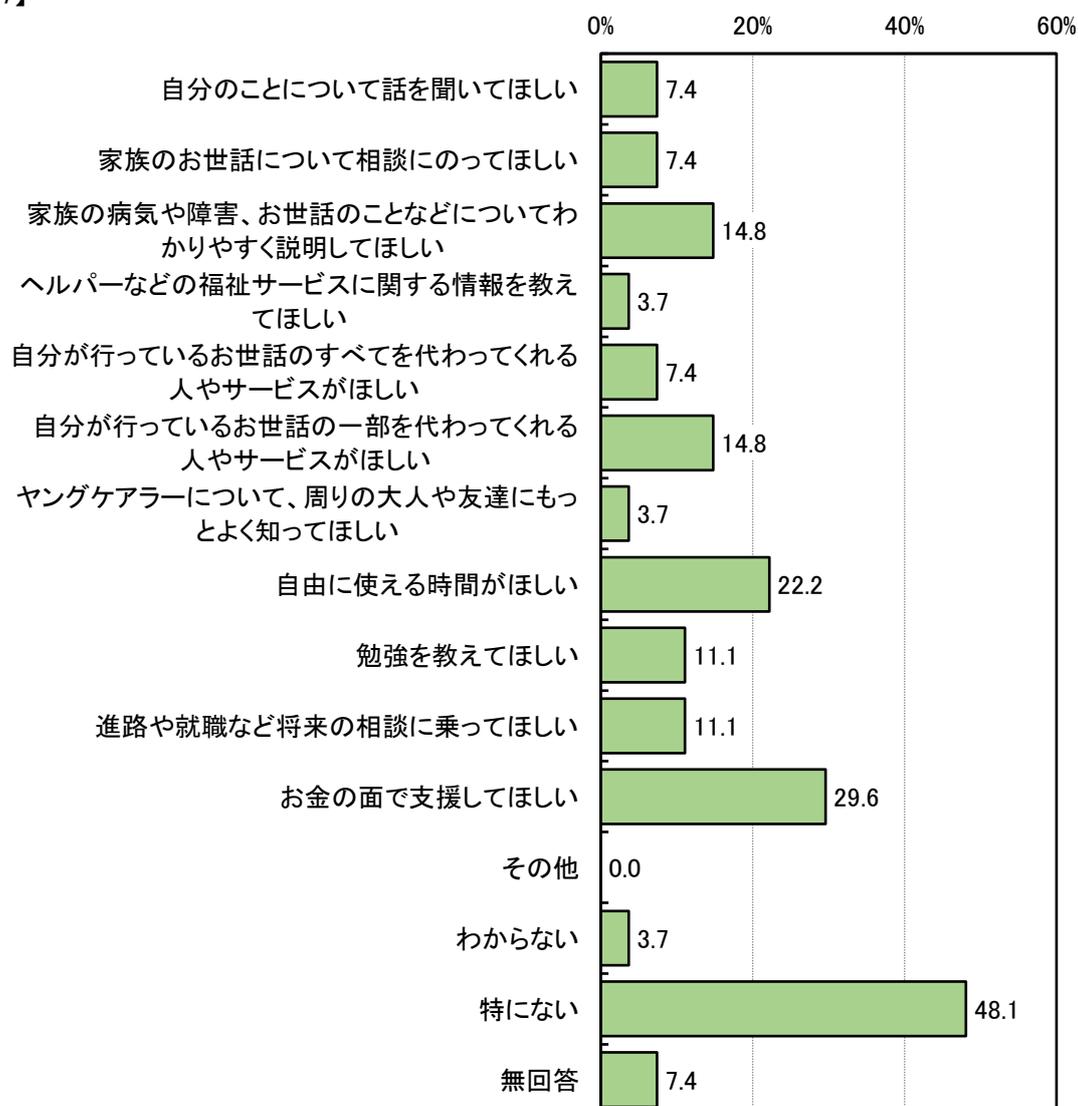
## (13) 学校や大人にしてもらいたいこと、必要な支援

問 16 学校や周りの大人にしてもらいたいこと、お世話のことであつたらいいと思うサポートは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

学校や大人にしてもらいたいこと、必要な支援については、「特にない」が48.1%で最も高く、次いで「お金の面で支援してほしい」が29.6%、「自由に使える時間がほしい」が22.2%、「家族の病気や障害、お世話のことなどについてわかりやすく説明してほしい」、「自分が行っているお世話の一部を代わりにしてくれる人やサービスがほしい」が14.8%などとなっています。

また本設問では、「自分が行っているお世話の一部を代わりにしてくれる人やサービスがほしい」と回答した方に、「具体的にどんなお世話、もしくはどんな時ですか」と聞いたところ、「家事の一部」、「家族のお世話の一部」、「家族の説得」などを代わりにほしいという回答がみられました。

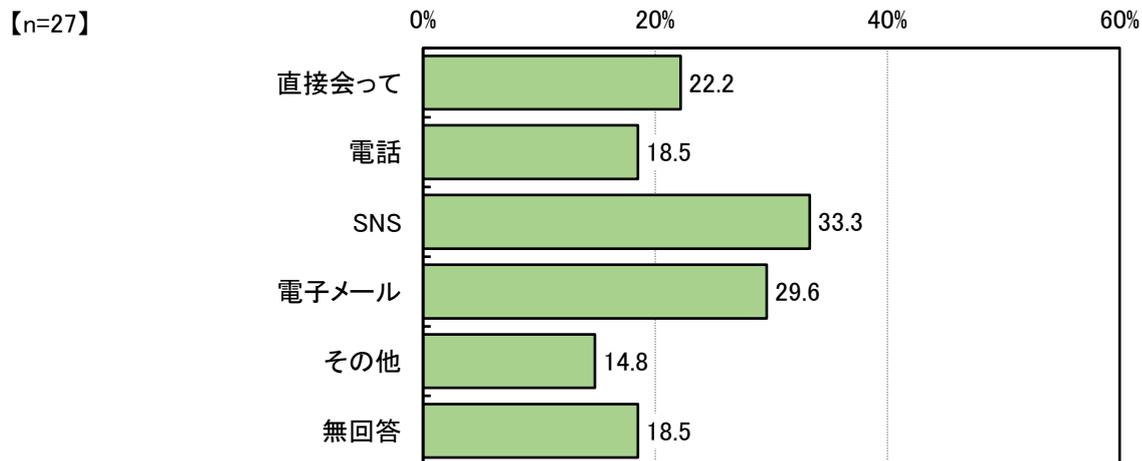
【n=27】



(14) 希望する相談の手段

問 17 あなたはどのような方法で話を聞いたり相談に乗ってほしいですか。  
(あてはまる番号すべてに○)

希望する相談の手段を聞いたところ、「SNS」が33.3%で最も高く、次いで「電子メール」が29.6%、「直接会って」が22.2%などとなっています。



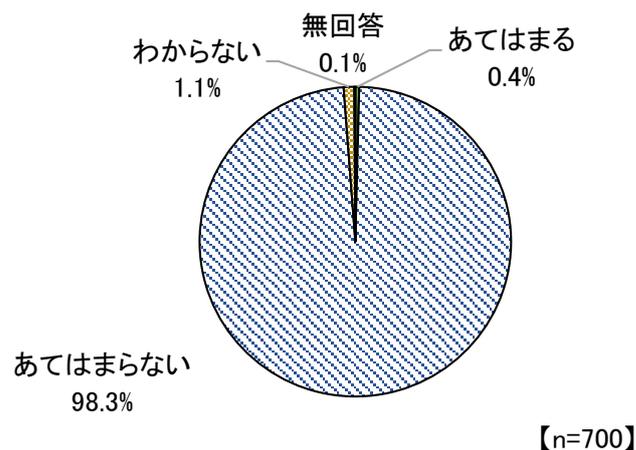
「その他」には、「話を聞くより手伝ってほしい」などの回答がありました。

## (15) ヤングケアラーの自覚

問 18 あなた自身は「ヤングケアラー」にあてはまると感じますか。(あてはまる番号1つに○)

自身がヤングケアラーにあてはまると感じるかについて聞いたところ、0.4% (3人) が「あてはまる」と回答しています。

(「あてはまらない」には、お世話をしている家族の有無(問6)で、「いない」と回答した人を含みます。)



## (16) お世話の大変さ

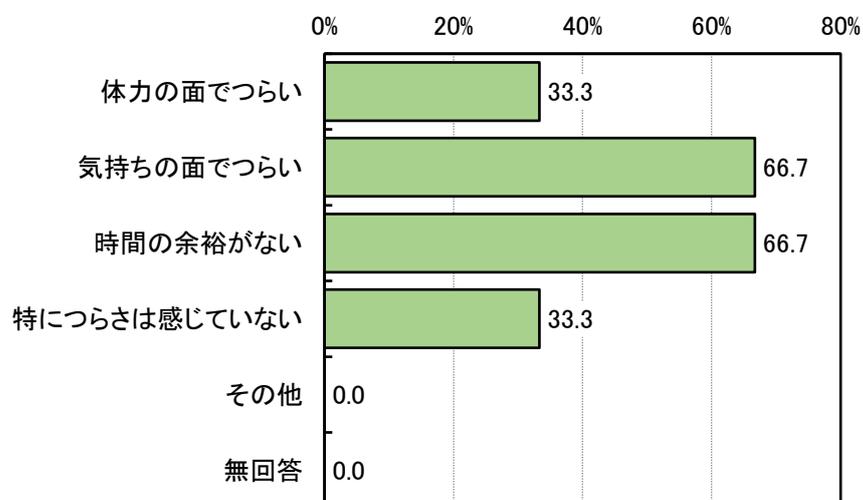
問 18-① 問 18 で「1. あてはまる」と答えた人にお聞きします。

あなたは家族のお世話をするにつらさを感じていますか。

(あてはまる番号すべてに○)

お世話をすると感じている大変さについては、「気持ちの面でつらい」、「時間の余裕がない」がそれぞれ66.7%で最も高くなっています。

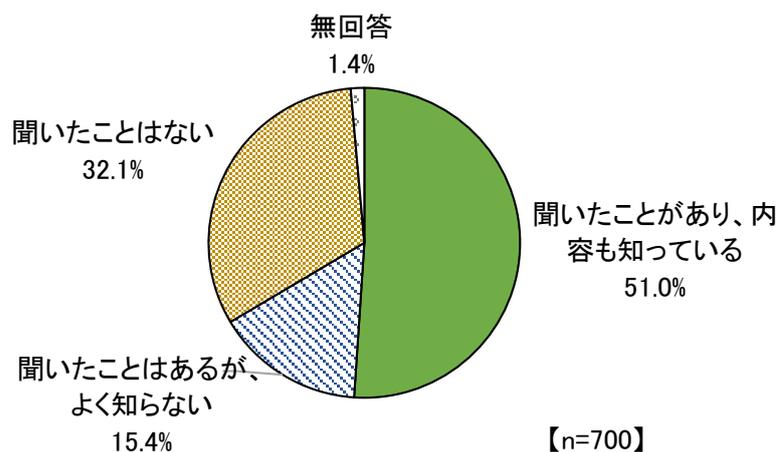
【n=3】



(17) ヤングケアラーの認知度

問 19 「ヤングケアラー」という言葉をこのアンケートをする前に聞いたことがありましたか。(あてはまる番号1つに○)

ヤングケアラーの認知度については、「聞いたことがあり、内容も知っている」が51.0%で最も高く、次いで「聞いたことはない」が32.1%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が15.4%となっています。

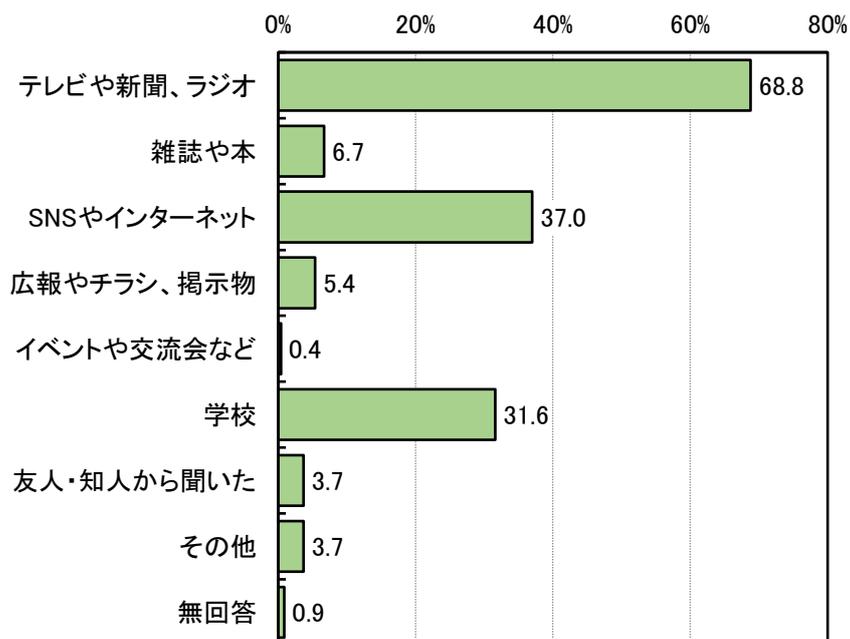


## (18) ヤングケアラーについて知ったきっかけ

問 20 問 19 で「1. 聞いたことがあり、内容も知っている」または「聞いたことはあるが、よく知らない」と回答した方にお聞きします。「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。(あてはまる番号すべてに○)

ヤングケアラーについて知ったきっかけは、「テレビや新聞、ラジオ」が68.8%で最も高く、次いで「SNSやインターネット」が37.0%、「学校」が31.6%などとなっています。

【n=465】



(19) 支援を求める記名の有無

最後に、ヤングケアラーについて悩んでいて、今すぐ「相談したい」、「支援してほしい」人のみ、こちらにお名前、住所、電話番号を書いてください。

最後に、ヤングケアラーについて悩み、支援を求める子どもが任意で記名等できる設問を設けたところ、16件の記名がありました。そのうち、問6でお世話をしている家族が「いる」と回答した件数は2件で、問18で自身がヤングケアラーに「あてはまる」と回答した件数は1件でした。

支援を求める 記名の有無	記名あり 16件	記名なし 684件	
↓			
お世話をしている 家族の有無(問6)	いる 2件	いない 14件	
↓			
ヤングケアラーの 自覚(問18)	あてはまる 1件	あてはまらない 0件	わからない 1件

## Ⅲ 高校生世代調査 追加分析

## (1) お世話をしている家族の有無

## ①お世話をしている家族の有無×健康状態

健康状態については、お世話をしている家族がいる場合、いない場合と比べて、健康状態が「よい」、「まあよい」と回答した人を合計した割合が低くなっています。

	回答者数 (人)	よい	まあよい	ふつう	あまり よくない	よくない	無回答
全体	700	64.9	11.0	21.0	2.1	0.9	0.1
いる	27	55.6	14.8	18.5	11.1	0.0	0.0
いない	673	65.2	10.8	21.1	1.8	0.9	0.1

## (2) 性別

※性別について、「その他」、「答えない」という回答は、サンプル数が少ないためクロス集計では除外しています。

## ① 性別×お世話をしている家族の有無

家族のお世話の有無については、お世話をしている人が男性の場合、女性と比べて「いる」と回答した割合が高くなっています。

	回答者数 (人)	いる	いない	無回答
全体	700	3.9	96.1	0.0
男性	342	4.7	95.3	0.0
女性	346	2.9	97.1	0.0

② 性別×お世話の内容

お世話の内容については、お世話をしている人が男性の場合、女性と比べて「見守り」、「兄弟姉妹のお世話や保育所等への送り迎えなど」などの割合が高くなっています。また、お世話をしている人が女性の場合、男性と比べて「外出の付き添い（買い物、散歩など）」、「感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）」などの割合が高くなっています。

	回答者数（人）	家事（食事の準備や掃除、洗濯）	送り迎えなど	兄弟姉妹のお世話や保育所等への	世話など	身体的な介護（入浴やトイレのお	など）	外出の付き添い（買い物、散歩	通院の付き添い	話し相手になるなど）	感情面のサポート（愚痴を聞く、	見守り	通訳（日本語や手話など）	金銭管理	薬の管理	その他	無回答
全体	27	33.3	11.1	7.4	29.6	11.1	22.2	25.9	3.7	3.7	11.1	7.4	29.6				
男性	16	25.0	12.5	6.3	18.8	6.3	12.5	37.5	0.0	0.0	6.3	6.3	31.3				
女性	10	50.0	10.0	10.0	50.0	20.0	40.0	10.0	10.0	10.0	20.0	10.0	20.0				

③ 性別×お世話をしている頻度

お世話をしている頻度については、お世話をしている人が男性の場合、女性と比べて「ほぼ毎日」、「週に3～5日」、「1か月に数日」の割合が高くなっています。また、お世話をしている人が女性の場合、男性と比べて「週に1～2日」の割合が高くなっています。

	回答者数（人）	ほぼ毎日	週に3～5日	週に1～2日	1か月に数日	その他	無回答
全体	27	29.6	11.1	18.5	11.1	22.2	7.4
男性	16	31.3	12.5	6.3	12.5	31.3	6.3
女性	10	30.0	10.0	40.0	10.0	0.0	10.0

## ④ 性別×お世話をしている時間

1日あたりのお世話を費やす時間については、お世話をしている人が男性の場合、女性と比べて「1～3時間未満」の割合が高くなっています。また、お世話をしている人が女性の場合、男性と比べて「1時間未満」、「3～7時間未満」、「7時間以上」の割合が高くなっています。

	回答者数 (人)	1時間 未満	1～3 時間未満	3～7 時間未満	7時間 以上	無回答
全体	27	3.7	29.6	18.5	11.1	37.0
男性	16	0.0	37.5	12.5	6.3	43.8
女性	10	10.0	20.0	30.0	20.0	20.0

## ⑤ 性別×お世話をしているために、やりたいけれどできていないこと

お世話をすることによる生活への影響については、お世話をしている人が女性の場合、男性と比べて、いずれにおいても割合が高くなっています。

	回答者数 (人)	ない	学校や仕事に行きたくても行けない	早退し学校や仕事を遅刻・	どうしても学校や仕事を遅刻・	が取れない時間や勉強する時間	宿題をする時間や勉強する時間	睡眠が十分に取れない	友人と遊ぶことができな	くは辞めざるを得なかった	部活や習い事ができない	い、路も変える	進路の変更を	自分の時間が取れない	その他	特にな	無回答
全体	27	7.4	11.1	22.2	11.1	14.8	3.7	7.4	25.9	3.7	51.9	14.8					
男性	16	6.3	6.3	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	62.5	12.5					
女性	10	10.0	20.0	40.0	30.0	20.0	10.0	20.0	50.0	10.0	30.0	20.0					

⑥ 性別×お世話について相談した経験

お世話の悩みについての相談の有無は、お世話をしている人が女性の場合、男性と比べて「ある」の割合が高くなっています。

	回答者数 (人)	ある	ない	無回答
全体	27	25.9	70.4	3.7
男性	16	18.8	81.3	0.0
女性	10	40.0	50.0	10.0

⑦ 性別×学校や大人にしてもらいたいこと、必要な支援

学校や大人にしてもらいたいこと、必要な支援については、お世話をしている人が男性の場合、女性と比べて「勉強を教えてほしい」、「特にない」などの割合が高くなっています。また、お世話をしている人が女性の場合、男性と比べて「自由に使える時間がほしい」、「進路や就職など将来の相談に乗ってほしい」などの割合が高くなっています。

回答者数 (人)	自分のことについて話を聞いてほしい	し家族のお世話について相談のしてほしい	家族の病気や障害、お世話のほとなど	情報を教えるなどの福祉サービスに関する	ヘルパーなどの福祉サービスに関する	わっが行く人やお世話のほとを代	わっが行く人やお世話のほとを代	自分が行く人やお世話のほとを代	や友達にもとよく知って、周りの大人	自由に使える時間がほしい	勉強を教えてほしい	し進路や就職など将来の相談に乗ってほ	お金の面で支援してほしい	その他	わからない	特にない	無回答
全体	27	7.4	7.4	14.8	3.7	7.4	14.8	3.7	22.2	11.1	11.1	29.6	0.0	3.7	48.1	7.4	
男性	16	0.0	6.3	12.5	0.0	6.3	12.5	0.0	6.3	12.5	0.0	25.0	0.0	6.3	62.5	0.0	
女性	10	20.0	10.0	20.0	10.0	10.0	20.0	10.0	50.0	10.0	30.0	40.0	0.0	0.0	20.0	20.0	

(3) 家族構成

※家族構成について、「その他の世帯」という回答は、サンプル数が少ないためクロス集計では除外しています。

① 家族構成×お世話を必要としている家族

お世話を必要としている家族については、二世帯世帯、ひとり親家庭で「兄弟姉妹」の割合が最も高くなっています。また、三世帯世帯の場合、他と比べて「父親」、「祖母」の割合が高く、ひとり親家庭の場合、他と比べて「母親」、「兄弟姉妹」の割合が高くなっています。

	全体	母親	父親	祖母	祖父	兄弟姉妹	その他	無回答
全体	27	18.5	7.4	22.2	0.0	33.3	0.0	37.0
二世帯世帯	14	21.4	7.1	0.0	0.0	28.6	0.0	57.1
三世帯世帯	6	0.0	16.7	66.7	0.0	16.7	0.0	16.7
ひとり親家庭	4	50.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0	25.0

② 家族構成×お世話の内容

お世話の内容については、二世帯世帯の場合、他と比べて「通訳（日本語や手話など）」、「金銭管理」の割合が高くなっています。また、三世帯世帯の場合、他と比べて「通院の付き添い」、「外出の付き添い（買い物、散歩など）」などの割合が高く、ひとり親家庭の場合、他と比べて「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」、「兄弟姉妹のお世話や保育所等への送り迎えなど」などの割合が高くなっています。

	回答者数（人）	洗濯（食事の準備や掃除、洗濯）	への送り迎えなど	兄弟姉妹のお世話や保育所等	のお世話など（入浴やトイレ）	身体的な介護（買い物、散歩など）	外出の付き添い（買い物、散歩など）	通院の付き添い	く、感情面のサポート（愚痴を聞く）	見守り	通訳（日本語や手話など）	金銭管理	薬の管理	その他	無回答
全体	27	33.3	11.1	7.4	29.6	11.1	22.2	25.9	3.7	3.7	11.1	7.4	29.6		
二世帯世帯	14	28.6	7.1	0.0	21.4	7.1	21.4	14.3	7.1	7.1	14.3	0.0	42.9		
三世帯世帯	6	33.3	0.0	16.7	50.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7		
ひとり親家庭	4	75.0	50.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0		

(4) お世話を必要としている家族

※お世話を必要としている家族について、「その他」という回答は、サンプル数が少ないためクロス集計では除外しています。

① お世話を必要としている家族×お世話の内容

お世話を必要としている家族ごとに、お世話の内容について聞いたところ、「母親」では「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」、「薬の管理」、「兄弟姉妹のお世話や保育所等への送り迎えなど」、「外出の付き添い（買い物、散歩など）」、「感情面のサポート（愚痴をきく、話し相手になるなど）」などの割合が高くなっています。

「父親」では「外出の付き添い（買い物、散歩など）」、「通院の付き添い」、「見守り」、「薬の管理」などの割合が高くなっています。

「祖母」では「外出の付き添い（買い物、散歩など）」、「見守り」、「身体的な介護（入浴やトイレのお世話など）」、「通院の付き添い」、「感情面のサポート（愚痴をきく、話し相手になるなど）」などの割合が高くなっています。

「兄弟姉妹」では「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」、「兄弟姉妹のお世話や保育所等への送り迎えなど」、「感情面のサポート（愚痴をきく、話し相手になるなど）」などの割合が高くなっています。

	回答者数（人）	濯（家事（食事の準備や掃除、洗濯））	への送り迎えなど	兄弟姉妹のお世話や保育所等	の身体的な介護（入浴やトイレ）	歩などの付き添い（買い物、散歩）	外出の付き添い	通院の付き添い	く、感情面のサポート（愚痴をきく、話し相手になるなど）	見守り	通訳（日本語や手話など）	金銭管理	薬の管理	その他	無回答
全体	27	33.3	11.1	7.4	29.6	11.1	22.2	25.9	3.7	3.7	11.1	7.4	29.6		
母親	5	60.0	40.0	0.0	40.0	20.0	40.0	20.0	20.0	20.0	60.0	0.0	0.0		
父親	2	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0		
祖母	6	16.7	0.0	33.3	66.7	33.3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0		
祖父	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
兄弟姉妹	9	55.6	33.3	0.0	11.1	0.0	33.3	22.2	11.1	11.1	22.2	11.1	0.0		

## IV 自由記述について

問 21 ヤングケアラーのことで意見や感想、その他困っていることなどがあれば自由に書いてください。

以下に記載する意見は、原文のままではありませんが、なるべく回答者の表現を用いる形で記載しています。

## (1) 相談体制の充実、相談しやすい・話しやすい環境づくり

- ・ニュースなどでヤングケアラーはなかなか周りに相談しづらいと見たので、相談しやすい環境になるといいなと思いました。
- ・一人で抱えてはいけない問題だと思いました。気軽に相談できる場や支援をお願いできる人が必要だと感じています。
- ・ヤングケアラーの人が気軽に相談できるような場所がもし出来たら、安心するだろうと思いました。
- ・ヤングケアラーが抱えている負担を減らすことは難しいが、心の重荷だけでも下ろせるように相談窓口を活用してほしい。
- ・学校などでハガキを配り、書いてそのまま出して終わりみたいにするとう相談しやすいと思う。電話やメールだと出したという証拠が残ってしまうから。ヤングケアラーは無料でできることをアピールしたほうが良い。

## (2) 子どもたちの意見を伝えられる環境づくり、意思の尊重

- ・ヤングケアラーの当事者である子ども自身が、家事などの自分に負担となっている仕事を助けて欲しいと感じているのか、それとも話を聞いてくれるカウンセラーのような存在が必要なのかを見定めないと、効果的なサポートをしづらいのではないかと思います。
- ・もし自分がヤングケアラーだったとして、親の目がある自宅でこのアンケートに本当のことを書くのって結構難しいのではないかなと思います。学校等でこのアンケートを書く場合も、その場で封筒等に入れて封ができれば先生に見られるかもという心配がなくなっていいのではないかと思います。

## (3) 学校におけるサポートや配慮

- ・ヤングケアラーが問題だと思うなら、そういう家庭を腫れ物のように扱うことはやめてしっかりと向き合って、そこまでする必要はないときちんと学校で教えてあげてください。子どもにとって学校は時に親よりも強い力を持ちます。
- ・ヤングケアラーは周りに言いづらいと思うので、学校や自治体で支えていくことが大事だと思う。
- ・学校でスクールカウンセラーなど、悩んでいる人が相談できる場所があるということをお教えしたりして、定期的に相談する機会をつくれればいいと思う。
- ・小学校、中学校での教育の過程でヤングケアラーの存在を教える場を設け、学校内

に家庭状況について相談できる場所をつくり、定期的に全員相談する機会をつくる  
ことが一つの解決策になるのでは？

### (4) 周囲（大人や友達）の理解や寄り添い

- ・もしも友達がヤングケアラーならば少しでも手伝ってあげたいし、そんな環境が出来ればいいと思った。
- ・改めて、この問題は子どもにとっても大人にとっても大問題だと思うので、少しずつ減少させていく必要があると感じた。もちろん大人も頼るのは大切だが、子どもだけではなく他の人にも協力を頼むべきだと思う。
- ・友達にももしかしたらいるかもしれないと周りをよく見ようと思った。
- ・友達にヤングケアラーの子がいるが、どんな声を掛けたら、どんなことをしたらその子が楽になるのか、どんなことをしてほしいのか察せず心苦しい。どのように思っているのか知りたい。
- ・友達にいつも授業中に寝ている人がいます。先生はいつもその子のことを理由も聞かず怒っています。本人に聞いたところによると祖母の介護をされていて寝ていないと言っていました。先生にもそういった生徒がいることを理解してもらい、一緒に解決方法を見つけていく事が大切だと思いました。

### (5) 福祉サービスやボランティア等による支援

- ・介護施設や、困っている学生が相談できる場を増やすことができればいいと思いました。

### (6) 経済的支援

- ・そのような家庭にはお金をあげるべき。

### (7) ヤングケアラーの普及啓発

- ・SNSやテレビで紹介するだけで、対策があまりされていないような気がします。
- ・現状、ヤングケアラーについてどれくらいいるのか、何がまずいのか等が明確に分かっていないので、これらを明確に伝えていくべきだと思う。
- ・子どもの中に知らない人も、大人の中にわかっていない人もいると感じています。大人で勘違いしている人は、普通の手伝いと区別していないと思います。
- ・現在ヤングケアラーが問題視されていますが、当事者が今の状況が「おかしい」ということに気付けるかも、気を付けなければいけないのではと思います。
- ・知名度が広がり、手を差し伸べる人が増えるといいなと思う。

### (8) ヤングケアラー同士の情報交換の場

- ・新聞などでヤングケアラーの方がいるということをよく耳にするようになりましたが、そのような子どもたちのコミュニティがあれば、子どもたち同士での会話や野外運動などでストレスが発散出来ればなと思います。

**(9) ヤングケアラーの実態を把握する取り組み**

- ・このようなアンケートがあれば、普段誰にも相談できない人や、大したことではないと抱え込んでいる人が少しでも「助けて」と言えるようになるかと思います。素晴らしい取り組みだと思います。
- ・それぞれの家庭の事情があり、相談できなくて困っている人もいると思うので、こういうアンケートを行うことは良いと思います。
- ・私の身近にヤングケアラーはいなかったけれど、アンケートがヤングケアラーを知るきっかけになったり助けを求められる機会になったりすると思うので、良い取り組みだと思います。一人でも多くのヤングケアラーの苦勞が少しでも改善していけばいいと思います。

**(10) その他支援の充実（自分のための時間をつくってあげるなど）**

- ・子どもが子どもとして成長する場の整備を行政がリードして、地域が一体となってヤングケアラーのケアをして行くべきだと思う。自分の家族が他と違うことを言うことを躊躇ってしまうことがあると思うので、地域の人はず先挨拶から、会話を築き、他の大人に相談できる良い関係を再構築することから始めて行くべきだと思う。
- ・最近高齢者が多くなっている分ヤングケアラーが増えるのは避けられないと考える。実際に介護する人たちも減ってきているなか、もう少し資格を取りやすく、そのための勉強をしやすくするなどの取り組みがあってもいいと考える。
- ・同居・別居家族が障がい者かどうか、兄弟姉妹がたくさんいるかどうかは、各自治体がすぐ調べられるし分かることだと思う。その家庭には、何かしらヘルプが必要かと思うので、自治体から手を差し伸べてあげられたら良いだろう。
- ・ヤングケアラーの支援制度を設けてもいいと思う。
- ・ヤングケアラーにはいろいろな事情があつてなつてしまった人が多いと思うので、審査や手続きを行うなどして、良い支援をすることが求めていると思う。
- ・学校の授業で知りましたが、ヤングケアラーで苦しんでいる同世代の子どもがいて、そのような子どもへの対応が未だ足りていないことを知りました。今、政府や地域の自治体などがそういう子どもたちを助けるために、子どもたちの教育の自由や生活の救済をより強化するべきだと考えます。

**(11) ヤングケアラーに関する感想**

- ・同じ年代の人達が自分のやりたいことを我慢して家事や家族のお世話をしていることを知り、心が痛くなりました。アンケートを受け取るまで“ヤングケアラー”という言葉が知らなかったのも、これを機に色々な問題に目を向けてみたいと思いました。
- ・かわいそうだなと思っている時点で自分たちは他人事と考えているから、この意識を変えていかないといけないと思う。
- ・ヤングケアラーで悩みを抱えている子どもに支援の手が差し伸べられ、みんながあ

りのままの自分でいられるようになると思います。

- ・子どもがやる必要はないことをやらなければいけないのがヤングケアラーだと思うので、まずは大人と言われる人達が社会から孤立しないように、行政が第一にするべきことだと思う。

**(12) お世話をしている家族がいると回答した方からの声**

- ・ヤングケアラーから抜け出した後の精神面のサポートにも力を入れてほしい。何が正しいか分からないという考え方になっているため、話を聞いてくれるだけでも楽になる。知らない人に話すのは緊張するので、メールなど文字でだと嬉しい。
- ・家族間のことを他の人に話せない。特に家族の仲が良い人に話すことに抵抗が大きくなる。前に話をしたが、面白そうと言われた。ストレスが溜まった時に吐き出す場所がないのでまた溜まってしまう。
- ・私と母は他人の力を借りたいと思っているが、本人（祖母）は嫌がるためどうにもならない。
- ・自分よりも妹が当てはまると思う。ひとり親家庭で、母が仕事から戻るまで妹がお世話をしているから。妹は小学生だし、母も生活のために頑張っているけれど、介護のサービスに助けてほしいと思う。
- ・若い時の苦労は買ってでもせよという言葉と、ヤングケアラーが問題になっている昨今の状況は矛盾があると今思った。
- ・人のお世話は難しいとつくづく思う。
- ・調査を行うだけでなく、実際に困っているヤングケアラーの方達を支援してあげてほしいです。よろしくお願いします。

## 4 調査結果とりまとめ、考察、今後の支援の方向性

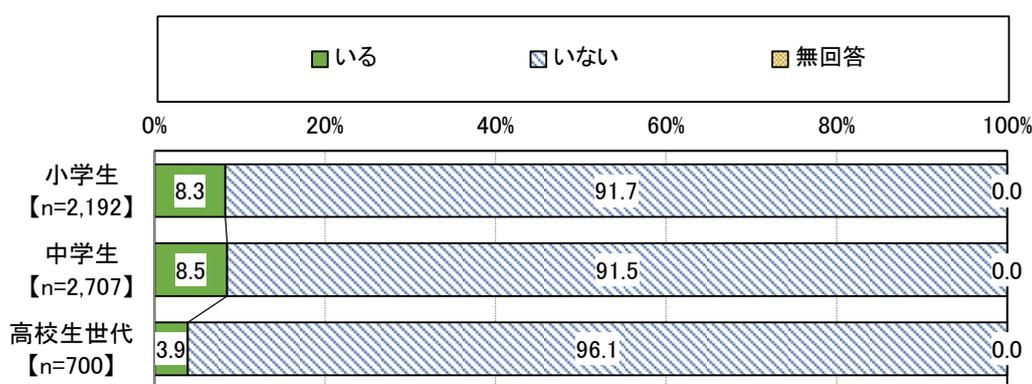
### I 調査結果とりまとめ、考察

#### (1) お世話をしている家族の有無

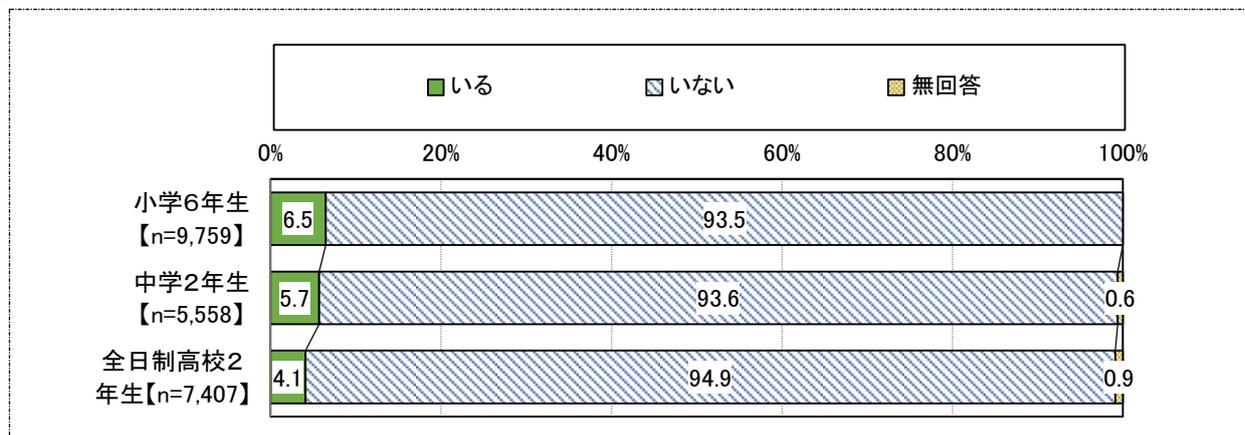
自身がお世話をしている家族が「いる」と回答した人の割合は、小学生で8.3% (183人)、中学生で8.5% (230人)、高校生世代で3.9% (27人) でした。

国の調査とは有効回答数の規模などが異なるため、一概に比較することは難しいですが、小学生・中学生は自身がお世話をしている家族が「いる」と回答した割合が、国の調査結果よりも高い傾向であることが推察されます。

#### ○お世話をしている家族の有無



#### 【参考 国調査 お世話をしている家族の有無】



☞小学6年生：日本総合研究所「ヤングケアラーの実態に関する調査研究報告書」令和4年3月

☞中学2年生、全日制高校2年生：三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング「ヤングケアラーの実態に関する調査研究報告書」令和3年3月

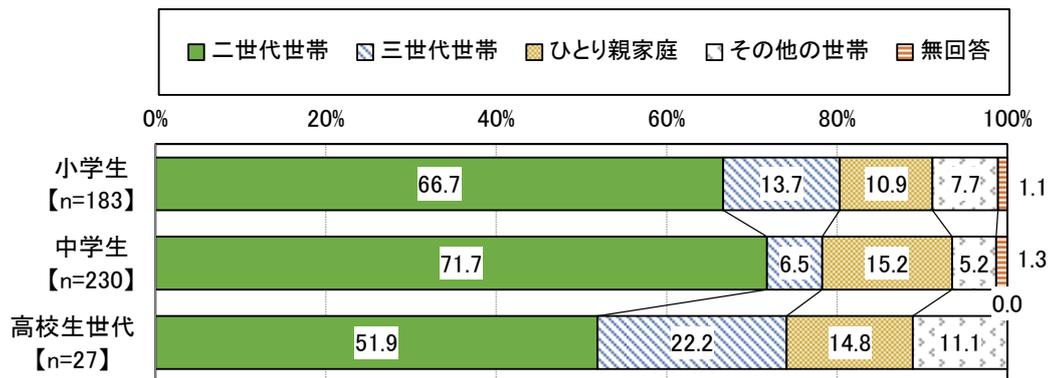
※設問によっては、小学6年生に調査を実施していないものがあるため、中学2年生と全日制高校2年生のみのグラフを掲載している場合があります。

(2) 家族構成

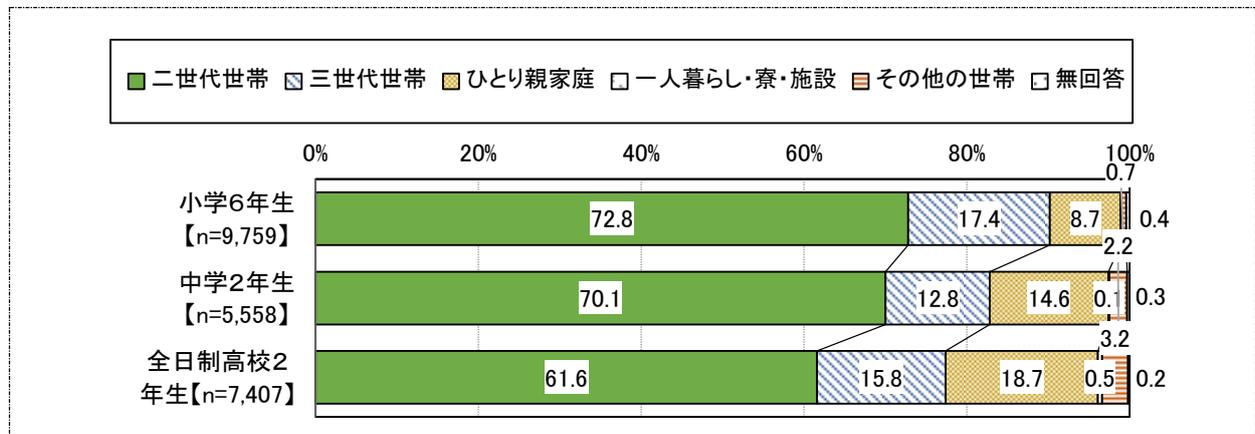
自身がお世話をしている家族が「いる」と回答した人の家族構成については、各世代「二世代世帯」が最も高く、次いで「三世代世帯」、「ひとり親家庭」などとなっています。

国の調査とは有効回答数の規模などが異なるため、一概に比較することは難しいですが、国の調査結果と同様に「二世代世帯」が最も高く、類似した傾向であることが推察されます。

○家族構成



【参考 国調査 家族構成】

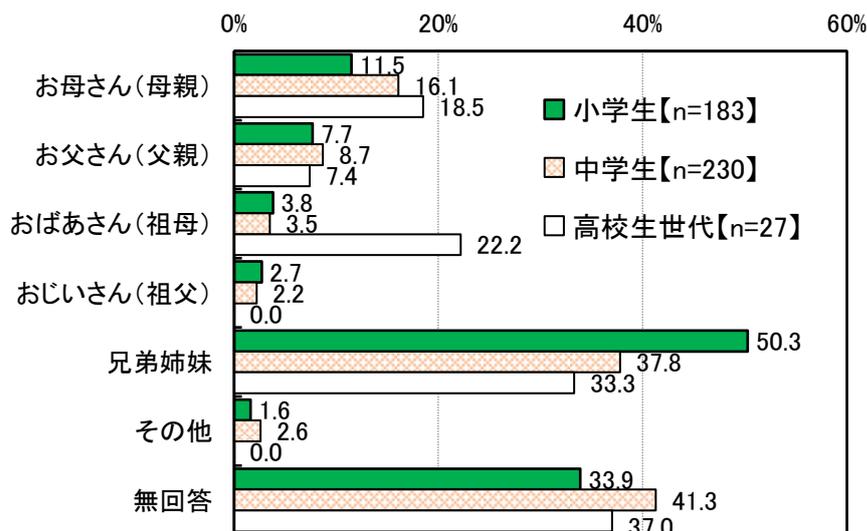


(3) お世話の対象、内容

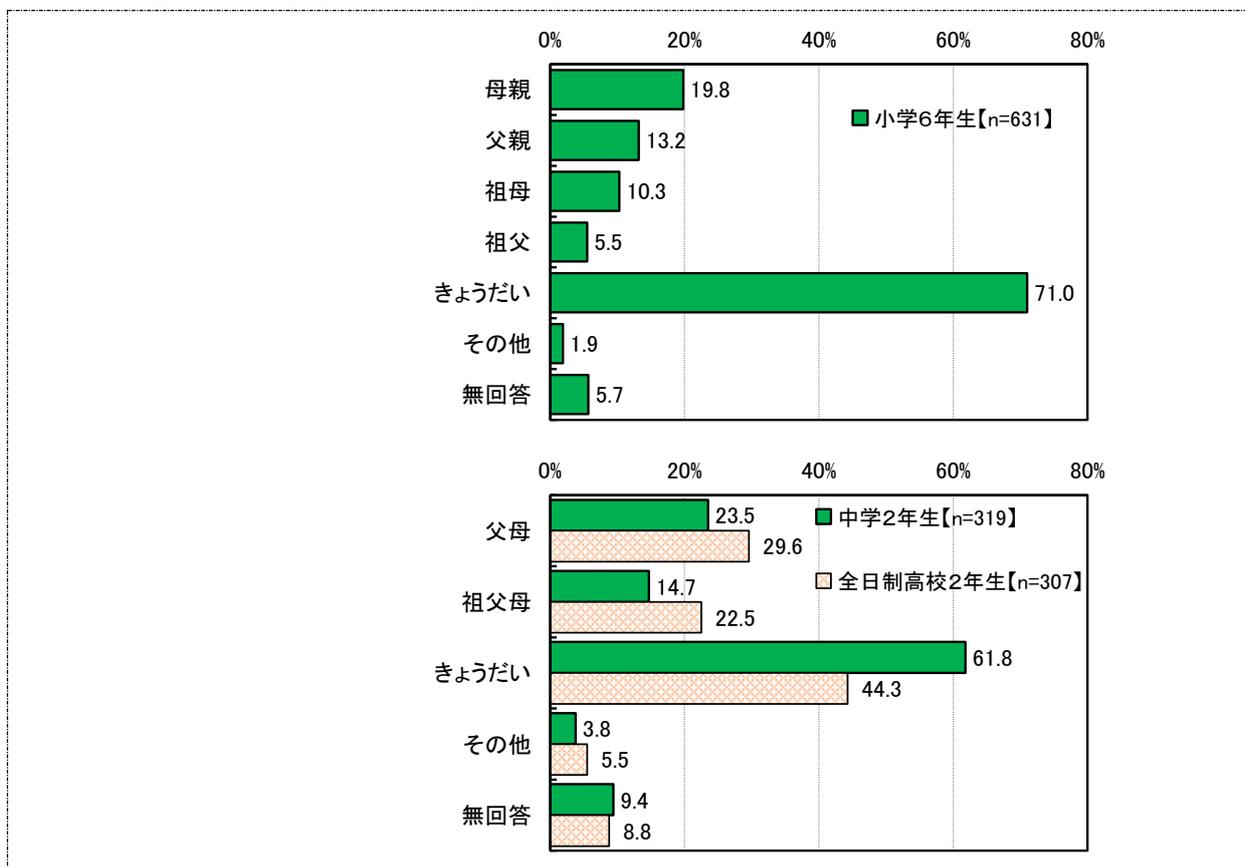
お世話をしている対象については、各世代「兄弟姉妹」が最も高くなっています。

国の調査とは有効回答数の規模などが異なるため、一概に比較することは難しいですが、国の調査結果と同様に「兄弟姉妹」が最も高く、類似した傾向であることが推察されます。

○お世話の対象



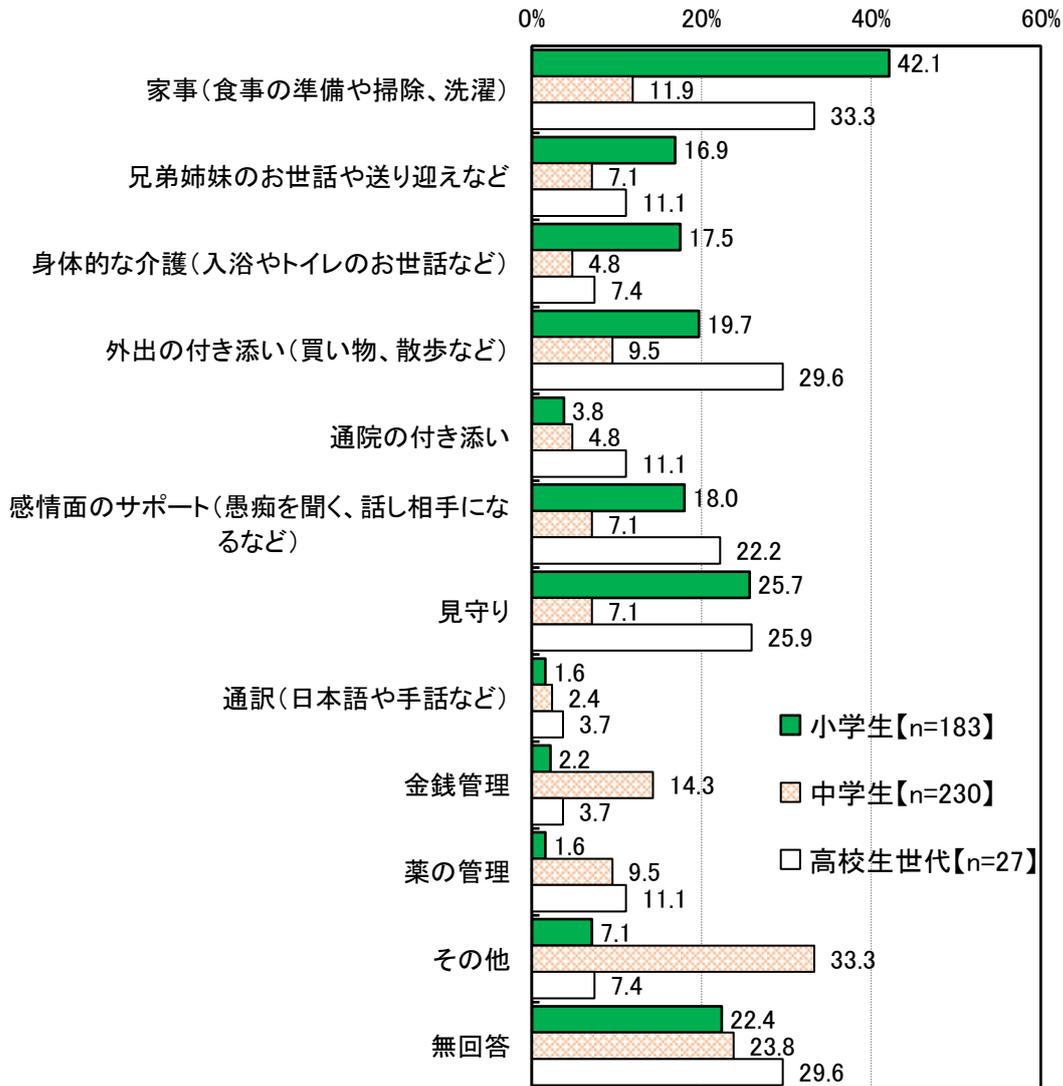
【参考 国調査 お世話を必要としている家族】



お世話の内容については、「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」、「見守り」、「外出の付き添い（買い物、散歩など）」などが高くなっています。

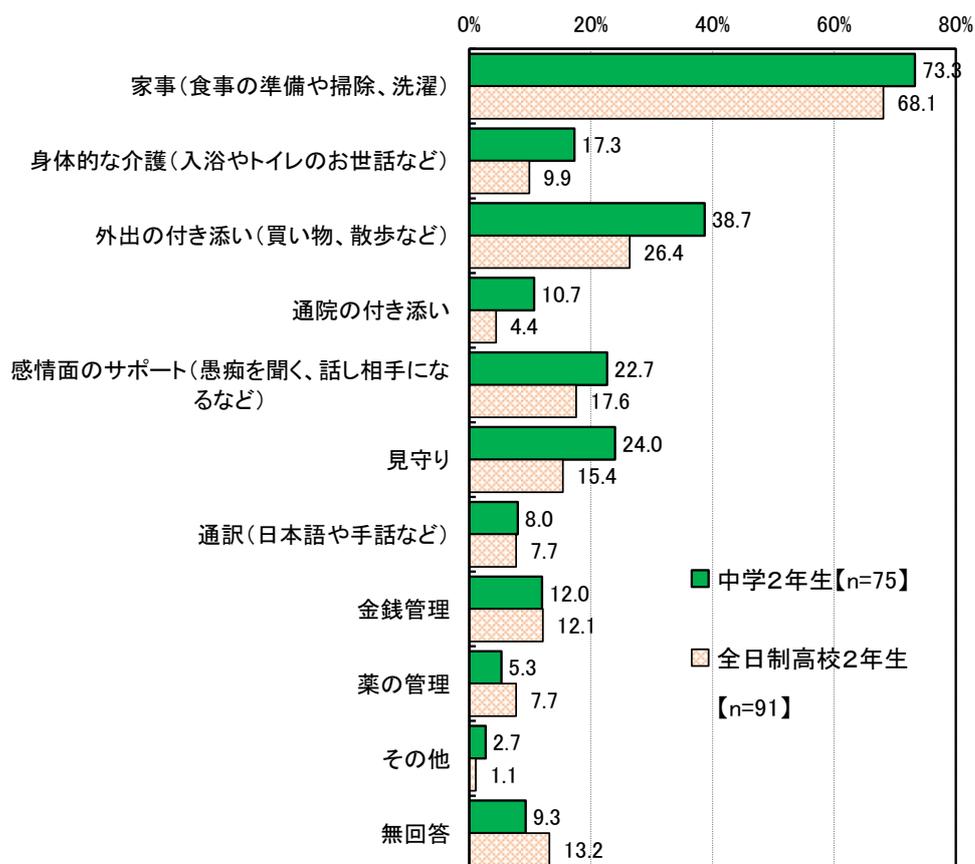
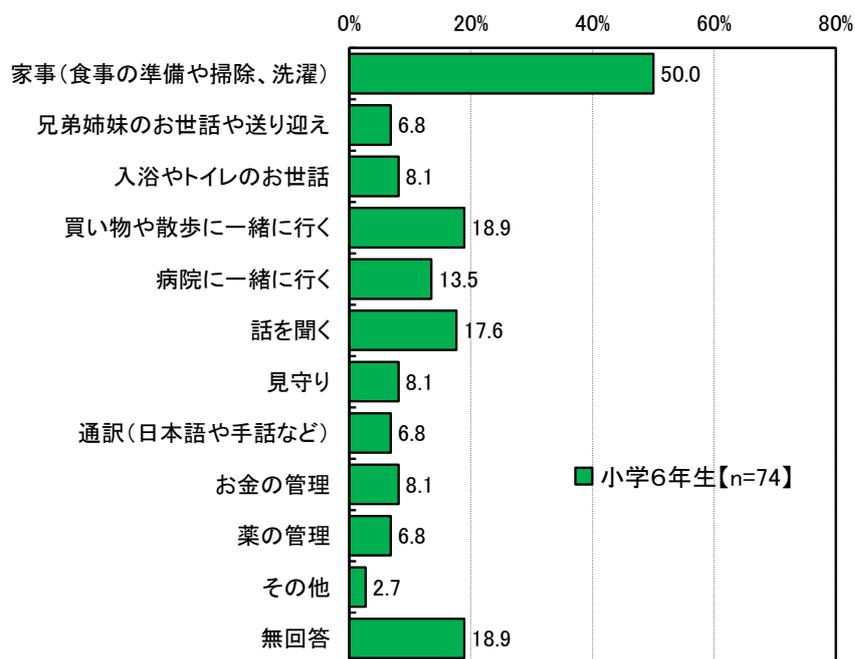
国の調査とは選択肢などが異なるため、一概に比較することは難しいですが、国の調査結果と同様に「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」、「見守り」、「外出の付き添い（買い物、散歩など）」などが高く、類似した傾向であることが推察されます。

○お世話の内容

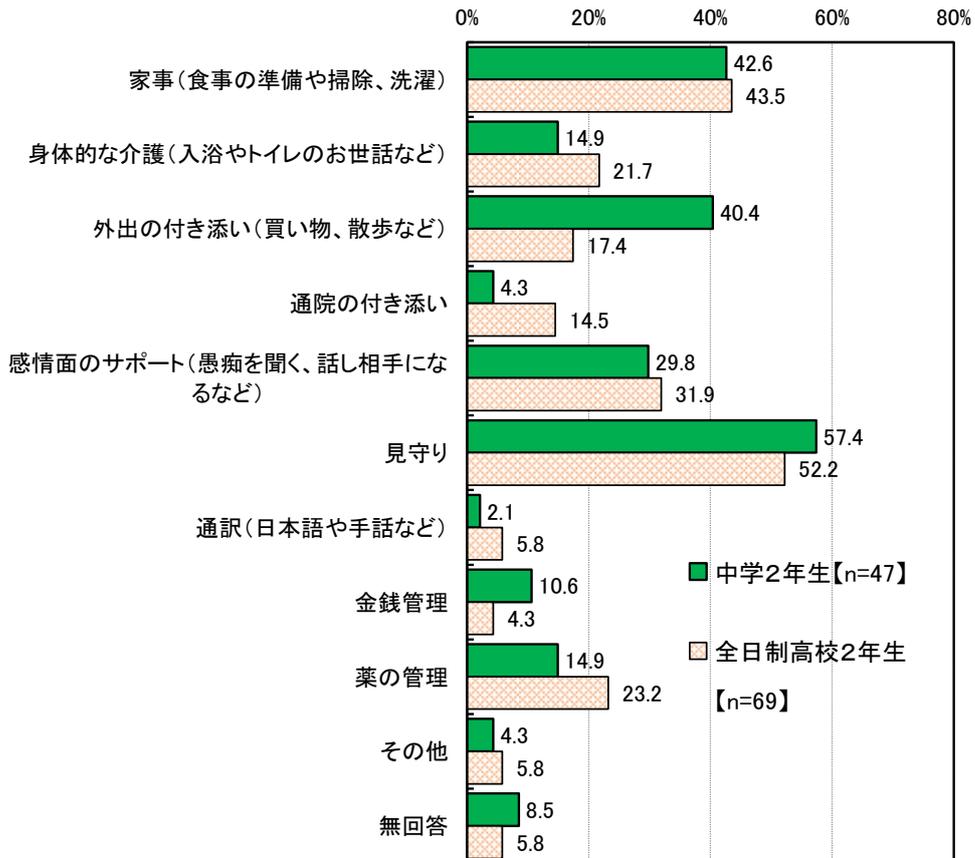
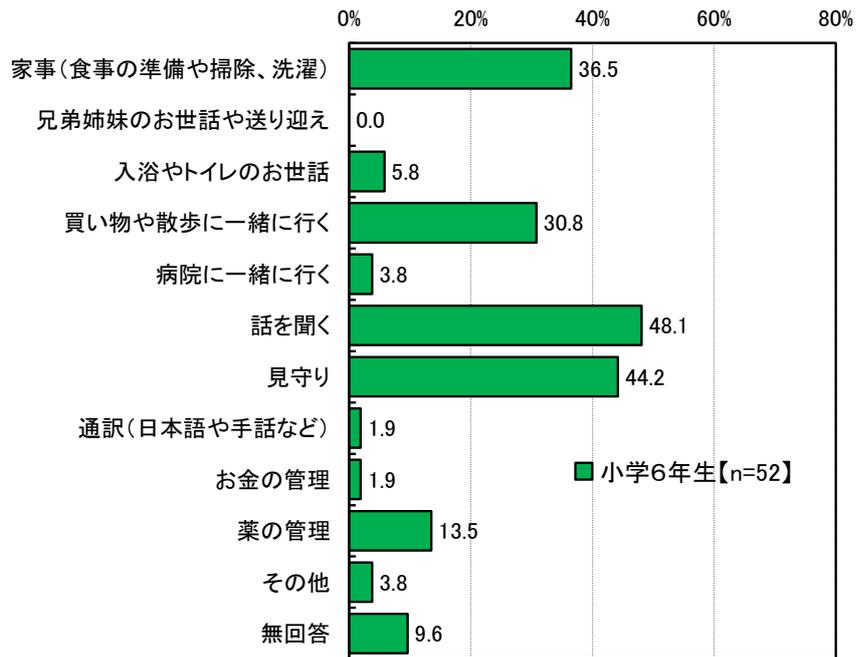


【参考 国調査 お世話の内容】

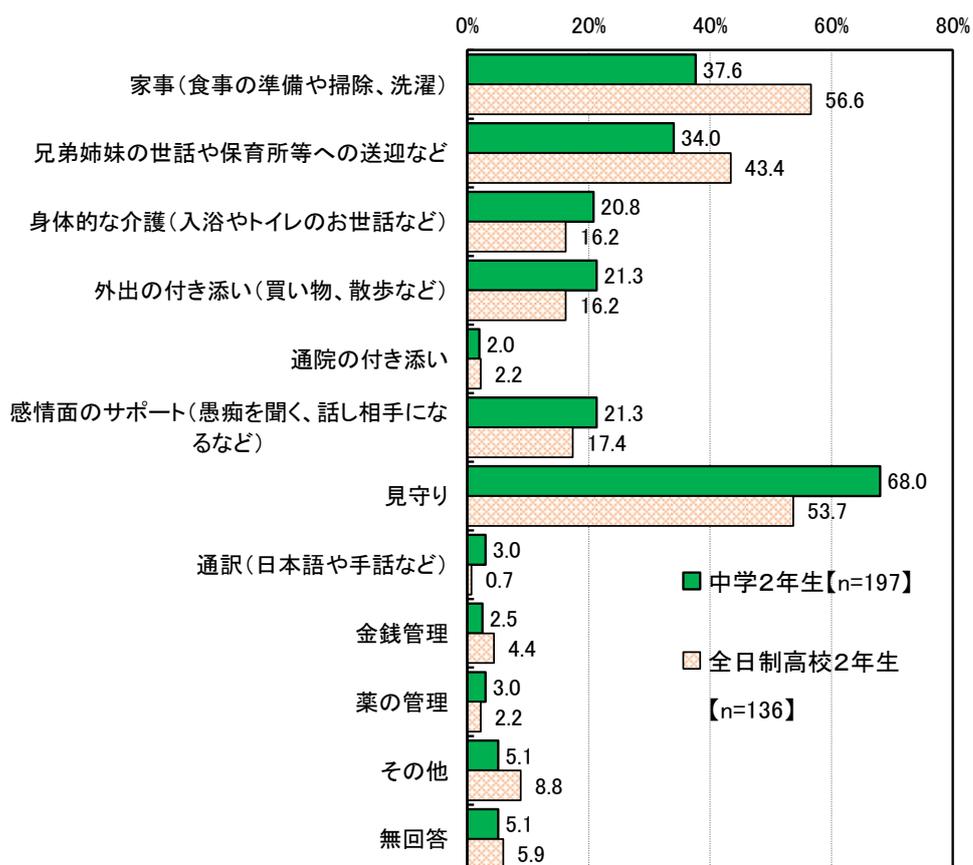
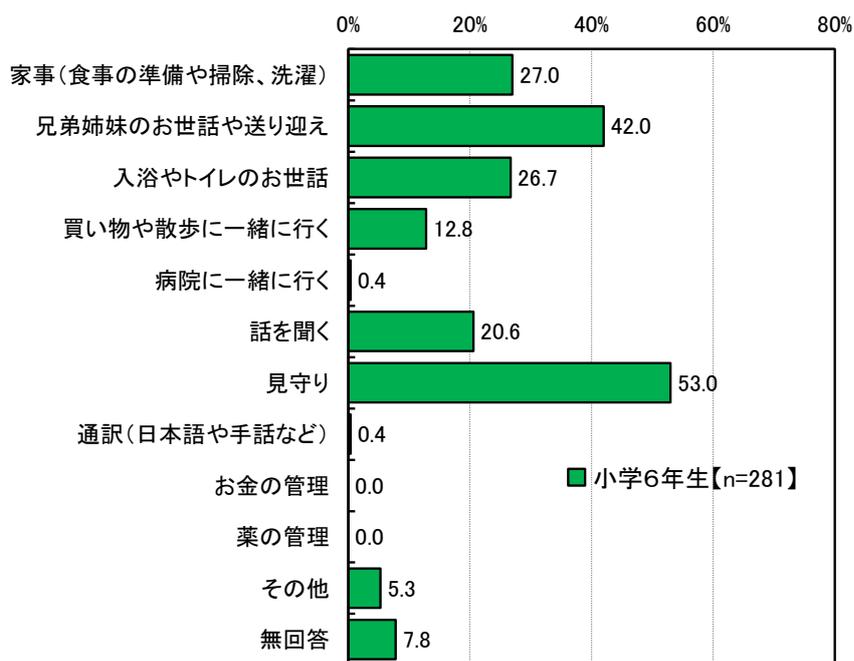
【父母】



【祖父母】



【きょうだい】

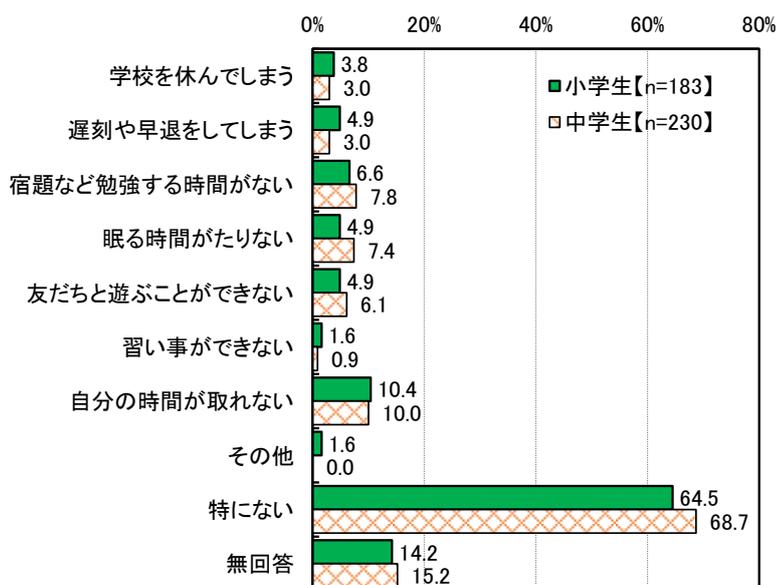


(4) お世話をしているために、やりたいけれどできていないこと

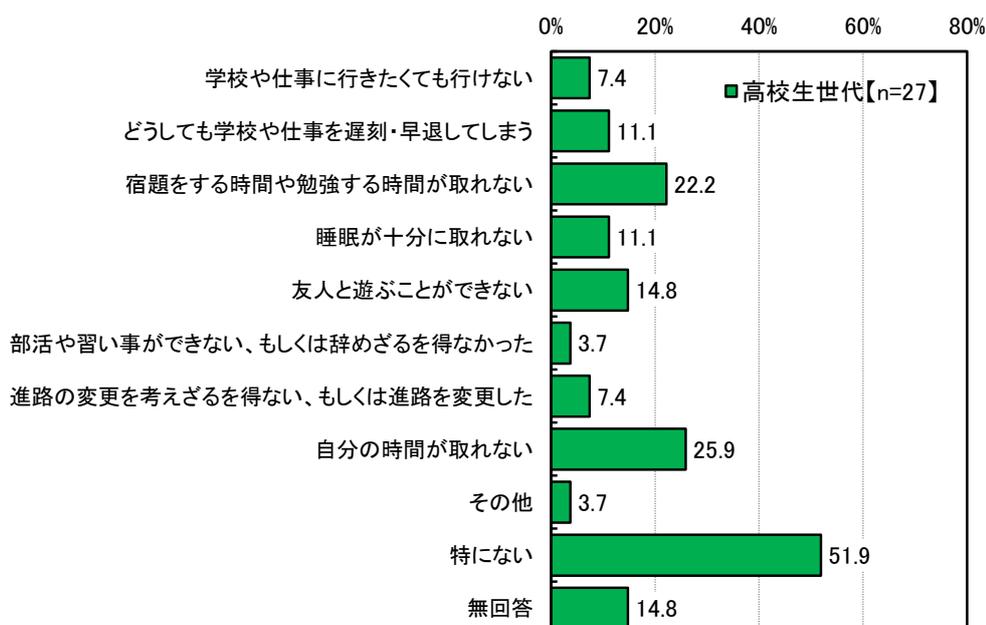
お世話をしているために、やりたいけれどできていないことについては、各世代「特  
にない」が5割以上となっているものの、その他に、「自分の時間が取れない」、「宿題  
など勉強する時間が取れない」などの回答もみられました。

国の調査とは選択肢などが異なるため、一概に比較することは難しいですが、国の  
調査結果と同様に「自分の時間が取れない」、「宿題など勉強する時間が取れない」が  
高く、類似した傾向であることが推察されます。

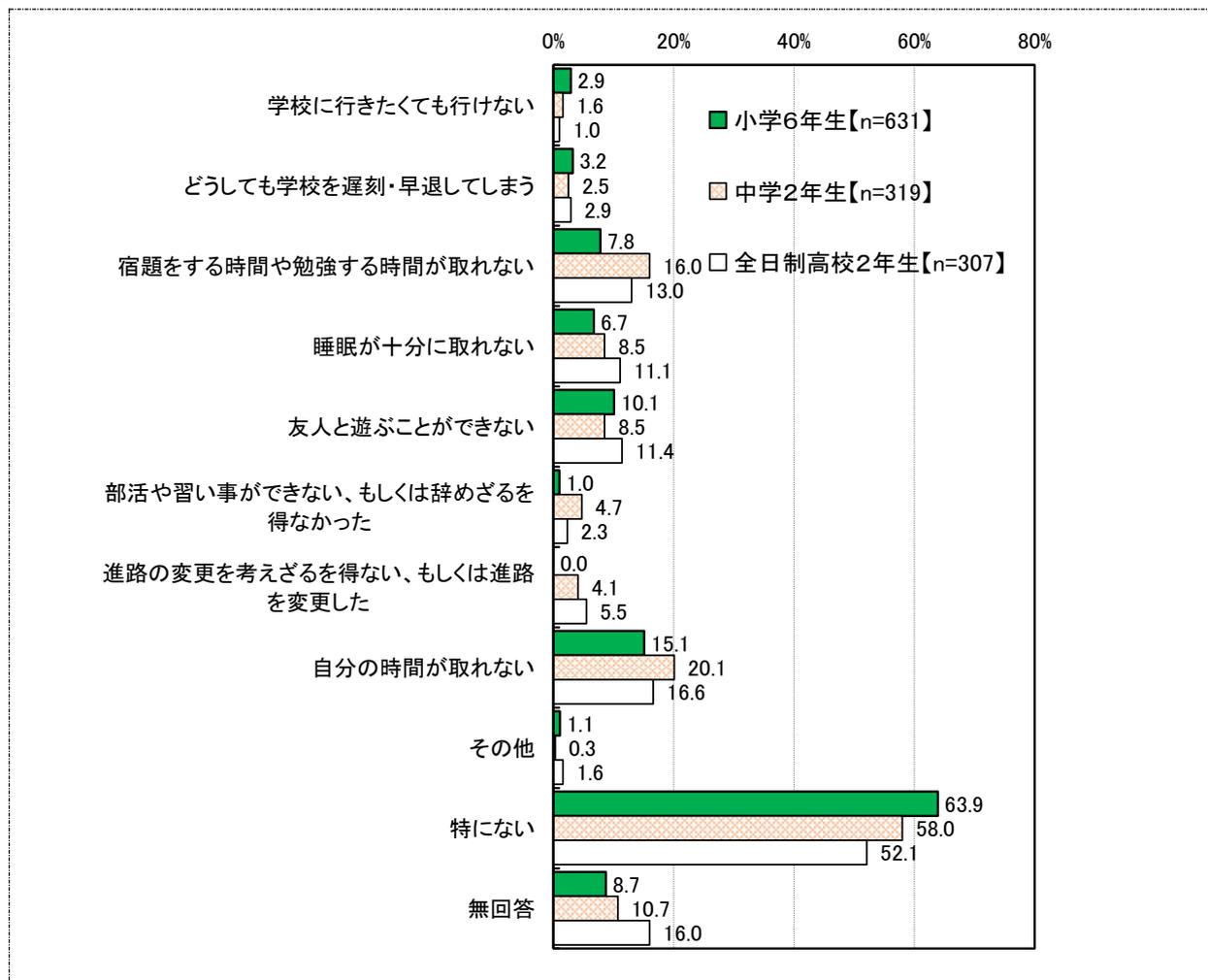
○お世話をしているために、やりたいけれどできていないこと(小学生・中学生)



○お世話をしているために、やりたいけれどできていないこと(高校生世代)



【参考 国調査 お世話をしているために、やりたいけれどできていないこと】

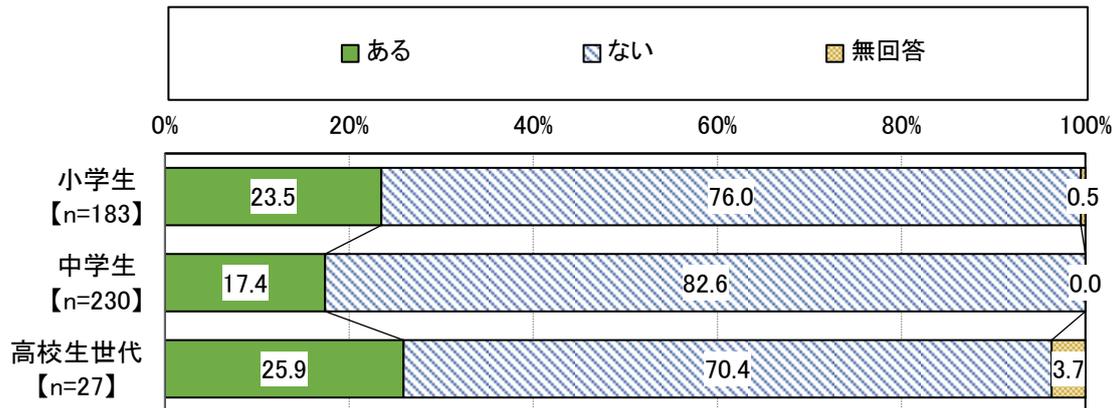


(5) お世話について相談した経験

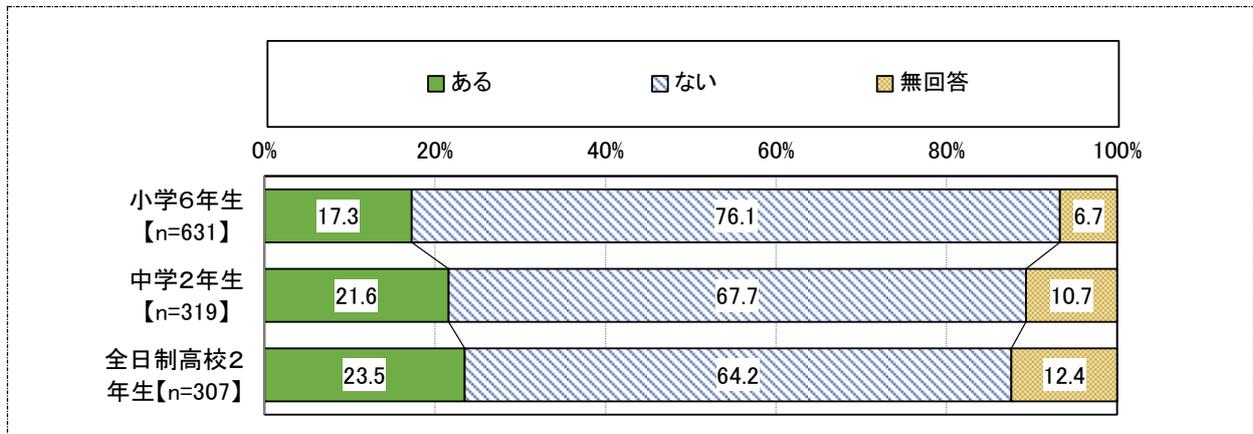
お世話について相談した経験は、各世代約2割が「ある」と回答した一方、7割以上が「ない」と回答しています。

国の調査とは有効回答数の規模などが異なるため、一概に比較することは難しいですが、国の調査結果と同様に約2割が「ある」と回答しており、類似した傾向であることが推察されます。

○お世話についての相談の有無



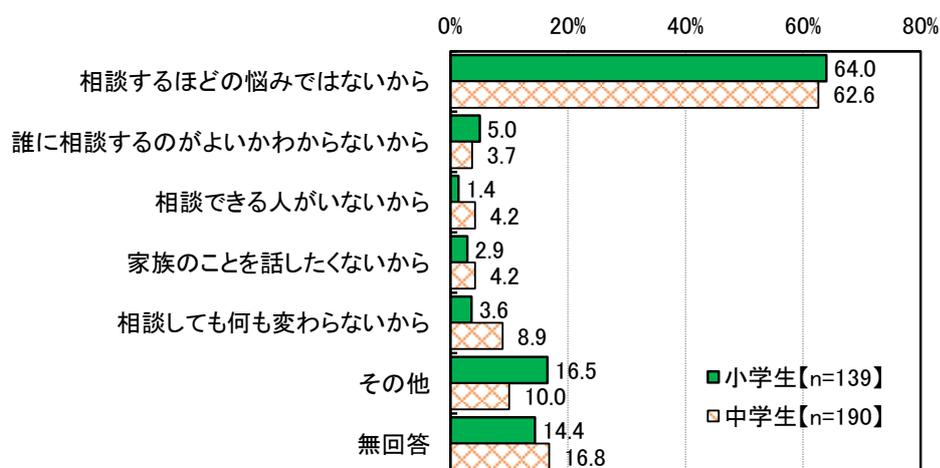
【参考 国調査 お世話について相談した経験】



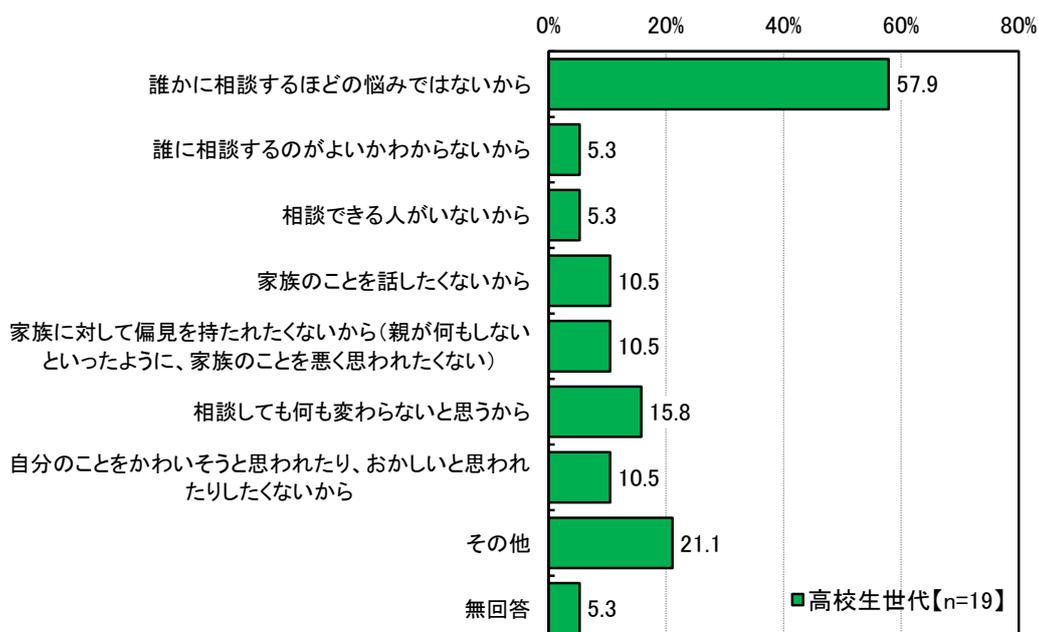
お世話について相談したことがない理由は、各世代「相談するほどの悩みではないから」が最も高くなっていますが、その他に、「誰に相談するのがよいかわからないから」、「家族のことを話したくないから」、「相談しても何も変わらないから」などの回答もみられました。

国の調査とは選択肢などが異なるため、一概に比較することは難しいですが、国の調査結果と同様に「誰かに相談するほどの悩みではないから」、「誰に相談するのがよいかわからないから」、「相談しても何も変わらないから」が高く、類似した傾向であることが推察されます。

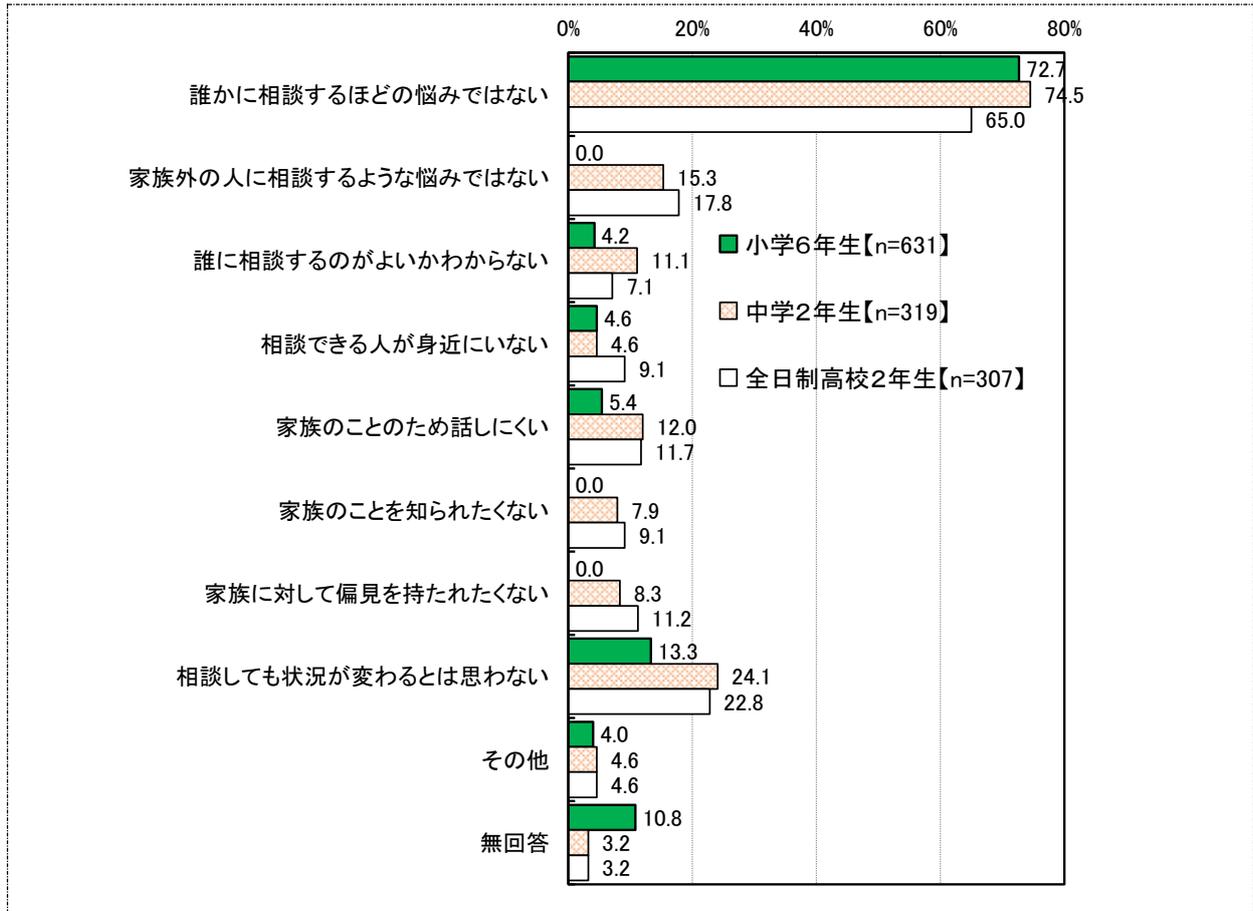
○お世話について相談したことがない理由(小学生・中学生)



○お世話について相談したことがない理由(高校生世代)



【参考 国調査 お世話について相談したことがない理由】

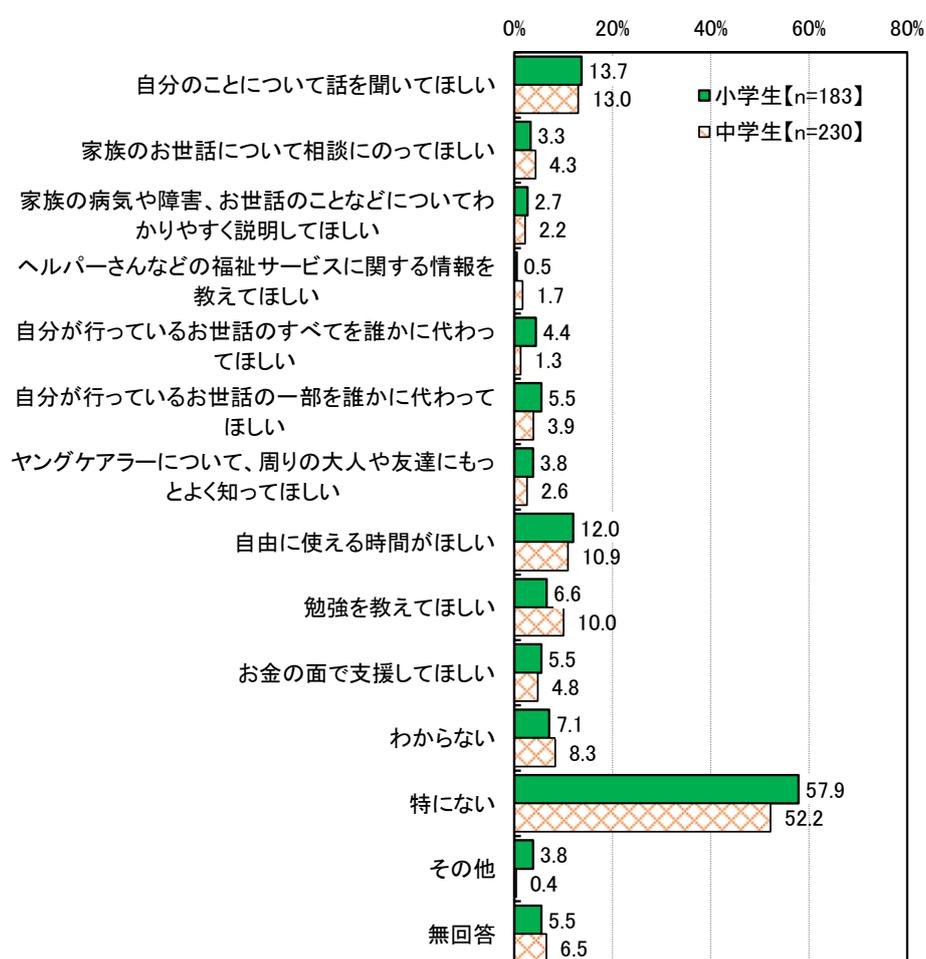


## (6) 学校や大人にしてもらいたいこと、必要な支援

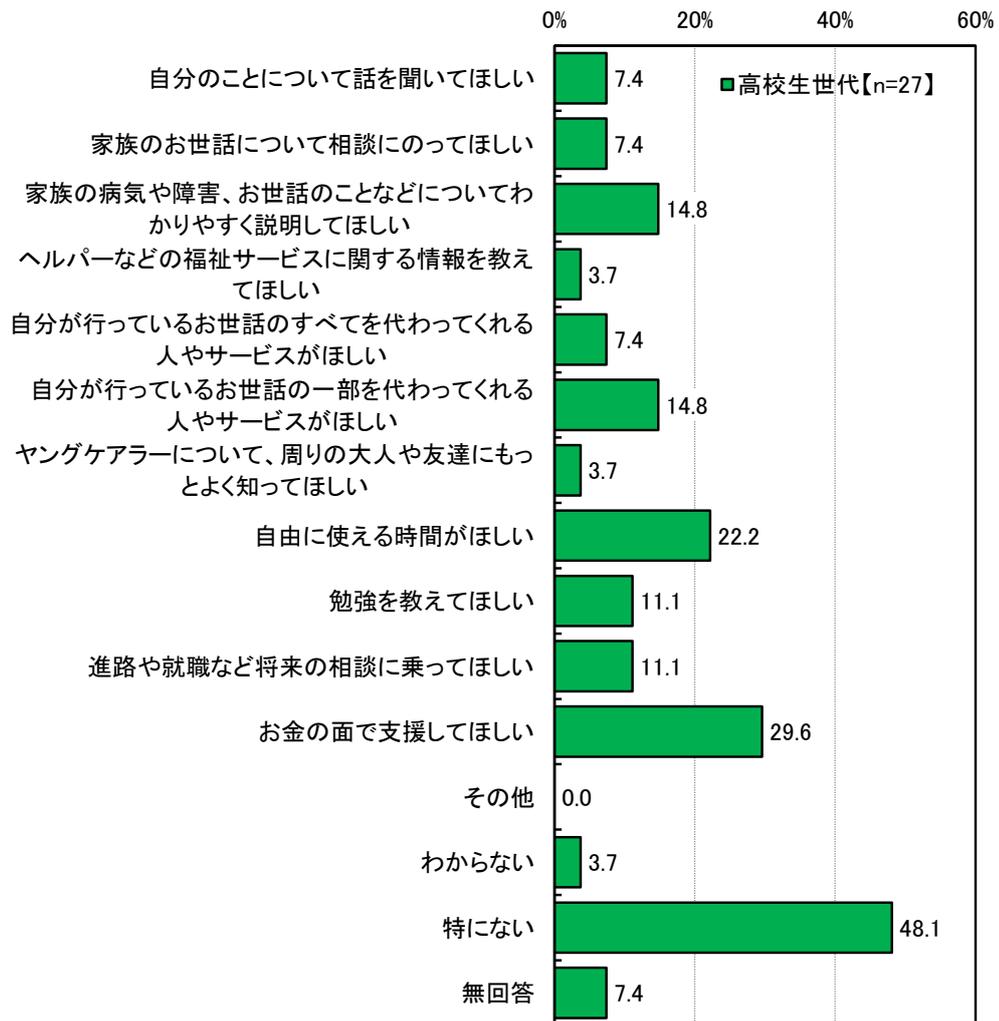
学校や大人にしてもらいたいこと、必要な支援については、各世代「特にない」が最も高く、次いで小学生・中学生では「自分のことについて話を聞いてほしい」が高くなっています。また、高校生世代では、「お金の面で支援してほしい」が高くなっています。

国の調査とは選択肢などが異なるため、一概に比較することは難しいですが、国の調査結果と同様に「自分のことについて話を聞いてほしい」、「自由に使える時間がほしい」が高く、類似した傾向であることが推察されます。

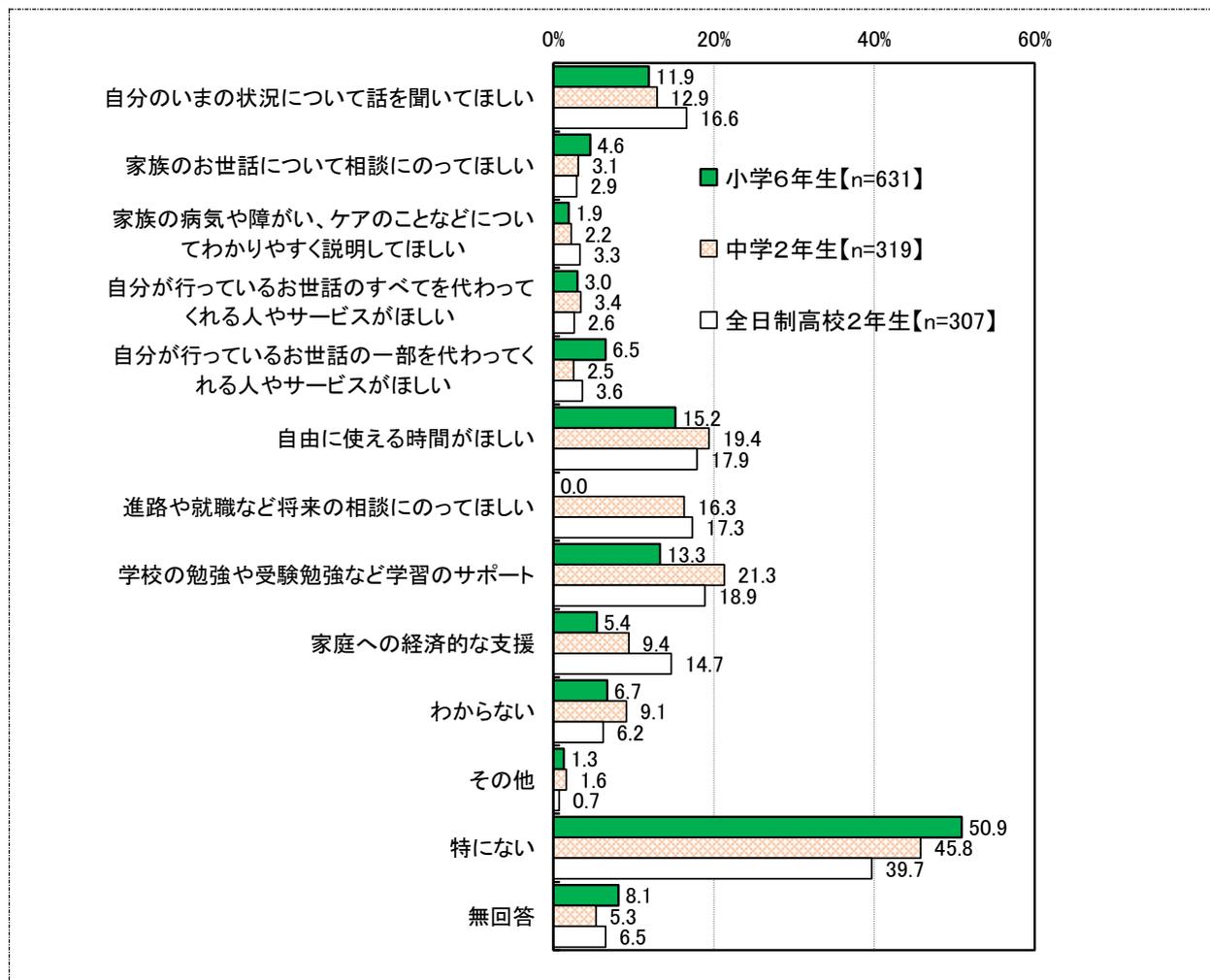
## ○学校や大人にしてもらいたいこと、必要な支援(小学生・中学生)



○学校や大人にしてもらいたいこと、必要な支援(高校生世代)



【参考 国調査 学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援】



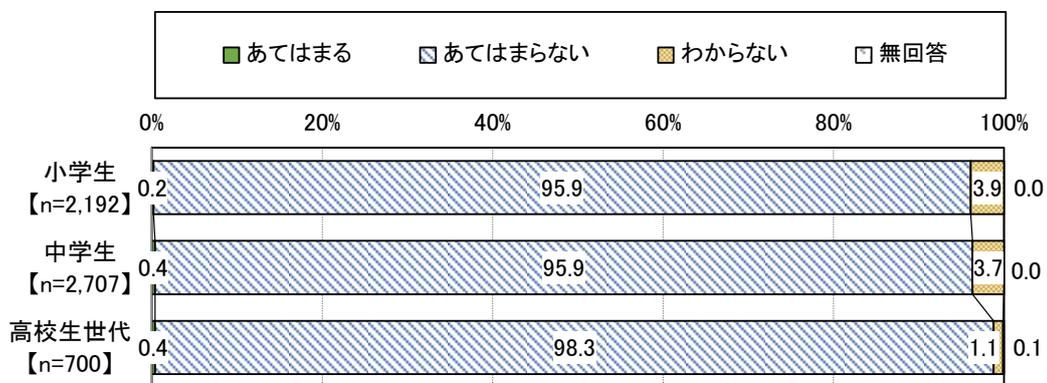
(7) ヤングケアラーの自覚

自身がヤングケアラーにあてはまると思うかについて聞いたところ、小学生で0.2%（5人）、中学生で0.4%（11人）、高校生世代で0.4%（3人）があてはまると回答しました。

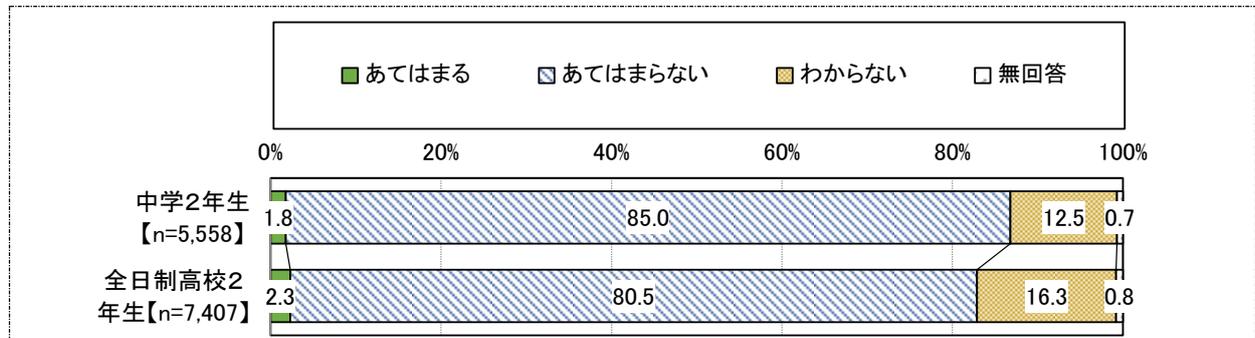
（「あてはまらない」には、お世話をしている家族の有無（問6）で、「いない」と回答した人を含みます。）

国の調査とは有効回答数の規模などが異なるため、一概に比較することは難しいですが、中学生・高校生世代は自身がヤングケアラーに「あてはまる」と回答した割合が、国の調査結果より低い傾向であることが推察されます。

○ヤングケアラーの自覚



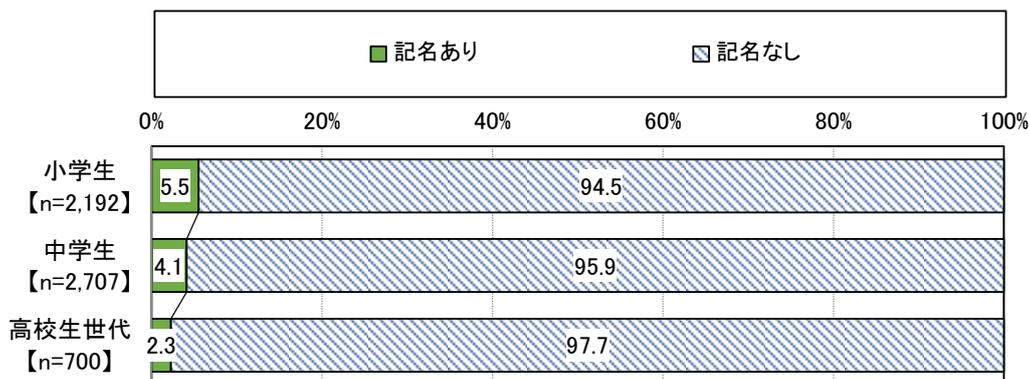
【参考 国調査 自分はヤングケアラーにあてはまると思うか】



## (8) 支援を求める記名の有無

アンケートの最後に、ヤングケアラーについて悩み、支援を求める子どもが記名できる設問を設けたところ、小学生で5.5%（121件）、中学生で4.1%（112件）、高校生世代で2.3%（16件）の記名がありました。

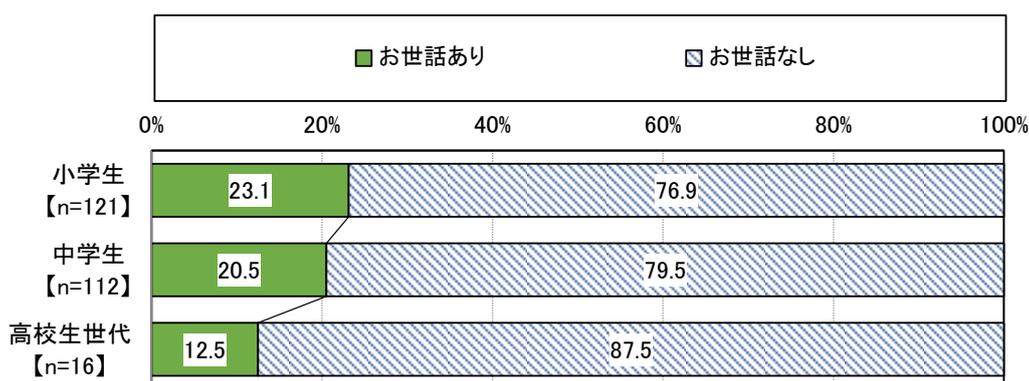
## ○支援を求める記名の有無



小学生・中学生については学校の協力を得ながら、子ども家庭支援センターが子どもたちの状況を確認したところ、誤って記名された回答も多く見られました。

上記の記名があった子どものうち、問6でお世話をしている家族が「いる」と回答した子どもは小学生で23.1%（28件）、中学生で20.5%（23件）、高校生世代で12.5%（2件）でした。

## ○支援を求める記名の有無



## 第2部 調査結果報告

記名があった子どもで、問6でお世話をしている家族が「いる」と回答している子どものうち、問18で自身がヤングケアラーに「あてはまる」と回答した子どもは小学生で1件、中学生で2件、高校生世代で1件でした。

	記名ありのうち、お世話ありの件数	内訳(ヤングケアラーの自覚の有無)		
		あてはまる	あてはまらない	わからない
小学生	28件	1件	10件	17件
中学生	23件	2件	6件	15件
高校生世代	2件	1件	0件	1件

アンケート終了後、子ども家庭支援センターでは学校の協力を得ながら順次記名があった子どもとの面談を開始しました。

2-(7)で示した、全体の回答数のうち自身がヤングケアラーに「あてはまる」と回答した件数と、2-(8)で示した、記名のあった子どものうち自身がヤングケアラーに「あてはまる」と回答した件数には乖離が見られますが、子ども家庭支援センターおよび学校では、記名が無かった子どもについてもアンケート内容から該当者を想定し、日々子どもたちと接するよう認識を共有しました。

報告書作成時点(令和5年2月28日)で、緊急性のある子どもはいませんでした。継続して子ども家庭支援センターと学校では子どもたちの話を聴き、見守りを続けています。

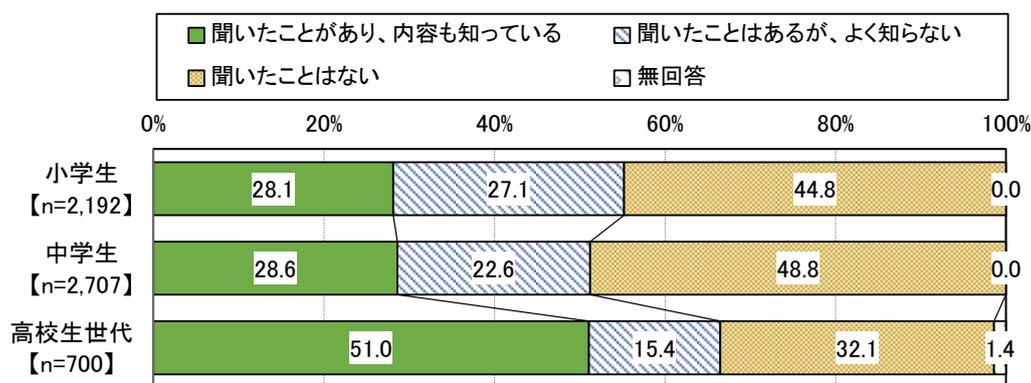
(9) ヤングケアラーの認知度

ヤングケアラーという言葉について、小学生・中学生では約3割が、高校生世代では約5割が「聞いたことがあり、内容も知っている」と回答しています。

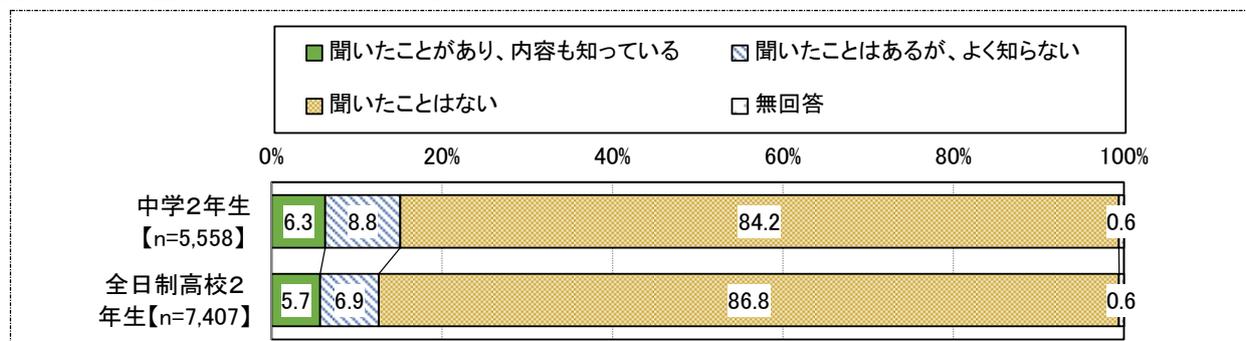
一方で、各世代3～5割程度が「聞いたことはない」と回答しています。

国の調査とは有効回答数の規模や調査時期などが異なるため、一概に比較することは難しいですが、ヤングケアラーという言葉「聞いたことがあり、内容も知っている」、「聞いたことはあるが、よく知らない」と回答した割合が、国の調査結果より高い傾向であることが推察されます。

○ヤングケアラーの認知度



【参考 国調査 ヤングケアラーの認知度】



## Ⅱ 今後の支援の方向性

### (1) 「ヤングケアラー」の正しい理解の促進と周知啓発

今回の調査では、各世代3～5割程度の子どもがヤングケアラーという言葉で「聞いたことはない」と回答しています。早期発見のためには、子ども自身が置かれた状況を認識することが大切であり、そのためにも、ヤングケアラーの正しい認識について広めていくこと、また、そのような状態に陥ったときでも、支援の手段があることについて、周知啓発をしていくことが重要です。

また、子どもの意見を受け止める大人もヤングケアラーについて正しい認識をする必要があることから、子どもと同様に、大人に対しても周知啓発をしていくことが重要となります。

### (2) 継続的に支援を行うための相談体制

多摩市では、すでに子ども家庭支援センターを窓口とし、ヤングケアラーに関する相談を受け付けていますが、各世代、「直接会って」相談したいという回答の割合が高かったことから、ヤングケアラーを含むさまざまな子どもたちの困難に対応できる人員の配置が必要であると思われます。

また、年齢に応じて徐々にケアの負担が増えることが想定されるため、継続的な切れ目のない支援に取り組むことが重要です。

加えて、対象者である子どもが、自発的に相談することができず、支援が届かないという課題があります。このため、専門職によるアウトリーチ型の取り組みを強化する必要があります。

### (3) 関係機関の連携した支援

今回の調査では、「お世話」について相談したことがない理由は、「相談するほどの悩みではないから」の割合が最も高くなっていますが、他には、「誰に相談するのがよいかわからないから」、「家族のことを話したくないから」、「相談しても何も変わらないから」などの回答がありました。

ヤングケアラーが家庭内のプライベートな問題であることから、支援が必要な状況にあっても表面化しにくい構造であることが指摘されています。

そのため、学校や地域等での気づきによる早期発見が重要であるという意識の醸成、また、子どもが助けを必要とする状態になったとき、福祉・教育・保健医療などの関係機関が連携して適切な支援に繋げることが重要です。

## 第 3 部 資料



# 第3部 資料

## 1 小学生保護者依頼文

多摩市児童青少年課

### 多摩市 子どもの生活実態に関するアンケート(ヤングケアラー実態調査) ご協力をお願い(小学生の保護者の皆様へ)

近年、子どもを取り巻く状況の一つとして「ヤングケアラー」が注目されています。厚生労働省や文部科学省をはじめ、全国の自治体でヤングケアラーに関する実態調査や支援に関する取り組みが進んでいるところです。(※「ヤングケアラー」について、裏面に説明がございますのでご確認ください。)

今回、多摩市では市内の公立小中学生および高校生世代の子どもを対象に、お世話をしている家族の有無や支援ニーズ等について実態を把握し、必要な支援策を検討するため、アンケートを実施することといたしました。(※このアンケートは学校を通じて行いますが、多摩市の児童青少年課が実施しているものです。)

回答の一つ一つが参考になるものであり、できるだけ多くのご意見をお聞かせいただいております。このアンケートは学校に協力いただき、お子様がタブレット端末を用いて、学校に在る間に回答することを想定しています。アンケートは基本的に無記名で行いますので、個人が特定されることはありません。また、回答しない場合でも、何らお子様の成績等には影響しません。回答する場合でも、無理のない範囲で答えていただくようお願いいたします。ただし、今すぐ「相談したい」、「支援してほしい」というお子様のために、最後に記名ができるようにしています。記名があったお子様には、多摩市(子ども家庭支援センター)と学校がお子様の話を行い、状況に応じてサービス等をご提案させていただきます。ご家庭支援センター)と学校がお子様の話を行い、状況に応じて管理いたしますのでご安心ください。アンケートへのご理解・ご協力をよろしく願います。

#### アンケートについて

- ・アンケートの回答期間は令和4年11月28日(月)～令和4年12月9日(金)です。
- ・アンケートにかかる時間は10分～15分です。
- ・本アンケートはお子様在学校に回答することを想定しています。ただし、学校の回答が難しい場合、お子様がお自宅に持ち帰り回答する場合がございます。その際はお子様ご自身が回答するようご配慮願います。
- ・WEBでの回答が難しい場合は紙の調査票で回答することもできますので、その場合は担任の先生に相談するようお子様にご案内します。
- ・主な調査項目は家族構成、家庭のお世話の状況、希望する支援などです。(詳細については下記のURLもしくはQRコードよりご確認ください。)
- ・アンケートの集計結果は多摩市のホームページなどで公表します。(個人情報はお公表しません)



調査票 URL: <https://wsurvey.jp/s.php?clear=1&a=tama-103> QRコード  
(※保護者の皆様向けのURLであるため、こちらから回答した内容は集計に反映されません。)

裏面もお読みください

#### 「ヤングケアラー」とは・・・

本来大人が担うと想定される家事や家族の世話を日常的に行っていることにより、子ども自身が行いたいことができないう状態にある子どもを指します。

#### <ヤングケアラーの例>

				
障がいや病気のある家族に代わり、買い物や掃除などの家事をこなす必要がある。	障がいや病気のある家族に代わり、買い物や掃除などの家事をこなす必要がある。	障がいや病気のある家族に代わり、買い物や掃除などの家事をこなす必要がある。	障がいや病気のある家族に代わり、買い物や掃除などの家事をこなす必要がある。	日本が第一言語ではない家族や障がいのある家族の対応が必要になる。
				
オンラインで学習する必要がある。	オンラインで学習する必要がある。	オンラインで学習する必要がある。	オンラインで学習する必要がある。	障がいや病気のある家族の入学や休学のサポートが必要になる。



厚生労働省ホームページ  
「子どもが子どもでいられる街に。」  
～みんなでヤングケアラーを支える社会を目指して～は  
こちらから <https://www.mhlw.go.jp/young-carer/>

※家事や家族のお世話をすることは悪いことではありませんが、毎日のように行うことで、やりたいことができなくなったり、また、そのことを誰にも相談できず、悩んだりしている子どもがいることがわかってきました。多摩市ではそのような子どもの実態を把握し、支援を届けたいと考えています。

#### お問い合わせ先

(アンケートの設問や内容について)  
多摩市役所 子ども青少年部 児童青少年課 子ども若者育成係  
電話:042-338-6958 月～金 8:30～17:15

(WEBアンケートの操作について)  
Next1株式会社 さいたま支店  
電話:048-667-8052 月～金 9:00～17:00

2 小学生本人依頼文

多摩市児童青少年課

多摩市 子どもの生活実態に関するアンケート(ヤングケアラー実態調査)  
ご協力をお願い(小学5・6年生の皆さまへ)

多摩市では、皆さんのふだんの生活について、アンケートを行うことにしました。できるだけ多くの意見を聞いて、どのような支援が必要か考えます。ぜひ、アンケートにご協力ください。  
このアンケートは学校を通じて、多摩市の児童青少年課が行うものです。アンケートの回答が学校の成績に影響することはありません。  
また、基本的に名前を書かず回答するアンケートなので、あなたの回答が誰かに知られることはありません。  
ただし、今すぐ相談したい、「何かしてほしい」という人のために、最後に名前を書けるようにしています。名前を書いてくれた人には、多摩市(子ども家庭支援センター職員)と学校が皆さんのお話を聞いて、大変に感じていることが減るようにしていきます。「話を聞いてほしい」人は、名前を書いてください。名前を書いていても個人情報情報は守られます。

回答方法

- 学校で回答する場合...タブレットを利用し下記のQRコードを読み込んで回答してください。
- 学校以外で回答する場合...スマートフォンやパソコンから下記のURLにアクセスするか、QRコードを読み込んで回答してください。
- 紙で回答したい場合...先生からアンケート用紙を受け取り、回答を記入後、封筒にアンケート用紙を入れ、そのままお近くの郵便ポストに入れてください。(切手はいりません)

回答用URL: <https://survey.jp/s.php?clear=1&a=tama-83> QRコード



回答の締め切り: 令和4年12月9日(金)

このアンケートに関するお知らせ

- アンケートにかかる時間は10分~15分です。
- ヤングケアラーの説明動画(約2分)を見てから回答してください。(上記のQRコードを読み込むと見られます)
- 答えにくい質問には回答しなくても大丈夫です。無理のない範囲で回答してください。
- 回答は選択肢を複数選ぶ場合と、具体的な内容を入力する場合があります。設問をよく読んでから回答してください。
- アンケートの集計結果は市のホームページなどで公表します。(個人情報には公表しません)

裏面もお読みください

「ヤングケアラー」とは...

本来大人がやるべき家事や家族のお世話を大人の代わりに子どもがいつも行っていることにより、子ども自身が行いたいことができず、いい状態にある子どものことです。

<ヤングケアラーの例>



イラスト提供: 東京児童福祉会

※家事や家族のお世話をすることは悪いことではありませんが、毎日のように行うことで、やりたいことができなくなったり、また、そのことを誰にも相談できず、悩んだりしている子どもがいることがわかってきました。多摩市ではそのような子どもの美態を把握し、支援を届けたいと考えています。

お問い合わせ先

(タブレットやスマートフォンなどで回答するときの操作のしかたについて)  
Next-株式会社 さいたま支店  
電話: 048-667-8052 月~金 9:00~17:00 ※学校でアンケートに回答する場合は、学校の先生に聞くことができます。  
(アンケートの設問や内容について)  
多摩市役所 子ども青少年部 児童青少年課 子ども・若者育成係  
電話: 042-338-6958 月~金 8:30~17:15

3 小学生調査票

多摩市 子どもの生活実態に関するアンケート (ヤングケアラー実態調査)  
(小学5・6年生用)

I. 基本情報

問1 あなたの学校を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

- 1. 多摩第一小学校
- 2. 多摩第二小学校
- 3. 多摩第三小学校
- 4. 蓮光寺小学校
- 5. 北諏訪小学校
- 6. 東寺方小学校
- 7. 南鶴牧小学校
- 8. 豊ヶ丘小学校
- 9. 西落合小学校
- 10. 大松台小学校
- 11. 諏訪小学校
- 12. 永山小学校
- 13. 瓜生小学校
- 14. 東落合小学校
- 15. 貝取小学校
- 16. 豊ヶ丘小学校
- 17. 愛和小学校

問2 あなたの学年を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

- 1. 小学5年生
- 2. 小学6年生

問3 あなたのクラスを教えてください。(あてはまる番号1つに○)

- 1. 1組
- 2. 2組
- 3. 3組
- 4. にし組
- 5. こま学級
- 6. ふたば学級
- 7. なかよし学級
- 8. わかくさ学級
- 9. さくら4組
- 10. みどり学級

問4 あなたの性別を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

- 1. 男
- 2. 女
- 3. その他
- 4. 答えたくない

問5 あなたの健康状態について教えてください。(あてはまる番号1つに○)

- 1. よい
- 2. まあよい
- 3. ふつう
- 4. あまりよくない
- 5. よくない

II. 家族や家族のことについて

問6 家族の中にあなたがお世話をしている人はいませんか。(ここでいう「お世話」とはふつう大人が行うような家事や家族のお世話を指します。)(あてはまる番号1つに○)

- 1. いる ⇒ 問7へ
- 2. いない ⇒ 問19へ (8ページ)

問7 問6で「1. いる」と答えた人にお聞きします。

あなたが一緒に住んでいるのは誰ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- 1. お母さん
- 2. お父さん
- 3. おばあさん
- 4. おじいさん
- 5. 兄 ( ) 人 ⇒ 問7-①へ
- 6. 姉 ( ) 人 ⇒ 問7-②へ
- 7. 弟 ( ) 人 ⇒ 問7-③へ
- 8. 妹 ( ) 人 ⇒ 問7-④へ
- 9. その他 ( )

問7-① 問7で「5. 兄」と答えた人にお聞きします。

あなたの兄についてあてはまるものすべて選んでください。(複数の兄がいる場合、すべての方について回答してください。)

- 1. 小学生
- 2. 中学生
- 3. 高校生世代 (16歳～18歳)
- 4. 大学生世代 (19歳～22歳)
- 5. 23歳以上

問7-② 問7で「6. 姉」と答えた人にお聞きします。

あなたの姉についてあてはまるものすべて選んでください。(複数の姉がいる場合、すべての方について回答してください。)

- 1. 小学生
- 2. 中学生
- 3. 高校生世代 (16歳～18歳)
- 4. 大学生世代 (19歳～22歳)
- 5. 23歳以上

問7-③ 問7で「7. 弟」と答えた人にお聞きします。

あなたの弟 についてはあてはまるものをすべて選んでください。(複数の弟がいる場合は、すべての方について回答してください。)

- 1. 幼稚園に通っている
- 2. 保育園に通っている
- 3. 小学生
- 4. 学習クラブを利用している
- 5. その他

問7-④ 問7で「8. 妹」と答えた人にお聞きします。

あなたの妹 についてはあてはまるものをすべて選んでください。(複数の妹がいる場合は、すべての方について回答してください。)

- 1. 幼稚園に通っている
- 2. 保育園に通っている
- 3. 小学生
- 4. 学習クラブを利用している
- 5. その他

問8 あなたは誰のお世話をしていますか。(あてはまる番号すべてに○)

- 1. お母さん ⇒ 問9-① 〇
- 2. お父さん ⇒ 問9-① 〇
- 3. おはあさん ⇒ 問9-② 〇
- 4. おじいさん ⇒ 問9-② 〇
- 5. 兄弟姉妹 ⇒ 問9-③ 〇
- 6. その他 ( ) ⇒ 問9-④ 〇

問9 あなたがお世話をしている人の状況について教えてください。

問9-① お母さんやお父さんのお世話をしているのはどのような理由ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

- 1. 高齢 (65歳以上)
- 2. 介護 (食事や身の回りのお世話) が必要
- 3. 認知症 (色んなことを忘れてしまう、わからなくなるなど)
- 4. 身体に障害がある (手や足が自由に動かない、目が見えない、耳が聞こえないなど)
- 5. 知的に障害がある (文章を理解することが苦手、計算が苦手など)
- 6. ころの病気が (気持ちが落ちこんでいて何もできないなど) ※そうかもしれないときもふくむ
- 7. 依存症 (お酒やギャンブルなどをやめられず、お金に困っている、家族が困っているなど) ※そうかもしれないときもふくむ
- 8. 「6.」や「7.」以外の病気
- 9. 日本語が苦手
- 10. その他 ( )
- 11. わからない

問9-② おはあさんやおじいさんのお世話をしているのはどのような理由ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

- 1. 高齢 (65歳以上)
- 2. 介護 (食事や身の回りのお世話) が必要
- 3. 認知症 (色んなことを忘れてしまう、わからなくなるなど)
- 4. 身体に障害がある (手や足が自由に動かない、目が見えない、耳が聞こえないなど)
- 5. 知的に障害がある (文章を理解することが苦手、計算が苦手など)
- 6. ころの病気が (気持ちが落ちこんでいて何もできないなど) ※そうかもしれないときもふくむ
- 7. 依存症 (お酒やギャンブルなどをやめられず、お金に困っている、家族が困っているなど) ※そうかもしれないときもふくむ
- 8. 「6.」や「7.」以外の病気
- 9. 日本語が苦手
- 10. その他 ( )
- 11. わからない

問9-③ 兄弟姉妹のお世話をしているのはどのような理由ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

- 1. 若い
- 2. 介護 (食事や身の回りのお世話) が必要
- 3. 身体に障害がある (手や足が自由に動かない、目が見えない、耳が聞こえないなど)
- 4. 知的に障害がある (文章を理解することが苦手、計算が苦手など)
- 5. 病気が
- 6. 日本語が苦手
- 7. その他 ( )
- 8. わからない

問9-④ その他の人のお世話をしているのはどのような理由ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

1. 高齢 (65歳以上)
2. 幼い
3. 介護 (食事や身の回りのお世話) が必要
4. 認知症 (色んなことを忘れてしまふ、わがまま) や「7.」や「8.」以外の病気が
5. 身体に障害がある (手や足が自由に動かない、目が見えにくい、耳が聞こえないなど)
6. 知的に障害がある (文章を理解することが苦手、計算が苦手など)
7. こころの病気 (気持ちが悪く落ちこんでいて何もできないなど) ※そうかもしれないときもふくむ
8. 依存症 (お酒やギャンブルなどをやめられず、お金に困っている、家族が困っているなど) ※そうかもしれないときもふくむ
9. 「7.」や「8.」以外の病気
10. 日本語が苦手
11. その他 ( )
12. わからない

問10 あなたはどのようなお世話をしていますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 家事 (食事の準備や掃除、洗濯)
2. 兄弟姉妹のお世話や送り迎え
3. 入浴やトイレのお世話
4. 買い物や散歩と一緒に歩く
5. 病院と一緒に歩く
6. 話を聞く
7. 見守り
8. 通訳 (日本語や手話など)
9. お金の管理
10. 薬の管理
11. その他 ( )

問11 あなたはお世話を誰と一緒にしていますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. いない
2. お母さん
3. お父さん
4. おばあさん
5. おじいさん
6. 兄弟姉妹
7. しんせきの人
8. 福祉サービス (ヘルパーさんなど) を利用
9. その他 ( )

5

問12 あなたはどのくらいお世話をしていますか。(あてはまる番号1つに○)

1. ほぼ毎日
2. 週に3～5日
3. 週に1～2日
4. 1か月に数日
5. その他 ( )

問13 あなたは1日何時間くらいお世話をしていますか。(日によって違う場合は、この1か月でいちばん長かった日の時間を教えてください)

- 1日 ( ) 時間くらい

問14 お世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 学校を休んでしまふ
2. 遅刻や早退をしてしまふ
3. 宿題など勉強する時間がない
4. 眠る時間がたりない
5. 友だちと遊ぶことができない
6. 習い事ができない
7. 自分の時間が取れない
8. その他 ( )
9. 特にない

問15 あなたはお世話をしている家族のことや、お世話を誰かに相談したことはありますか。(あてはまる番号1つに○)

1. ある ⇒ 問15-①へ
2. ない ⇒ 問15-②へ

問15-① 問15で「1. ある」と答えた人にお聞きします。相談した相手は誰ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 学校の先生 (保健室の先生以外)
2. 保健室の先生
3. スクールカウンセラー
4. スクールソーシャルワーカー
5. 家族 (お母さん、お父さん、おばあさん、おじいさん、兄弟姉妹)
6. しんせき (おじ、おばなど)
7. 友だち
8. 病院・医療・福祉サービスの人
9. 近所の人
10. SNS上での知り合い
11. その他 ( )

6

問18 あなた自身は「ヤングケアラー」にあてはまると思えますか。(あてはまる番号1つに○)

1. あてはまる ⇒ 問18-①へ      3. わからない  
2. あてはまらない

問18-① 問18で「1. あてはまる」と答えた人にお聞きします。

あなたは家族のお世話をすることにつらさを感じていますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 体力の面でつらい      4. 特につらさは感じていない  
2. 気持ちの面でつらい      5. その他( )  
3. 時間の余裕がない

問19 「ヤングケアラー」という言葉をこのアンケートをする前に聞いたことがありますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 聞いたことがあり、内容も知っている      3. 聞いたことはない  
2. 聞いたことはあるが、よく知らない

問20 ヤングケアラーのことで意見や感想、その他困っていることなどがあれば自由に書いてください。

最後に、ヤングケアラーについて悩んでいて、今すぐ「相談したい」、「何かしてほしい」人のみ、こちらにお名前を書いてください。

※こちらにお名前を書いた場合、多摩市と学校でお名前やアンケート内容を確認し、相談・支援を行うため、お話を漏かせても構いません。個人情報 は守られますので安心してください。

氏名： \_\_\_\_\_

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

問15-② 問15で「2. ない」と答えた人にお聞きします。

相談してない理由を教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 相談するほどの悩みではないから      4. 家族のことを話したくないから  
2. 誰に相談するのがよいかわからないから      5. 相談しても何も変わらないから  
3. 相談できる人がいないから      6. その他( )

問16 学校や周りの大人にしてもらいたいこと、お世話のことであつたらいいなと思っサボートは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 自分のことについて話を聞いてほしい )  
2. 家族のお世話について相談にのってほしい )  
3. 家族の病状や障害、お世話のことなどについてわかりやすく説明してほしい )  
4. ヘルパーさんなどの福祉サービスに関する情報を教えてほしい )  
5. 自分が行っているお世話をすべてを誰かに代わりに代わってほしい )  
6. 自分が行っているお世話を一部を誰かに代わってほしい )  
⇒具体的にどんなお世話、どんな時ですか )  
7. ヤングケアラーについて、周りの大人や友達にもっとよく知ってほしい )  
8. 自由に使える時間がほしい )  
9. 勉強を教えてほしい )  
10. お金の面で支援してほしい )  
11. わからない )  
12. 特にない )  
13. その他( )

問17 あなたはどのような方法で話を聞いたり相談に乗ってほしいですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 直接来て      4. 電子メール )  
2. 電話      5. その他( )  
3. SNS

4 中学生保護者依頼文

多摩市児童青少年課

多摩市 子どもの生活実態に関するアンケート(ヤングケアラー実態調査)  
ご協力のお願ひ(中学生の保護者の皆様へ)

近年、子どもを取り巻く状況の一つとして「ヤングケアラー」が注目されています。厚生労働省や文部科学省をはじめ、全国の自治体でヤングケアラーに関する実態調査や支援に関する取り組みが進んでいます。※「ヤングケアラー」について、裏面に説明がございまして、ご確認ください。(今回、多摩市では市内の公立小中学生および高校生世代の子どもを対象に、お世話をしている家族の有無や支援ニーズ等について実態を把握し、必要な支援策を検討するため、アンケートを実施することといたしました。)(※このアンケートは学校を通じて行いますが、多摩市の児童青少年課が実施しているものです。)

回答の一つ一つが参考になるものであり、できるだけ多くのご意見をお聞きしたいと考えています。このアンケートは学校に協力いただき、お子様がタブレット端末を用いて、学校にいる間に回答することを想定しています。アンケートは基本的に無記名で行いますので、個人が特定されることはありません。また、回答しない場合でも、何らお子様の成績等には影響しません。回答する場合でも、無理のない範囲で答えていただくようお願いいたします。ただし、今すぐ「相談したい」、「支援してほしい」というお子様のために、最後に記名ができるようにしています。記名があったお子様には、多摩市(子ども家庭支援センター)と学校がお子様の話を行い、状況に応じたサービス等をご提案させていただきます。アンケートへのご理解・ご協力をよろしくお願いします。

アンケートについて

- ・アンケートの回答期間は令和4年11月28日(月)～令和4年12月9日(金)です。
- ・アンケートにかかる時間は10分～15分です。
- ・本アンケートはお子様在学校にいる間に回答することを想定しています。ただし、学校での回答が難しい場合、お子様がご自宅に持ち帰り回答する場合がございます。その際はお子様ご自身が回答するようご配慮願います。
- ・WEBでの回答が難しい場合は紙の調査票で回答することもできますので、その場合は担任の先生に相談するようお子様にご案内します。
- ・主な調査項目は家族構成、家庭でのお世話の状況、希望する支援などです。(詳細については下記のURLもしくはQRコードよりご確認ください。)
- ・アンケートの集計結果は多摩市のホームページなどで公表します。(個人情報には公表しません)



調査票 URL: <https://survey.jp/s.php?clear=1&a=tama-104> QRコード  
 (※保護者の皆様向けのURLであるため、こちらから回答した内容は集計に反映されません。)

裏面もお読みください

「ヤングケアラー」とは…

本来大人が担うべき家事や家族の世話などを日常的に行っていることにより、子ども自身がやりにくいことができない状態にある子どものことを指します。

<ヤングケアラーの例>



イラスト: 東京都児童青少年課

厚生労働省ホームページ  
 「子どもが子どもでいられたる街に。」  
 ～みんながヤングケアラーを支える社会を目指して～は  
 こちらから <https://www.mhlw.go.jp/young-carer/>



※家事や家族のお世話をすることは悪いことではありませんが、毎日のように行うことで、やりたいことができなくなったり、また、そのことを誰にも相談できず、悩んだりしている子どもがいることがわかってきました。多摩市ではそのような子どもの実態を把握し、支援を届けたいと考えています。

**お問い合わせ先**  
 (アンケートの設問や内容について)  
 多摩市役所 子ども青少年部 児童青少年課 子ども・若者育成係  
 電話:042-338-6958 月～金 8:30～17:15  
 (WEBアンケートの操作について)  
 Nexter株式会社 さいたま支店  
 電話:048-667-8052 月～金 9:00～17:00

5 中学生本人依頼文

多摩市児童青少年課

多摩市 子どもの生活実態に関するアンケート(ヤングケアラー実態調査)  
ご協力をお願い(中学生の皆様へ)

多摩市では、皆さんのふだんの生活について、アンケートを行うことにしました。できるだけ多くの意見を聴いて、どのような支援が必要か考えます。ぜひ、アンケートにご協力ください。  
このアンケートは学校を通じて、多摩市の児童青少年課が行うものです。アンケートの回答が学校の成績に影響することはありません。  
また、基本的に名前を書かずに回答するアンケートなので、あなたの回答が誰かに知られることはありません。

ただし、必ず「相談したい」、「支援してほしい」という人のために、最後に名前を書けるようにしています。名前を書いてくれた人には、多摩市(子ども家庭支援センター職員)と学校が皆さんのお話を聴いて、大変に感じていることが減るようにしていきます。「話を聴いてほしい」人は、名前を書いてください。名前を書いていても個人情報情報は守られます。

回答方法

- ・学校で回答する場合…タブレットを利用し下記のQRコードを読み込んで回答してください。
- ・学校以外で回答する場合…スマートフォンやパソコンから下記のURLにアクセスするか、QRコードを読み込んで回答してください。
- ・紙で回答したい場合…先生からアンケート用紙を受け取り、回答を記入後、封筒にアンケート用紙を入れ、そのままお近くの郵便ポストに入れてください。(切手はいりません)

回答用URL:<https://survey.jp/s.php?clear=1&a=tama-84> QRコード



回答の締め切り:令和4年12月9日(金)

このアンケートに関するお知らせ

- ・アンケートにかかる時間は10分~15分です。
- ・ヤングケアラーの説明動画(約2分)を見てから回答してください。(上記のQRコードを読み込むと見られます)
- ・答えにくい質問には回答しなくても大丈夫です。無理のない範囲で回答してください。
- ・回答は選択肢を越える場合と、具体的な内容を記入する場合があります。設問をよく読んでから回答してください。
- ・アンケートの集計結果は市のホームページなどで公表します。(個人情報は公表しません)

質問も読みください

「ヤングケアラー」とは…

本来大人がやるべき家事や家族のお世話を大人の代わりに子どもがいつも行っていることにより、子ども自身が行いたいことができず、状態にある子どものことです。

<ヤングケアラーの例>



イラスト提供:厚生労働省

※家事や家族のお世話をすることは悪いことではありませんが、毎日のように行うことで、やりたいことができなかつたり、また、そのことを誰にも相談できず、縮んだりしている子どもがいることがわかっています。多摩市ではそのような子どもたちの実態を把握し、支援を届けたいと考えています。

お問い合わせ先

(タブレットやスマートフォンなどで回答するときの操作のしかたについて)  
Next-1株式会社 サイバ支店  
電話:048-667-8052 月~金 9:00~17:00 学校の先生に聞くことができます。

(アンケートの設問や内容について)  
多摩市役所 子ども青少年部 児童青少年課 子ども・若者育成係  
電話:042-338-6958 月~金 8:30~17:15

6 中学生調査票

多摩市 子どもの生活実態に関するアンケート (ヤングケアラー-実態調査)  
 (中学生用)

I. 基本情報

問1 あなたの学校を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

- 1. 多摩中学校
- 2. 真鍮岩中学校
- 3. 和田中学校
- 4. 諏訪中学校
- 5. 聖ヶ丘中学校
- 6. 鶴牧中学校
- 7. 多摩永山中学校
- 8. 総合中学校
- 9. 青陵中学校

問2 あなたの学年を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

- 1. 中学1年生
- 2. 中学2年生
- 3. 中学3年生

問3 あなたのクラスを教えてください。(あてはまる番号1つに○)

- 1. 1組
- 2. 2組
- 3. 3組
- 4. 4組
- 5. 5組
- 6. A組
- 7. B組
- 8. C組
- 9. D組
- 10. E組
- 11. F組

問4 あなたの性別を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

- 1. 男
- 2. 女
- 3. その他
- 4. 答えたくない

問5 あなたの趣味状態について教えてください。(あてはまる番号1つに○)

- 1. よい
- 2. まあよい
- 3. ぶつう
- 4. あまりよくない
- 5. よくない

II. 家族や家族のことについて

問6 家族の中にあなたがお世話をしている人はいませんか。(ここでいう「お世話」とはふつうに人が行うような家事や家族のお世話のことを指します。)(あてはまる番号1つに○)

- 1. いる ⇒ 問7へ
- 2. いない ⇒ 問19へ (8ページ)

問7 問6で「1. いる」と答えた人にお聞きします。

あなたが一緒に住んでいるのは誰ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- 1. お母さん
- 2. お父さん
- 3. おばあさん
- 4. おじいさん
- 5. 兄 ( ) 人 ⇒ 問7-①へ
- 6. 姉 ( ) 人 ⇒ 問7-②へ
- 7. 弟 ( ) 人 ⇒ 問7-③へ
- 8. 妹 ( ) 人 ⇒ 問7-④へ
- 9. その他 ( )

問7-① 問7で「5. 兄」と答えた人にお聞きします。

あなたの兄についてあてはまるものをすべて選んでください。(複数の兄がいる場合、すべての方について回答してください。)

- 1. 中学生
- 2. 高校生世代 (16歳～18歳)
- 3. 大学生世代 (19歳～22歳)
- 4. 23歳以上

問7-② 問7で「6. 姉」と答えた人にお聞きします。

あなたの姉についてあてはまるものをすべて選んでください。(複数の姉がいる場合、すべての方について回答してください。)

- 1. 中学生
- 2. 高校生世代 (16歳～18歳)
- 3. 大学生世代 (19歳～22歳)
- 4. 23歳以上

問7-③ 問7で「7. 弟」と答えた人にお聞きします。

あなたの弟についてあてはまるものをすべて選んでください。(複数の弟がいる場合、すべての方について回答してください。)

- 1. 幼稚園に通っている
- 2. 保育園に通っている
- 3. 小学生
- 4. 中学生
- 5. 学習クラブを利用している
- 6. その他

問7-4 問7で「8. 妹」と答えた人にお聞きします。

あなたの妹についてあてはまるものをすべて選んでください。(複数の妹がいる場合、すべての方について回答してください。)

- 1. 幼稚園に通っている
- 2. 保育園に通っている
- 3. 小学生
- 4. 中学生
- 5. 学習クラブを利用している
- 6. その他

問8 あなたは誰のお世話をしていますか。(あてはまる番号すべてに○)

- 1. お母さん ⇒ 問9-1) 〇
- 2. お父さん ⇒ 問9-1) 〇
- 3. おばあさん ⇒ 問9-2) 〇
- 4. おじいさん ⇒ 問9-2) 〇
- 5. 兄弟姉妹 ⇒ 問9-3) 〇
- 6. その他 ( ) ⇒ 問9-4) 〇

問9 あなたがお世話をしている人の状況について教えてください。

問9-1) お母さんやお父さんのお世話をしているのはどのような理由ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

- 1. 高齢 (65歳以上)
- 2. 介護 (食事や身の回りのお世話) が必要
- 3. 認知症 (色んなことを忘れてしまう、わからないことなど)
- 4. 身体に障害がある (手や足が自由に動かない、目が見えない、耳が聞こえないなど)
- 5. 知的に障害がある (文章を理解することが苦手、計算が苦手など)
- 6. ころころの病気 (気持ちが落ちこんでいて何もできないなど) ※そうかもしれないときもふくむ
- 7. 依存症 (お酒やギャンブルなどをやめられず、お金に困っている、家族が困っているなど) ※そうかもしれないときもふくむ
- 8. 「6.」や「7.」以外の病気
- 9. 日本語が苦手
- 10. その他 ( )
- 11. わからない

問9-2) おばあさんやおじいさんのお世話をしているのはどのような理由ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

- 1. 高齢 (65歳以上)
- 2. 介護 (食事や身の回りのお世話) が必要
- 3. 認知症 (色んなことを忘れてしまう、わからないことなど)
- 4. 身体に障害がある (手や足が自由に動かない、目が見えない、耳が聞こえないなど)
- 5. 知的に障害がある (文章を理解することが苦手、計算が苦手など)
- 6. ころころの病気 (気持ちが落ちこんでいて何もできないなど) ※そうかもしれないときもふくむ
- 7. 依存症 (お酒やギャンブルなどをやめられず、お金に困っている、家族が困っているなど) ※そうかもしれないときもふくむ
- 8. 「6.」や「7.」以外の病気
- 9. 日本語が苦手
- 10. その他 ( )
- 11. わからない

問9-3) 兄弟姉妹のお世話をしているのはどのような理由ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

- 1. 若い
- 2. 介護 (食事や身の回りのお世話) が必要
- 3. 身体に障害がある (手や足が自由に動かない、目が見えない、耳が聞こえないなど)
- 4. 知的に障害がある (文章を理解することが苦手、計算が苦手など)
- 5. 病気
- 6. 日本語が苦手
- 7. その他 ( )
- 8. わからない

問9-④ その他の人のお世話をしているのはどのような理由ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

1. 高齢 (65歳以上)
2. 若い
3. 介護 (食事や身の回りのお世話) が必要
4. 認知症 (色んなことを忘れてしまう、わがまま) や「7.」や「8.」以外の病気からなくなるなど
5. 身体に障害がある (手や足が自由に動かない、目が見えにくい、耳が聞こえないなど)
6. 知的に障害がある (文章を理解することが苦手、計算が苦手など)
7. こころの病気 (気持ちが悪く落ちこんでいて何もできないなど) ※そうかもしれないときもふくむ
8. 依存症 (お酒やギャンブルなどをやめられず、お金に困っている、家族が困っているなど) ※そうかもしれないときもふくむ
9. 「7.」や「8.」以外の病気
10. 日本語が苦手
11. その他 ( )
12. わからない

問10 あなたはどのようなお世話をしていますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 家事 (食事の準備や掃除、洗濯)
2. 兄弟姉妹のお世話や送り迎え
3. 入浴やトイレのお世話
4. 買い物や散歩と一緒に歩く
5. 病院と一緒に歩く
6. 話を聞く
7. 見守り
8. 通訳 (日本語や手話など)
9. お金の管理
10. 薬の管理
11. その他 ( )

問11 あなたはお世話を誰と一緒にしていますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. いない
2. お母さん
3. お父さん
4. おばあさん
5. おじいさん
6. 兄弟姉妹
7. しんせきの人
8. 福祉サービス (ヘルパーさんなど) を利用
9. その他 ( )

5

問12 あなたはどのくらいお世話をしていますか。(あてはまる番号1つに○)

1. ほぼ毎日
2. 週に3～5日
3. 週に1～2日
4. 1か月に数日
5. その他 ( )

問13 あなたは1日何時間くらいお世話をしていますか。(日によって違う場合は、この1か月でいちばん長かった日の時間を教えてください)

1日 ( ) 時間くらい

問14 お世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。

(あてはまる番号すべてに○)

1. 学校を休んでしまう
2. 遅刻や早退をしてしまう
3. 宿題など勉強する時間がない
4. 眠る時間がたりない
5. 友だちと遊ぶことができない
6. 習い事ができない
7. 自分の時間が取れない
8. その他 ( )
9. 特にない

問15 あなたはお世話をしている家族のことや、お世話を誰かに相談したことはありますか。(あてはまる番号1つに○)

1. ある ⇒ 問15-①へ
2. ない ⇒ 問15-②へ

問15-① 問15で「1. ある」と答えた人にお聞きします。

相談した相手は誰ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 学校の先生 (保健室の先生以外)
2. 保健室の先生
3. スクールカウンセラー
4. スクールソーシャルワーカー
5. 家族 (お母さん、お父さん、おばあさん、おじいさん、兄弟姉妹)
6. しんせき (おじ、おばなど)
7. 友だち
8. 病院・医療・福祉サービスの人
9. 近所の人
10. SNS上での知り合い
11. その他 ( )

6

問18 あなた自身は「ヤングケアラー」にあてはまると思いますか。(あてはまる番号1つに○)

1. あてはまる ⇒ 問18-①へ      3. わからない  
2. あてはまらない

問18-① 問18で「1. あてはまる」と答えた人にお聞きします。

あなたは家族のお世話をすることにつらさを感じていますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 体力の面でつらい      4. 特につらさは感じていない  
2. 気持ちの面でつらい      5. その他( )  
3. 時間の余裕がない

問19 「ヤングケアラー」という言葉をこのアンケートをする前に聞いたことがありますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 聞いたことがあり、内容も知っている      3. 聞いたことはない  
2. 聞いたことはあるが、よく知らない

問20 ヤングケアラーのことで意見や感想、その他困っていることなどがあれば自由に書いてください。

最後に、ヤングケアラーについて悩んでいて、今すぐ「相談したい」、「何かしてほしい」人のみ、こちらにお名前を書き添えてください。  
※こちらにお名前を書いた場合、多摩市と学校でお名前やアンケート内容を確認し、相談・支援を行うため、お話を漏らしてしまいます。個人情報守られますので安心してください。

氏名： \_\_\_\_\_

アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。

問15-② 問15で「2. ない」と答えた人にお聞きします。

相談してない理由を教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 相談するほどの悩みではないから      4. 家族のことを話したくないから  
2. 誰に相談するのがよいかわからないから      5. 相談しても何も変わらないから  
3. 相談できる人がいないから      6. その他( )

問16 学校や周りの大人にしてみたいこと、お世話のことであつたらいいなと思つたサポートは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 自分のことについて話を聞いてほしい )  
2. 家族のお世話について相談にのってほしい )  
3. 家族の病気や障害、お世話のことなどについてわかりやすく説明してほしい )  
4. ヘルパーさんなどの福祉サービスに関する情報を教えてほしい )  
5. 自分が行っているお世話のすべてを誰かに代わりに代わってほしい )  
6. 自分が行っているお世話の一部を誰かに代わってほしい )  
⇒具体的にどんなお世話、どんな時ですか )  
7. ヤングケアラーについて、周りの大人や友達にもっとよく知ってほしい )  
8. 自由に使える時間がほしい )  
9. 勉強を教えてほしい )  
10. お金の面で支援してほしい )  
11. わからない )  
12. 特になし )  
13. その他( )

問17 あなたはどのような方法で話を聞いたり相談に乗ってほしいですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 直接会って      4. 電子メール )  
2. 電話      5. その他( )  
3. SNS

7 高校生世代保護者依頼文

多摩市児童青少年課

多摩市 子どもの生活実態に関するアンケート(ヤングケアラー実態調査)  
ご協力をお願い(高校生世代の保護者の皆様へ)

近年、子どもを取り巻く状況の一つとして「ヤングケアラー」が注目されています。厚生労働省や文部科学省をはじめ、全国の自治体でヤングケアラーに関する実態調査や支援に関する取り組みが進んでいるところです。(※「ヤングケアラー」について、裏面に説明がございまして、ご確認ください。)

今回、多摩市では市内の公立小中学生および高校生世代を対象に、お世話をしている家族の有無や支援ニーズ等について実態を把握し、必要な支援策を検討するため、アンケートを実施することといたしました。(※このアンケートは多摩市の児童青少年課が実施しているものです。)

回答の一つ一つが参考になるものであり、できるだけ多くのご意見をお聞かせいただくと考えています。このアンケートは基本的に無記名で行いますので、個人が特定されることはありません。また、無理のない範囲で答えていただくようお願いいたします。ただし、今すぐ「相談したい」、「支援してほしい」というお子様のために、最後に氏名、住所、電話番号を記入できるようにいたします。記名があったお子様には、多摩市子ども家庭支援センターがお子様の話を伺い、状況に応じてサービス等をご提案させていただきます。とがあります。記名があった場合でも個人情報情報は適切に管理いたしますのでご安心ください。アンケートへのご理解、ご協力をよろしく願います。

アンケートについて

- ・アンケートの回答期間は令和4年11月28日(月)～令和4年12月16日(金)です。
- ・アンケートにかかる時間は10分～15分です。
- ・本アンケートはお子様ご自身が回答するようご配慮願います。
- ・WEBもしくは紙の調査票どちらから回答するようお子様にご案内しています。
- ・主な調査項目は家族構成、家庭でのお世話の状況、希望する支援などです。(詳細については下記のURLもしくはQRコードよりご確認ください。)
- ・アンケートの集計結果は市のホームページなどで公表します。(個人情報は公表しません)



調査票 URL: <https://survey.jp/s.php?clear=1&o=tama-108> QRコード  
(※保護者の皆様向けのURLであるため、こちらから回答しても集計には反映されません。)

裏面もお読みください

「ヤングケアラー」とは…

本来大人が担うと想定される家事や家族の世話を日常的に行っていることにより、子ども自身がやっていたことができない状態にある子どものことを指します。

<ヤングケアラーの例>

厚生労働省ホームページ  
「子どもが子どもでいられたる街に。」  
～みんながヤングケアラーを支える社会を目指して～は  
こちらから <https://www.mhlw.go.jp/young-carer/>

※家事や家族のお世話をすることは悪いことではありませんが、毎日のように行うことで、やりたいことができなくなったり、また、そのことを誰にも相談できず、悩んだりしている子どももいます。多摩市ではそのような子どもの実態を把握し、支援を届けたいと考えています。

お問い合わせ先

(アンケートの設問や内容について)  
多摩市役所 子ども青少年部 児童青少年課 子ども・若者成係  
電話:042-338-6958 月～金 8:30～17:15  
(WEBアンケートの操作について)  
Next-I株式会社 さいたま支店  
電話:048-667-8052 月～金 9:00～17:00

8 高校生世代本人依頼文

多摩市児童青少年課

多摩市 子どもの生活実態に関するアンケート(ヤングケアラー実態調査)  
ご協力をお願い(高校生世代の皆様へ)

多摩市では、皆さんの普段の生活実態から、ヤングケアラーについてアンケートを行うことになりました。できるだけ多くの意見を聴いて、どのような支援が必要か考えます。ぜひ、アンケートにご協力ください。

このアンケートは、多摩市の児童青少年課が行うものです。

基本的に名前を書かずに回答するアンケートなので、あなたの回答が誰かに知られることはありません。ただし、今すぐ「相談したい」、「支援してほしい」という人のために、最後に名前、住所、電話番号を書けるようにしています。名前、住所、電話番号を書いてくれた人には、多摩市の子ども家庭支援センター編入が皆さんのお話を聴いて、相談、支援を行います。相談、支援を希望する人は、名前、住所、電話番号を書いてください。書いていただいた個人情報は適切に管理いたします。

回答方法

下記のどちらかをお選びください。両方回答すると、正確な調査ができなくなるため、どちらか一つをお選びください。

WEBで回答する場合・・・スマートフォンやパソコンから下記のURLにアクセスするか、QRコードを読み込んで回答してください。

紙で回答する場合・・・同封している紙のアンケート用紙に回答を記入後、返信用封筒にアンケート用紙を入れ、そのままお近くの郵便ポストに入れてください。(切手はいりません)

回答用URL: <https://survey.jp/s.php?clear=1&a=tama-85> QRコード



回答・郵送の締め切り: 令和4年12月16日(金)

このアンケートに関するお知らせ

- ・アンケートにかかる時間は10分～15分です。
- ・ヤングケアラーの説明動画(約2分)を見てから回答してください。(上記のQRコードを読み込むと見られます)
- ・答えにくい質問には回答しなくても大丈夫です。無理のない範囲で回答してください。
- ・回答は選択肢を違ふ場合と、具体的な内容を入力する場合があります。設問をよく読んでから回答してください。
- ・アンケートの集計結果は市のホームページなどで公表します。(個人情報は公表しません)

裏面もお読みください

「ヤングケアラー」とは・・・

本来大人が担うと想定される家事や家族のお世話などを日常的に行っていることにより、子ども自身がやりたいことができず、状態にある子どものこと。

<ヤングケアラーの例>



イラスト提供: 東京都福祉局

※家事や家族のお世話をすることは悪いことではありませんが、毎日のように行うことで、やりたいことができなくなったり、また、そのことを誰にも相談できず、悩んだりしている子どもがいることがわかってきました。多摩市ではそのような子どもたちの実態を把握し、支援を届けたいと考えています。

お問い合わせ先

(WEB アンケートの操作について)  
Next-1株式会社 さいたま支店  
電話: 048-667-8052 月～金 9:00～17:00

(アンケートの設問や内容について)  
多摩市役所 子ども青少年部 児童青少年課 子ども・若者育成係  
電話: 042-338-6958 月～金 8:30～17:15

9 高校生世代調査票

多摩市 子どもの生活実態に関するアンケート (ヤングケアラー実態調査)  
(高校生世代用)

I. 基本情報

問1 あなたが住んでいる地区を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

- |        |        |         |         |         |
|--------|--------|---------|---------|---------|
| 1. 愛宕  | 6. 徳木田 | 11. 関戸  | 16. 東寺方 | 21. 蓮光寺 |
| 2. 一ノ宮 | 7. 乙田  | 12. 鶴牧  | 17. 聖ヶ丘 | 22. 和田  |
| 3. 落合  | 8. 桜ヶ丘 | 13. 聖ヶ丘 | 18. 馬引沢 |         |
| 4. 落川  | 9. 山王下 | 14. 中沢  | 19. 南野  |         |
| 5. 貝取  | 10. 識訪 | 15. 氷山  | 20. 白草  |         |

問2 あなたの年齢を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

- |        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 15歳 | 2. 16歳 | 3. 17歳 | 4. 18歳 |
|--------|--------|--------|--------|

問3 あなたの性別を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

- |      |      |        |           |
|------|------|--------|-----------|
| 1. 男 | 2. 女 | 3. その他 | 4. 答えたくない |
|------|------|--------|-----------|

問4 あなたの状況について教えてください。(あてはまる番号1つに○)

- |   |
|---|
| 1. 通学している (通信制高校を含む)  |
| 2. 働いている  |
| 3. 通学 (通信制高校を含む) しながら働いている ※日中に仕事をし、夜間は学校に通う、または日中に学校に通い、夜間に仕事をするなど |
| 4. 家で過ごしている (通学していない、働いていない)  |

問5 あなたの健康状態について教えてください。(あてはまる番号1つに○)

- |         |            |         |
|---------|------------|---------|
| 1. よい   | 3. ふつう     | 5. よくない |
| 2. まあよい | 4. あまりよくない |         |

II. 家族や家族のことについて

問6 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。(この質問での「お世話」とは本来大人が行うと思われている家事や家族のお世話などを指します。)(あてはまる番号1つに○)

- |             |                      |
|-------------|----------------------|
| 1. いる ⇒ 問7へ | 2. いない ⇒ 問19へ (7ページ) |
|-------------|----------------------|

問7 問6で「1. いる」と答えた人にお聞きします。現在一緒に住んでいる家族について教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

- |       |           |            |
|-------|-----------|------------|
| 1. 母親 | 4. 祖父     | 7. 弟 ( )人  |
| 2. 父親 | 5. 兄 ( )人 | 8. 妹 ( )人  |
| 3. 祖母 | 6. 姉 ( )人 | 9. その他 ( ) |

問8 あなたは誰のお世話をしていますか。(あてはまる番号すべてに○)

- |               |                    |
|---------------|--------------------|
| 1. 母親 ⇒ 問9-①へ | 4. 祖父 ⇒ 問9-②へ      |
| 2. 父親 ⇒ 問9-①へ | 5. 兄弟姉妹 ⇒ 問9-③へ    |
| 3. 祖母 ⇒ 問9-②へ | 6. その他 ( ) ⇒ 問9-④へ |

問9 あなたがお世話をしている方の状況について教えてください。

問9-① 母親や父親のお世話をしているのはどのような理由ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- |  |  |
|--|--|
| 1. 高齢 (65歳以上)                                  | 7. 依存症 (お酒やギャンブルなどをやめられず、お金に困っている、家族が困っているなど) ※そうかもしれないときも含む |
| 2. 介護 (食事や身の回りの世話) が必要                         | 8. 「6.」や「7.」以外の病気が原因で、日常生活がままならない、目が負えない、耳が聞こえないなど           |
| 3. 認知症 (色んなことを忘れてしまう、わからなくなるなど)                | 9. 日本語が苦手  |
| 4. 身体に障害がある (手や足が自由に動かない、目が負えない、耳が聞こえないなど)     | 10. その他 (何もできないなど) ※そうかもしれないときも含む                            |
| 5. 知的に障害がある (文章を理解することが苦手、計算が苦手など)             |  |
| 6. こころの病気 (気持ちが落ちこんでいて何もできないなど) ※そうかもしれないときも含む |  |

問9-② 祖母や祖父のお世話をしているのはどのような理由ですか。  
(あてはまる番号すべてに○)

1. 高齢 (65歳以上)
2. 介護 (食事や身の回りのお世話) が必要
3. 認知症 (色んなことを忘れてしまう、わからなくなるなど)
4. 身体に障害がある (手や足が自由に動かない、目が見えない、耳が聞こえないなど)
5. 知的に障害がある (文章を理解することが苦手、計算が苦手など)
6. こころの病気 (気持ちが落ちこんでいて何もできないなど) ※そうかもしれないときも含む
7. 依存症 (お酒やギャンブルなどをやめられず、お金に困っている、家族が困っているなど) ※そうかもしれないときも含む
8. 「6.」や「7.」以外の病気
9. 日本語が苦手
10. その他 ( )
11. わからない

問9-③ 兄弟姉妹のお世話をしているのはどのような理由ですか。  
(あてはまる番号すべてに○)

1. 若い
2. 介護 (食事や身の回りのお世話) が必要
3. 身体に障害がある (手や足が自由に動かない、目が見えない、耳が聞こえないなど)
4. 知的に障害がある (文章を理解することが苦手、計算が苦手など)
5. 病気
6. 日本語が苦手
7. その他 ( )
8. わからない

問9-④ その他の人のお世話をしているのはどのような理由ですか。  
(あてはまる番号すべてに○)

1. 高齢 (65歳以上)
2. 若い
3. 介護 (食事や身の回りのお世話) が必要
4. 認知症 (色んなことを忘れてしまう、わからなくなるなど)
5. 身体に障害がある (手や足が自由に動かない、目が見えない、耳が聞こえないなど)
6. 知的に障害がある (文章を理解することが苦手、計算が苦手など)
7. こころの病気 (気持ちが落ちこんでいて何もできないなど) ※そうかもしれないときも含む
8. 依存症 (お酒やギャンブルなどをやめられず、お金に困っている、家族が困っているなど) ※そうかもしれないときも含む
9. 「7.」や「8.」以外の病気
10. 日本語が苦手
11. その他 ( )
12. わからない

問10 あなたが行っているお世話の内容を教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 家事 (食事の準備や掃除、洗濯)
2. 兄弟姉妹のお世話や保育所等への送り迎え
3. 身体的な介護 (入浴やトイレのお世話など)
4. 外出の付き添い (買い物、散歩など)
5. 通院の付き添い
6. 感情面のサポート (愚痴を聞く、話し相手になるなど)
7. 見守り
8. 通訳 (日本語や手話など)
9. 金銭管理
10. 薬の管理
11. その他 ( )

問11 あなたはお世話を誰と一緒にしていますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. いない
2. 母親
3. 父親
4. 祖母
5. 祖父
6. 兄弟姉妹
7. 親戚の人
8. 福祉サービス (ヘルパーなど) を利用
9. その他 ( )

問12 お世話をしている頻度を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

1. ほぼ毎日      3. 週に1～2日      5. その他 ( )  
 2. 週に3～5日      4. 1か月に数日

問13 1日にどれくらいお世話をしていますか。時間数をお教えてください。(日によって異なる場合は、この1か月で最も長かった日の時間をお教えてください)

1日 ( ) 時間くらい

問14 お世話をしていることで、以下のような経験をされたことはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 学校や仕事に行きたくても行けない
2. どうしても学校や仕事を遅刻・早退してしまう
3. 宿題をする時間や勉強する時間が取れない
4. 睡眠が十分に取れない
5. 友人と遊ぶことができない
6. 部活や習い事ができない、もしくは辞めざるを得なかった
7. 進路の変更を考えたことを得ない、もしくは進路を変更した
8. 自分の時間が取れない
9. その他 ( )
10. 持にない

問15 お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを誰かに相談したことはありますか。(あてはまる番号1つに○)

1. ある ⇒ 問15-①へ      2. ない ⇒ 問15-②へ

問15-① 相談した相手は誰ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 家族 (母、父、祖母、祖父、兄弟姉妹)
2. 親戚 (おじ、おばなど)
3. 友人
4. 学校の先生 (保健室の先生以外)
5. 保健室の先生
6. スクールカウンセラー
7. スクールソーシャルワーカー
8. 医師や看護師、その他病院の人
9. ヘルパーやケアマネージャー、福祉サービスの人
10. 保健所や福祉事務所など、役所の人
11. 近所の人
12. SNS上での知り合い
13. その他 ( )

問15-② 問15で「2. ない」と答えた人にお聞きします。相談していない理由を教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 誰かに相談するほどの悩みではないから
2. 誰に相談するのがよいかわからないから
3. 相談できる人がいないから
4. 家族のことを話したくないから
5. 家族に対して偏見を持たれたくないから (親が何もしたくないように、家族のことを悪く思われたくない)
6. 相談しても何も変わらないと思うから
7. 自分のことをかわいそうと思われたり、おかしいと思われたりしたくないから
8. その他 ( )

問16 学校や周りの大人にしてみらいたいこと、お世話のことであってほしいなと思うサポートは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 自分のことについて話を聞いてほしい
2. 家族のお世話について相談のってほしい
3. 家族の病気や障害、お世話のことなどについてわかりやすく説明してほしい
4. ヘルパーなどの福祉サービスに関する情報を教えてほしい
5. 自分が行っているお世話のすべてを代わってくれる人やサービスがほしい
6. 自分が行っているお世話の一部を代わってくれる人やサービスがほしい  
⇒ 具体的にどんなお世話、もしくはどんな時ですか ( )
7. ヤングケアラーについて、周りの大人や友達にもっとよく知ってほしい
8. 自由に使える時間がほしい
9. 勉強を教えてほしい
10. 連絡や就職など将来の相談に乗ってほしい
11. お金の面で支援してほしい
12. その他 ( )
13. わからない
14. 持にない

問17 あなたはどのような方法で話を聞いたの相談に乗ってほしいですか。

(あてはまる番号すべてに○)

- |         |            |
|---------|------------|
| 1. 直接来て | 4. 電子メール   |
| 2. 電話   | 5. その他 ( ) |
| 3. SNS  |            |

問18 あなた自身は「ヤングケアラー」にあてはまると思えますか。(あてはまる番号1つに○)

- |                   |          |
|-------------------|----------|
| 1. あてはまる ⇒ 問18-①へ | 3. わからない |
| 2. あてはまらない        |          |

問18-① 問18で「1. あてはまる」と答えた人にお聞きします。

あなたは家族のお世話をすることにつらさを感じていますか。(あてはまる番号すべてに○)

- |              |                 |
|--------------|-----------------|
| 1. 体力の面でつらい  | 4. 特につらさは感じていない |
| 2. 気持ちの面でつらい | 5. その他 ( )      |
| 3. 時間の余裕がない  |                 |

問19 「ヤングケアラー」という言葉をこのアンケートをする前に聞いたことがありましたが。(あてはまる番号1つに○)

- |                             |             |
|-----------------------------|-------------|
| 1. 聞いたことがあり、内容も知っている ⇒ 問20へ | 3. 聞いたことはない |
| 2. 聞いたことはあるが、よく知らない ⇒ 問20へ  |             |

問20 問19で「1. 聞いたことがあり、内容も知っている」または「聞いたことはあるが、よく知らない」と回答した方にお聞きします。

「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。(あてはまる番号すべてに○)

- |                |               |
|----------------|---------------|
| 1. テレビや新聞、ラジオ  | 5. イハントや交流会など |
| 2. 雑誌や本        | 6. 学校         |
| 3. SNSやインターネット | 7. 友人・知人から聞いた |
| 4. 広報やチラシ、掲示物  | 8. その他 ( )    |

問21 ヤングケアラーのことで意見や感想、その他困っていることなどがあれば自由に書いてください。


最後に、ヤングケアラーについて悩んでいて、今すぐ「相談したい」、「支援してほしい」人のみ、こちらにお名前、住所、電話番号を書いてください。

※こちらにお名前、住所、電話番号を書いた場合、多摩市の子ども家庭支援センターがアンケート内容を確認し、相談・支援を行うため、お話を漏かせても構いません。個人情報を守られますので安心してください。

氏名：	
住所：	
電話番号：	

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

---

多摩市ヤングケアラーに関する実態調査報告書

---

発行／多摩市 子ども青少年部 児童青少年課

発行／令和5年3月

---